



宮崎の園芸

2026



宮崎県

○表紙 上 「日本のひなた宮崎県」ロゴマーク

○表紙
県シンボルキャラクター「みやざき犬」

○裏表紙
「宮崎県農政水産部ホームページひなたMAFiN」ロゴマーク

は し が き

本県は、温暖多照という恵まれた気候条件と沿海地域から中山間地域までの変化に富む土地条件を生かし、きゅうり、ピーマン等の施設野菜を中心に、マンゴーや完熟きんかん、スイートピーなど宮崎ならではのバラエティに富んだ産地が形成され、全国有数の園芸産地として発展してまいりました。

しかしながら、本県農業を取り巻く環境は、担い手の減少や高齢化、人口減少による労働力不足の進行などの構造的な課題に加え、地球温暖化の進行や激甚化する気象災害の発生といった環境問題をはじめ、「みどりの食料システム戦略」や不安定な国際情勢等による生産資材価格の高騰への対応など、大きな変革期を迎えております。

このような情勢の中、時代の変化に対応した生産構造の転換やデジタル技術の活用による生産性を高める技術革新などを進め、国内外の産地間競争に打ち勝つ産地づくりや安全・安心な農産物の安定供給、多様化する需要に対応できるマーケットインの視点に立った産地を確立していくことが求められております。

このため、「第八次宮崎県農業・農村振興長期計画」のもと、施設園芸では、高度な環境制御技術の導入による生産性の向上、省力化技術による規模拡大やハウスの団地化等による再編整備を推進していくとともに、露地園芸では、生産工程の統一化や作業の機械化・分業化、スマート農業技術の導入による新たな生産体系を確立するなど、需要が高まる加工・業務用を中心とした、多様なニーズに的確に対応し、「持続可能な魅力ある農業」の実現と競争力の高い生産体制の構築に向け、生産者、関係機関・団体と一体となって取り組んでまいりたいと考えております。

この冊子は、関係機関・団体の御協力のもと、宮崎県における園芸の生産・販売・流通の現況と今後の展望をとりまとめたものです。本県園芸振興の基礎資料として、関係者の皆様に幅広く活用いただければ幸いです。

令和8年3月

宮崎県農政水産部長

児玉 憲明

目 次

I	宮崎県農業の現状	1
II	宮崎県農業の概要	3
1	生産販売状況	3
2	園芸品目における作付面積、生産量、産出額の推移（表）	4
3	園芸品目における作付面積、生産量、産出額の推移（グラフ）	5
4	園芸品目における主要品目のシェア、全国順位	6
5	主要品目の概要	7
(1)	野菜	7
(2)	果樹	12
(3)	花き	17
III	振興方針	22
1	野菜	22
2	果樹	23
3	花き	24
IV	園芸関係事業実施状況	26
1	国庫交付金等事業	26
2	県単独事業	36
3	野菜価格安定対策事業	50
V	宮崎県園芸の沿革	55
1	野菜	55
2	果樹	69
3	花き	78
VI	資料	89
1	野菜価格安定対策	89
2	園芸共進会の受賞者一覧	97
3	輸入の状況	100
4	野菜生産出荷施設の設置状況	110
5	宮崎県総合農業試験場の育成品種・登録状況（園芸品目）	113
6	気象概況	117

I 宮崎県農業の現状

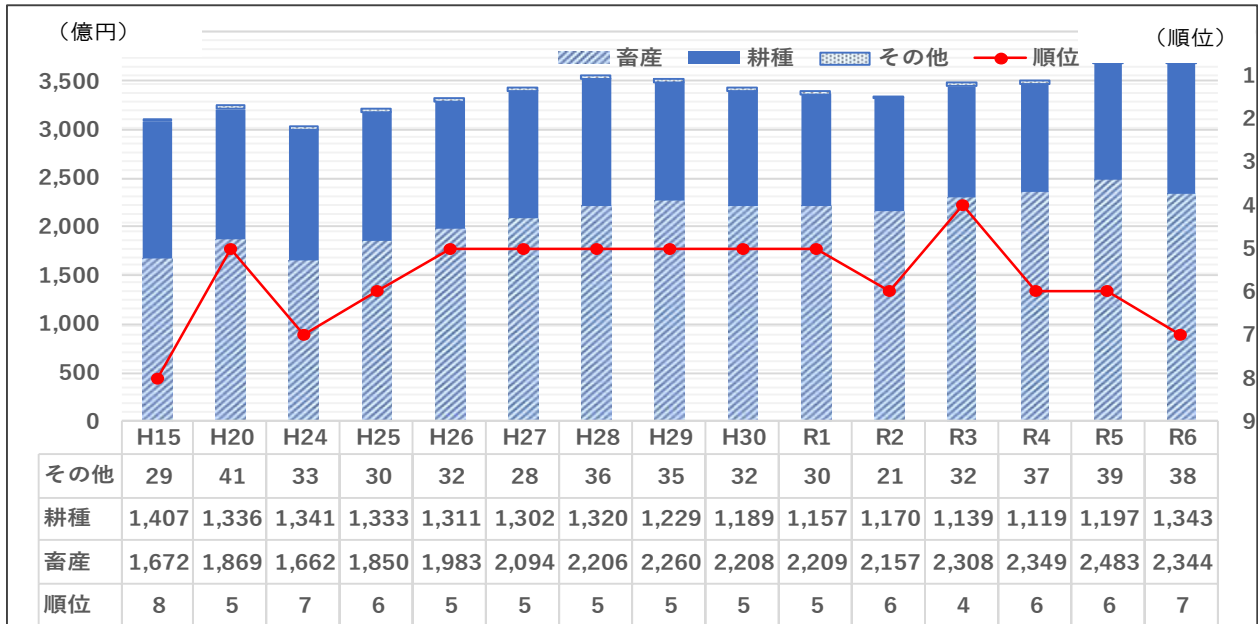
1 農業産出額

本県農業は、畜産や施設園芸を中心とした収益性の高い農業を展開しており、近年の農業産出額は3,000億円半ばで推移し、全国第7位の地位を確立しています。

令和6年の農業産出額の構成は、畜産が63%、耕種が36%であり、畜産や施設園芸といった土地集約型の経営品目が主力となっています。

また、野菜の産出額は756億円で全体の20%、果実は148億円で全体の4%、花きは78億円、いも類は81億円でそれぞれ全体の2%程度となっています。

■ 農業産出額

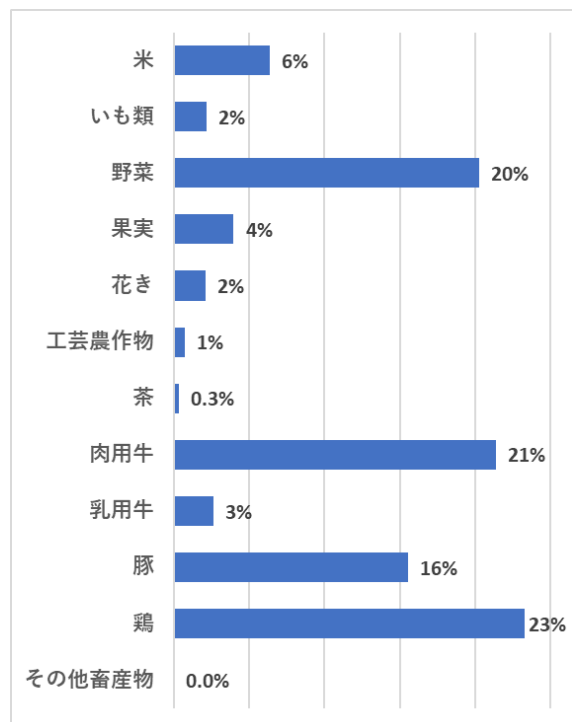


■ 品目別農業産出額

(単位：億円)

■ R6年品目別割合

項目		R6	R5	対前年比
耕種	米	237	146	162%
	いも類	81	68	119%
	野菜	756	700	108%
	果実	148	148	100%
	花き	78	87	90%
	工芸農作物	27	32	84%
	茶	13	14	93%
小計		1,343	1,197	112%
畜産	肉用牛	797	765	104%
	乳用牛	98	94	104%
	豚	580	600	97%
	鶏	868	1,023	85%
	その他畜産物	1	1	100%
小計		2,344	2,483	94%
加工農産物		38	39	97%
合計		3,725	3,720	100%

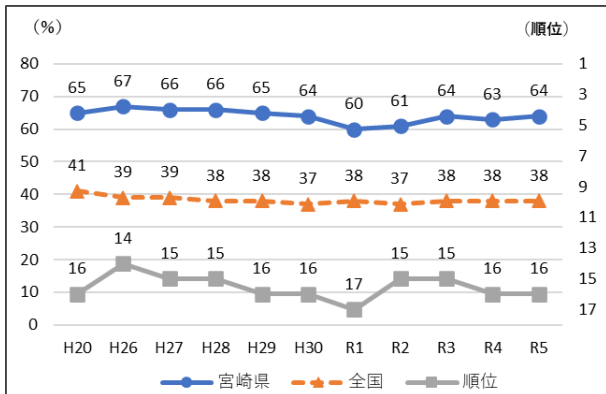


出典：生産農業所得統計（農林水産省）

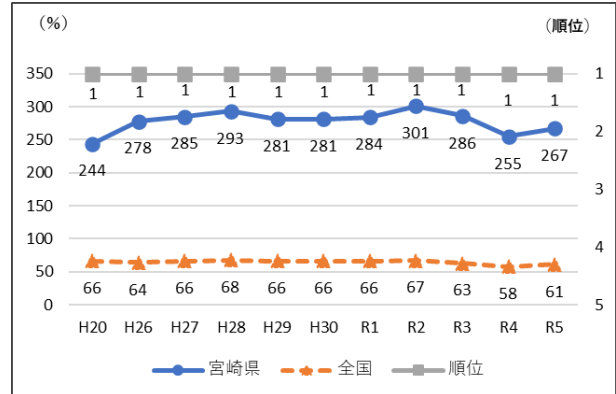
2 食料自給率

本県の令和5年度の総合食料自給率（畜産の飼料自給率を反映）はカロリーベースで64%（全国第16位）、生産額ベースで267%（全国第1位）となっています。（※R5年は概算値）

■ カロリーベース自給率（※1）の推移



■ 生産額ベース自給率（※2）の推移



※1：食料品のエネルギーに対して、県民が摂取するカロリーに占める県内生産物のカロリー割合を表す指標

※2：食料品の経済的価値に着目して、県民の食料消費額に対する県内食料生産額の割合を示す指標。

出典：都道府県別食料自給率の推移（農林水産省）

3 農業経営体

本格的な人口減少・少子高齢化を迎える中、本県農業においても農家戸数や基幹的農業従事者の減少・高齢化が進んでおり、生産力の低下や集落機能の衰退などが懸念されています。

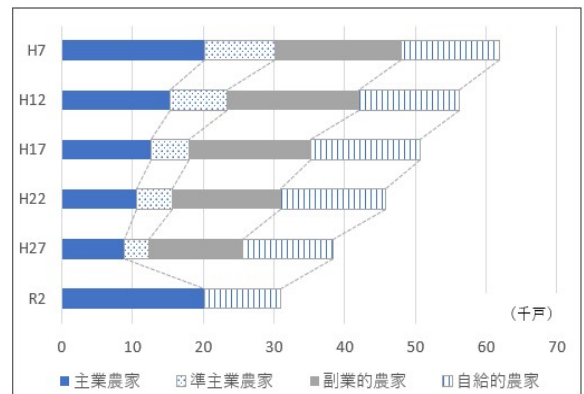
また、組織単位で経営を行う農業法人は増加しておりますが、雇用就農は減少傾向となっております。

■ 新規就農者数の推移

年次	R2	R3	R4	R5	R6
就農者数	408	405	389	360	321
うち雇用就農	239	244	233	220	204

出典：宮崎県調べ

■ 総農家戸数の推移

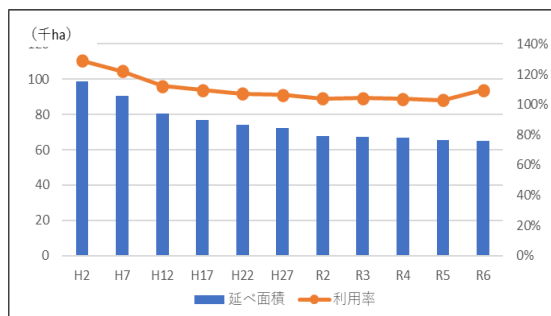


出典：農林業センサス（農林水産省）

4 農地の利用状況

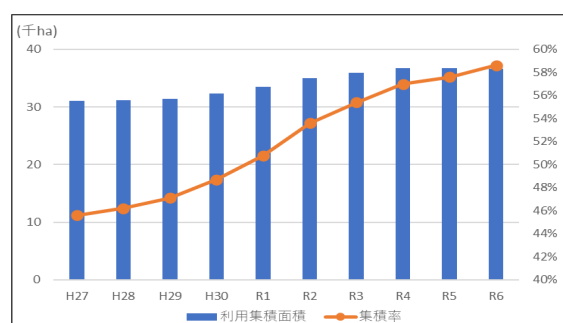
耕地面積、作付延べ面積は緩やかな減少傾向にあり、耕地利用率はほぼ横ばいの状況にありましたが、令和6年度産は109%に増加しています。また、農地中間管理事業等により、担い手への農地集積は進んできています。

■ 作付延べ面積と耕地利用率の推移



出典：耕地及び作付面積統計（農林水産省）

■ 担い手への農地集積の推移



出典：宮崎県調べ

Ⅱ 宮崎県農業の概要

1 生産販売状況

本県の園芸は、冬期の温暖多照の気象条件や標高差等の地理的条件を活用し、沿海平坦地域や高台畑地域、中山間地域等の特徴を生かして、きゅうり・ピーマンなどの果菜類の周年供給体制を確立するとともに、ごぼう、さといもなどの土物野菜、みかんを中心とした多様な柑橘類やマンゴーなどの亜熱帯果樹、スイートピーをはじめとする切り花やコショウラン等の鉢物など、多様な産地を形成している。

(1) 野菜

令和6年の野菜産出額は756億円、いも類産出額は81億円となっており、本県農業の基幹部門となっている。品目別では、きゅうり(208億円)、ピーマン(119億円)等の果菜類、だいこん(50億円)、さといも(37億円)等の土物類が大きい。

本県野菜の生産量は全国でも上位にあり、特にきゅうりが全国1位、ピーマンが2位、さといもが2位など、全国有数の産地となっている。

しかしながら、担い手の減少や高齢化など労働力不足に加え、近年の資材価格の高騰等生産コストの増大により、だいこんやにんじん等の露地野菜をはじめ、きゅうり、ピーマン等の主品目でも作付面積が横ばいから減少傾向にある。

一方で、加工・業務用野菜については、需要の高まりを背景に産地づくりが図られており、ほうれんそう、さといもなどは加工部門において全国1位となっている。

(2) 果樹

令和6年の果樹産出額は148億円で、マンゴー(50億円)、みかん(17億円)、きんかん(22億円)、日向夏(14億円)の割合が大きい。

本県果樹では、完熟マンゴー「太陽のタマゴ」、完熟きんかん「たまたま」、「みやざきびっ栗」など、多彩な視点から“みやざきブランド”を創出しており、品目ごとの特徴を活かした商品開発やPR展開により県産農産物の認知度の向上や販売力の強化に取り組んでいる。

また、人だけでなく園地の老朽化も課題となっており、露地品目を中心に栽培面積が減少する中、ぶどうや日向夏などでは品質向上・出荷期間の拡大に向け、露地から施設への転換が増加している。

(3) 花き

令和6年の花き産出額は78億円で、洋ラン類(12億円)、ゆり(13億円)、スイートピー(10億円)、芝(4億円)の割合が大きい。

本県花きでは、全国一の出荷量を誇るスイートピーをはじめ、コショウラン、ユリ類、ランキユラスが全国有数の花き産地となっている。

近年は、高齢化による担い手不足に加え、輸入花きの増加等の影響により面積・産出額ともに減少しているが、キイチゴやりんどうなどマーケットニーズの高い品目の積極的な導入・産地拡大が図られつつある。

また、気候変動に伴う高温対策技術の導入・普及等に加え、世界でも評価の高いスイートピー等の輸出拡大など新たな需要に対応した産地づくりに取り組んでいる。

2 園芸品目における作付面積・生産量・産出額の推移（表）

（1）野菜類の作付面積・生産量並びに農業産出額に占める野菜の割合

年 区分	平 15	平 20	平 25	平 28	平 29	平 30	令元	令 2	令 3	令 4	令 5	令 6
作付面積 (百ha)	112	105	110	104	104	101	98	93	90	93	88	87
生産量 (千トン)	397	367	384	336	337	330	326	307	302	310	299	273
野菜類産出額 (千万円)A	7,662	7,301	7,941	8,165	7,513	7,182	7,052	7,175	6,902	6,576	7,293	7,848
農業産出額 (億円)B	3,108	3,246	3,213	3,562	3,524	3,429	3,396	3,348	3,478	3,505	3,720	3,725
野菜類の割合 (%) A/B	24.7	22.5	24.7	22.9	21.3	20.9	20.8	21.4	19.8	18.8	19.6	21.1

注) 作付面積・生産量：農林水産省「野菜生産出荷統計」に農産園芸課調べの食用かんしょ、らっきょう、にがうり、オクラ等を加えた。

注) 産出額：農林水産省「生産農業所得統計」の野菜計に農産園芸課調べのばれいしょ、切干しだいこん、食用かんしょを加えた。

（2）果樹類の作付面積・生産量並びに農業産出額に占める果樹の割合

年 区分	平 15	平 20	平 25	平 28	平 29	平 30	令元	令 2	令 3	令 4	令 5	令 6
作付面積 (ha)	3,155	3,303	3,272	2,974	2,730	2,565	2,674	2,414	2,353	2,229	2,179	2,097
生産量 (千トン)	37	30	29	25	25	25	25	26	23	21	24	25
果樹類産出額 (億円) A	116	131	145	149	130	123	129	129	130	145	148	148
農業産出額 (億円) B	3,108	3,246	3,213	3,562	3,524	3,396	3,429	3,348	3,478	3,505	3,720	3,725
果樹類の割合 (%) A/B	3.7	4.0	4.5	4.2	3.7	3.6	3.8	3.9	3.7	4.1	4.0	4.0

注) 作付面積・生産量：農林水産省「耕地及び作付面積統計」「果樹生産出荷統計」、農産園芸課調べ「果樹栽培状況等調査」

注) 産出額：農林水産省「生産農業所得統計」

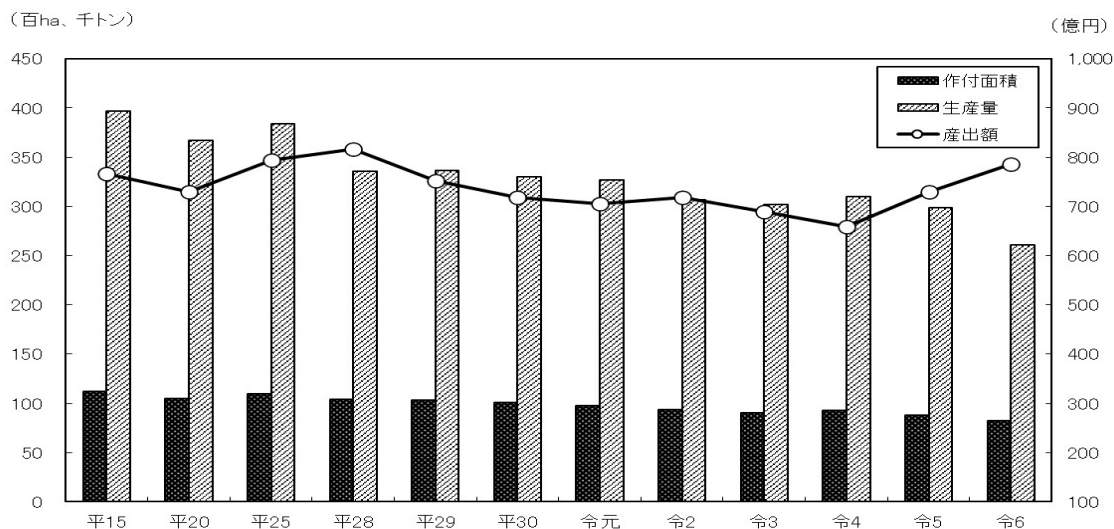
（3）花き類の作付面積・生産量並びに農業産出額に占める花き類の割合

年 区分	平 15	平 20	平 25	平 28	平 29	平 30	令元	令 2	令 3	令 4	令 5	令 6
作付面積 (ha)	1,108	973	827	886	786	753	747	700	633	674	613	611
生産量 (千本)	190,036	180,608	131,710	115,841	109,583	110,958	105,207	90,528	93,899	96,323	81,954	78,462
花き類産出額 (億円) A	115	101	74	73	71	68	67	60	69	77	87	78
農業産出額 (億円) B	3,108	3,246	3,213	3,562	3,524	3,429	3,396	3,348	3,478	3,505	3,720	3,725
花き類の割合 (%) A/B	3.7	3.1	2.3	2.0	2.0	2.0	2.0	1.8	1.9	2.2	2.3	2.1

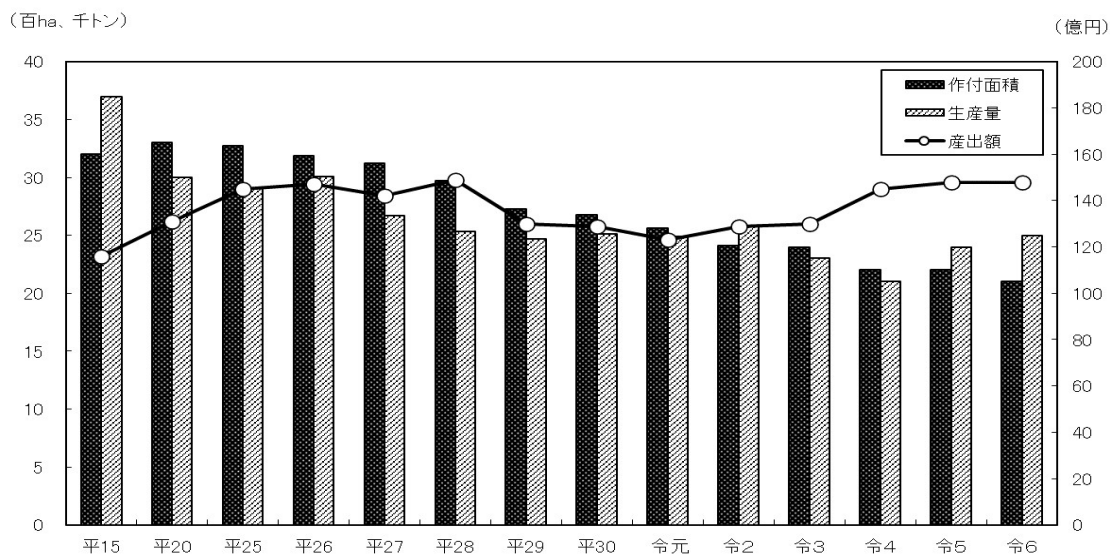
注) 作付面積・生産量：農産園芸課調べ「市町村報告」、産出額：農林水産省「生産農業所得統計」

3 園芸品目における作付面積・生産量・産出額の推移（グラフ）

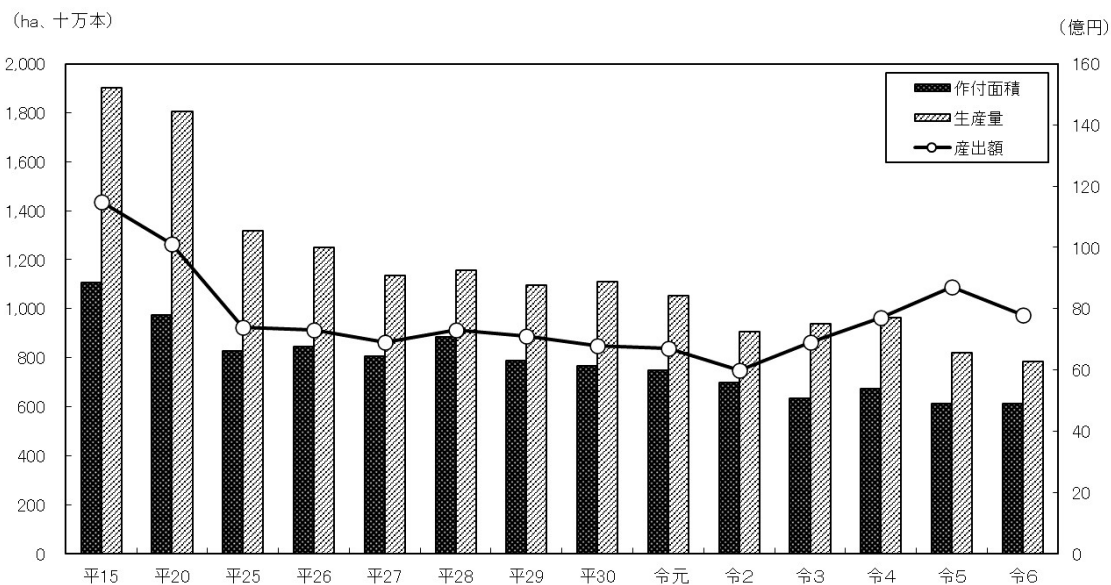
(1) 野菜類の作付面積・生産量・産出額の推移



(2) 果樹類の作付面積・生産量・産出額の推移



(3) 花き類の作付面積・生産量・産出額の推移



4 園芸品目における主要品目のシェア、全国順位

単位（野菜：t、果樹：t、花き：千本、千鉢、a）

	項目 品目	収穫量 A	全国の収穫量 B	シェア(%) A/B	全国順位
野菜	きゅうり	58,700	502,900	11.7	1
	内 冬春きゅうり	55,500	261,000	21.3	1
	ピーマン	24,300	143,000	17.0	2
	内 冬春ピーマン	21,500	74,700	28.8	1
	ミニトマト	8,640	156,100	5.5	5
	スイートコーン	2,530	211,900	1.2	15
	さといも	11,800	118,900	9.9	2
	ごぼう	8,430	117,100	7.2	4
	だいこん	58,500	1,081,000	5.4	6
	ほうれんそう	11,100	189,900	5.8	5
	にら	2,850	55,200	5.2	6
	しょうが	2,200	40,900	5.4	5
果樹	くり	334	14,000	2.4	10
	マンゴー※	1,256.1	3,802.5	33.0	2
	キンカン※	2,734	3,666.8	74.6	1
	日向夏※	3,148.2	5,635.2	55.9	1
	ユズ(柚)※	951.7	28,143.5	3.4	6
	へべす※	106.8	106.8	100	1
	レモン※	445.9	9,668.1	4.6	4
	ライチ※	22.4	27.9	80.3	1
花き	スイートピー※	25,946	47,037	55.2	1
	ラナンキュラス(切り花)※	1,287	9,982	12.9	3
	ホオズキ※	303	13,558	2.2	3
	コチョウラン※	167	3,470	4.8	5
	ゆり(切り花)	6,270	98,000	6.4	4
	芝	11,130	315,500	3.5	5

資料：農林水産省「令和6年産野菜生産出荷統計」、「令和6年産果樹生産出荷統計」、「令和5年産特産果樹生産動態等調査(※)」、「令和6年産花き生産出荷統計」、「令和5年産花木等生産状況調査」
宮崎県「令和5年産農林水産省調査対象外品目調査（花き※）」

5 主要品目の概要

(1) 野菜

① きゅうり

○概要

- ・産出額 208 億円(R6)で本県産野菜第1位
- ・生産量は全国第1位(全国のシェアは12%、冬春期は21%)
- ・県内一円で産地化され、標高差を利用した周年生産

○面積、生産量、産出額の推移

[農林水産省] 単位：ha,t,億円

項目	年	平15	20	25	30	令元	2	3	4	5	6	6/5 (%)
	面積	冬春	705	656	604	570	556	528	516	501	468	459
	夏秋	161	112	116	95	87	86	88	83	78	73	94
	計	866	768	720	665	643	614	604	584	546	532	97
生産量	冬春	54,500	55,200	58,700	58,700	59,500	57,000	59,900	61,100	58,500	55,500	95
	夏秋	7,430	4,790	5,960	3,740	3,620	3,690	3,800	3,380	3,170	3,160	100
	計	62,000	60,000	64,700	62,400	63,120	60,690	63,700	64,500	61,700	58,700	95
	産出額	170	176	181	176	178	190	167	163	196	208	106

○主要作型別の面積、生産量、栽培戸数(令和6年産実績)

[市町村報告]

作型	項目	時期(○:播種 ×:定植 ■:収穫)												面積 (ha)	生産量 (t)	生産額 (百万円)	戸数	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
普通					○	×	■	■	■	■	■	■	■	■	24.1	1,225	378	225
露地抑制								○	×	■	■	■	■	■	21.5	850	249	150
ハウス	促成	■	■	■	■	■	■	■	○	×	■	■	■	■	260.0	36,650	12,509	1,079
	抑制	■	■	■	■	■	■	○	×	■	■	■	■	■	92.3	6,573	2,364	400
	半促成			■	■	■	■	■	■	○	×				64.8	3,611	1,072	251
	早熟		○	×	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	57.9	4,496	1,340	520

○生産量の全国順位(R6年産)

- 全体：①宮崎県 ②群馬県 ③埼玉県 ④福島県 ⑤千葉県
冬春：①宮崎県 ②群馬県 ③埼玉県 ④高知県 ⑤千葉県

② ピーマン

○概要

- ・産出額 119 億円(R6)、生産量は全国第2位
- ・全国第1位の冬春ピーマン産地(全国のシェアは17%、冬春期は29%)
- ・促成ピーマン共同計算委員会による県内JA共同計算の実施(「グリーンザウルス」の名称で全国各地に出荷)

○面積、生産量、産出額の推移

[農林水産省] 単位：ha,t,億円

項目	年	平15	20	25	30	令元	2	3	4	5	6	6/5 (%)
	面積	冬春	294	249	230	223	223	219	208	218	202	197
	夏秋	85	74	93	82	82	84	86	86	80	74	93
	計	379	323	323	305	305	303	294	304	282	271	96
生産量	冬春	29,200	26,100	24,600	23,200	24,300	23,400	23,300	24,900	22,600	21,500	95
	夏秋	3,240	2,640	3,550	3,300	3,340	3,370	3,500	3,220	2,880	2,760	96
	計	32,500	28,700	28,200	26,500	27,640	26,770	26,800	28,100	25,500	24,300	95
	産出額	119	111	110	115	113	124	110	110	123	119	97

○主要作型別の面積、生産量、栽培戸数(令和6年産実績)

[市町村報告]

作型	項目	時期(○:播種 ×:定植 ■:収穫)												面積 (ha)	生産量 (t)	生産額 (百万円)	戸数	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
普通				○	×	■	■	■	■	■	■	■	■	■	65.6	2,219	940	386
ハウス	促成	■	■	■	■	■	■	■	○	×	■	■	■	■	192.8	21,895	12,610	608
	抑制					○	×	■	■	■	■	■	■	■	-	-	-	-

○生産量の全国順位(R6年産)

- 全体：①茨城県 ②宮崎県 ③鹿児島県 ④高知県 ⑤岩手県
冬春：①宮崎県 ②茨城県 ③鹿児島県 ④高知県 ⑤沖縄県

③ トマト

○概要

- ・促成を主体とした施設栽培が約9割で周年生産・出荷
- ・産出額64億円(R6)、生産量は全国12位(うちミニトマトは全国5位)

○面積、生産量、産出額の推移

[農林水産省] 単位：ha,t,億円

項目	年	平15	20	25	30	令元	2	3	4	5	6	6/5 (%)
	面積	冬春丸	113	94	87	78	74	71	67	66	59	57
// ミニ		53	66	83	98	99	93	94	92	88	87	99
夏秋丸		40	30	30	32	32	31	31	30	31	30	97
// ミニ		9	10	16	18	18	18	18	17	17	16	94
計		215	200	216	226	223	213	210	205	195	190	97
生産量	冬春	15,700	15,100	18,400	17,200	16,900	15,000	14,500	15,000	14,200	13,900	98
	夏秋	2,350	1,840	2,150	2,320	2,360	2,270	2,100	1,950	1,860	1,820	98
	計	18,000	16,900	20,600	19,500	19,260	17,270	16,600	17,000	16,100	15,700	98
産出額	50	54	74	63	61	67	62	58	61	64	105	

○主要作型別の面積、生産量、栽培戸数(令和6年産実績)

[市町村報告]

項目	時期(○:播種 ×:定植 ■:収穫)												面積 (ha)	生産量 (t)	生産額 (百万円)	戸数					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12									
普通(丸)			○		×		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	10.4	563	213	54
// (ミニ)			○		×		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	6.3	248	193	63
ハ促成(丸)	■	■	■	■	■	■	■	■	○	×				■	■		19.2	2,067	712	81	
ウ抑制(丸)								○	×	■	■	■	■	■	■		-	-	-	-	
ス半促成(丸)			×		■	■	■	■								○	4.2	368	110	13	
促成(ミニ)	■	■	■	■	■	■	■	■	○	×				■	■	■	41.8	4,387	2,336	165	

○生産量の全国順位(R6年産)

- 全体 : ①熊本県 ②北海道 ③愛知県 ④茨城県 ⑤栃木県 ⑫宮崎県
 冬春 : ①熊本県 ②愛知県 ③栃木県 ④福岡県 ⑤千葉県 ⑥宮崎県
 うちミニ(全体) : ①熊本県 ②北海道 ③愛知県 ④茨城県 ⑤宮崎県
 うちミニ(冬春) : ①熊本県 ②愛知県 ③宮崎県 ④静岡県 ⑤福島県

④ いちご

○概要

- ・品種「さがほのか」を主体とした促成栽培が中心

○面積、生産量、産出額の推移

[農林水産省] 単位：ha,t,億円

項目	年	平15	20	25	30	令元	2	3	4	5	6	6/5 (%)
	面積	87	82	76	69	69	72	72	72	71	71	69
生産量	2,584	2,397	2,430	2,640	2,650	2,500	2,750	2,710	2,330	1,980	1,980	85
産出額	24	20	21	29	29	27	30	32	30	29	29	97

○主要作型別の面積、生産量、栽培戸数(令和6年産実績)

[市町村報告]

項目	時期(○:播種 ×:定植 ■:収穫)												面積 (ha)	生産量 (t)	生産額 (百万円)	戸数				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12								
促成	■	■	■	■	■	○				×			■	■	■	■	49.1	1,684	2,349	227
夏秋				×			■	■	■	■	■	■	■	■	■		0.3	1	1	2

○生産量の全国順位(R6年産)

- ①栃木県 ②福岡県 ③熊本県 ④愛知県 ⑤静岡県 ⑧宮崎県

⑤ 食用かんしょ

○概要

- ・串間市を中心に栽培されており、作型や貯蔵の組み合わせにより周年出荷
- ・品種は「宮崎紅」（高系14号の系統）を中心に、一部「べにまさり」等を生産

○面積、生産量、生産額の推移

[市町村報告] 単位：ha,t,百万円

項目	年	平15	20	25	30	令元	2	3	4	5	6	6/5 (%)
	面積	マルチまで	417	339	298	244	212	222	305	166	146	172
	普通	693	659	616	572	529	541	286	415	551	528	96
	計	1,111	998	914	816	741	762	590	581	697	700	101
生産量	マルチまで	6,975	6,011	4,910	3,757	3,149	3,010	2,571	1,689	1,696	1,178	69
	普通	14,062	15,517	10,257	12,305	9,272	6,274	5,399	6,516	10,021	9,094	91
	計	21,037	21,527	15,168	16,062	12,421	9,284	7,970	8,205	11,716	10,272	88
生産額	マルチまで	1,705	2,268	1,005	713	702	761	627	374	402	280	70
	普通	2,439	4,689	1,505	2,153	1,747	1,475	892	866	1,365	1,209	89
	計	4,145	6,957	2,510	2,866	2,448	2,236	1,518	1,240	1,767	1,489	84

○主要作型別の面積、生産量、栽培戸数（令和6年産実績）

[市町村報告]

作型	項目	時期 (○:播種 ×:定植 ■:収穫)												面積 (ha)	生産量 (t)	生産額 (百万円)	戸数	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
トンネル(超早掘)															42	557	169	73
マルチ(早掘)															130	621	111	196
普通															528	9,094	1,209	401

○生産量の全国順位（R6年産）

- ①鹿児島県 ②茨城県 ③千葉県 ④宮崎県 ⑤徳島県

⑥ さといも

○概要

- ・トンネル栽培から普通栽培まで、作型や品種の組み合わせによる周年出荷
- ・令和6年産加工・業務用向け生産量は全国第1位（全国のシェアは60.5%）

○面積、生産量、産出額の推移

[農林水産省] 単位：ha,t,億円

項目	年	平15	20	25	30	令元	2	3	4	5	6	6/5 (%)
	面積	秋冬	1,200	1,060	1,260	1,010	951	897	884	848	803	766
	その他	12	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1,210	1,070	1,260	1,010	951	897	884	848	803	766	95
生産量	秋冬	21,800	18,300	19,700	13,900	12,000	13,400	13,700	13,600	12,300	11,800	96
	その他	149	126	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	21,900	18,400	19,700	13,900	12,000	13,400	13,700	13,600	12,300	11,800	96
産出額		31	25	47	23	28	29	29	26	33	37	112

○主要作型別の面積、生産量、栽培戸数（令和6年産実績）

[市町村報告]

作型	項目	時期 (○:播種 ×:定植 ■:収穫)												面積 (ha)	生産量 (t)	生産額 (百万円)	戸数	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
トンネル															4	71	23	12
早熟(マルチ)															180	2,010	421	252
普通															151	2,184	271	407
京いも															12	115	32	55

○生産量の全国順位（R6年産）

- 全体：①埼玉県 ②宮崎県 ③千葉県 ④愛媛県 ⑤栃木県
 加工・業務向：①宮崎県 ②愛媛県 ③埼玉県 ④山形県 ⑤福井県

⑦ ごぼう

○概要

・夏ごぼうが生産量の約7割を占めているが、トンネル栽培等の組み合わせにより、ほぼ周年出荷

○面積、生産量、産出額の推移

[農林水産省] 単位：ha,t,億円

項目	年	平 15	20	25	30	令元	2	3	4	5	6	6/5 (%)
面積		800	668	645	617	604	581	557	540	490	479	98
生産量		12,900	11,300	11,000	8,450	10,700	10,200	9,860	8,690	8,480	8,430	99
産出額		32	28	25	28	27	28	34	34	35	33	94

○主要作型別の面積、生産量、栽培戸数（令和6年産実績）

[市町村報告]

作型	項目	時 期 (○:播種 ×:定植 ■:収穫)												面積 (ha)	生産量 (t)	生産額 (百万円)	戸数		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12						
春まき				○	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	58	1,426	264	45	
トンネル(畑)		-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	○	---	○	19	298	132	48
トンネル(水田)		-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	○	-----	○	69	419	280	116
夏ごぼう		○	--	○	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	238	4,369	887	102	

○生産量の全国順位 (R6年産)

①青森県 ②茨城県 ③北海道 ④宮崎県 ⑤鹿児島県

⑧ だいこん

○概要

・秋冬作を中心に栽培されており、用途は主に加工向け

・令和6年産生産量は全国第6位（うち加工・業務用向け全国第1位）、秋冬だいこんは全国第4位

○面積、生産量、産出額の推移

[農林水産省] 単位：ha,t,億円

項目	年	平 15	20	25	30	令元	2	3	4	5	6	6/5 (%)
面積	春	46	35	60	-	63	-	-	55	-	-	-
	夏	14	-	2	-	1	-	-	1	-	-	-
	秋冬	2,420	2,100	1,910	1,780	1,760	1,690	1,660	1,580	1,500	1,470	98
積 計		2,480	2,140	1,970	1,850	1,820	1,750	1,730	1,640	1,550	1,520	98
生産量	春	1,730	1,560	2,710	-	-	-	-	2,480	-	-	-
	夏	188	-	30	-	-	-	-	9	-	-	-
	秋冬	114,200	94,500	93,400	74,800	69,200	65,600	67,400	62,300	60,500	56,200	93
計		116,100	96,100	96,100	77,900	72,300	68,300	70,200	64,800	62,900	58,500	93
産出額		54	40	55	49	45	41	50	39	36	50	139

○主要作型別の面積、生産量、栽培戸数（令和6年産実績）

[市町村報告]

作型	項目	時 期 (○:播種 ×:定植 ■:収穫)												面積 (ha)	生産量 (t)	生産額 (百万円)	戸数		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12						
【青果】	夏作														4	64	4	11	
	秋冬作												○	-----	○	120	5,469	353	178
	トンネル															24	1,330	101	1
【加工】	漬物生漬															376	17,702	412	253
	漬物干し															130	2,203	420	91
	千切り															257	1,305	1,066	408
	漬物															4	210	6	5
	おろし															2	176	4	10

○生産量の全国順位 (R6年産)

全 体：①千葉県 ②北海道 ③青森県 ④鹿児島県 ⑤神奈川県 ⑥宮崎県
 秋 冬：①千葉県 ②鹿児島県 ③神奈川県 ④宮崎県 ⑤青森県
 加工・業務向：①宮崎県 ②鹿児島県 ③北海道 ④茨城県 ⑤青森県

⑨ にんじん

○概要

- ・青果向けの冬春作、加工向けの秋冬作を中心に栽培されている
- ・令和6年産加工・業務向け生産量は全国第3位

○面積、生産量、産出額の推移

[農林水産省] 単位：ha,t,億円

項目	年	平15	20	25	30	令元	2	3	4	5	6	6/5 (%)
	面積	春夏	124	116	162	125	120	129	133	144	137	129
	秋	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	冬	520	527	486	354	346	333	340	322	332	329	99
	計	652	644	649	480	466	462	473	466	469	458	98
生産量	春夏	3,780	3,570	6,170	4,350	4,340	4,950	4,550	5,000	4,920	4,910	100
	秋	79	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-
	冬	20,400	17,900	15,900	10,900	11,500	9,360	10,000	8,570	9,660	8,420	87
	計	24,300	21,500	22,100	15,300	15,800	14,400	14,600	13,600	14,600	13,300	91
産出額		14	24	22	7	7	13	8	8	10	16	160

○主要作型別の面積、生産量、栽培戸数（令和6年産実績）

[市町村報告]

項目	時期 (○:播種 ×:定植 ■:収穫)												面積 (ha)	生産量 (t)	生産額 (百万円)	戸数
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
【青果】露地	-----■■■												72	1,779	180	59
トンネル	○-----												38	1,239	134	36
【加工】ジュース	■■■■■■■												232	6,973	297	127

○生産量の全国順位 (R6年産)

- 全 体：①北海道 ②千葉県 ③徳島県 ④青森県 ⑤長崎県 ⑩宮崎県
 加工・業務向：①北海道 ②鹿児島県 ③宮崎県 ④千葉県 ⑤青森県

⑩ ほうれんそう

○概要

- ・県内生産量の約7割が加工・業務用向けの出荷
- ・令和6年産加工・業務用向け出荷量は全国第1位（全国のシェアは68.7%）

○面積、生産量、産出額の推移

[農林水産省] 単位：ha,t,億円

項目	年	平15	20	25	30	令元	2	3	4	5	6	6/5 (%)
	面積		478	630	997	954	1,000	870	865	905	973	965
生産量		11,400	14,700	18,200	15,700	16,100	13,700	13,100	12,200	14,400	11,100	77
産出額		13	16	29	19	23	22	22	17	24	17	71

○主要作型別の面積、生産量、栽培戸数（令和6年産実績）

[市町村報告]

項目	時期 (○:播種 ×:定植 ■:収穫)												面積 (ha)	生産量 (t)	生産額 (百万円)	戸数
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
加工用(露地、秋まき)	■■■■■■■												970	15,824	1,136	237
	○---○---■■■■■■■■■■															
青果(露地、秋まき)	■■■■■■■												13	255	52	57
	○---○---■■■■■■■■■■															
青果(雨よけ)	○---■												6	104	82	35
	○---■															

○生産量の全国順位 (R6年産)

- 全 体：①群馬県 ②埼玉県 ③千葉県 ④茨城県 ⑤宮崎県
 加工・業務向：①宮崎県 ②熊本県 ③茨城県 ④千葉県 ⑤静岡県

⑤ デルフィニウム

○概要

- ・宮崎市を中心とした促成栽培と椎葉村での抑制栽培が行われている。
- ・エラータム系では、作付面積の約4割が県総合農業試験場で育成したF1品種であり、オリジナル性の高い花き産地として位置付けられている。
- ・近年、全国的にエラータム系の生産が減少しているため、本県は貴重な冬春の産地である。

○面積、生産量、産出額の推移

[市町村報告] 単位：ha、千本、億円

年 項目	平 15	20	25	30	令元	2	3	4	5	6	6/5 (%)
面積	8	5	3	2	3	3	3	3	3	3	101
生産量	2,722	1,521	1,006	511	573	512	615	591	679	607	89
産出額	2.1	1.8	0.9	0.6	0.7	0.6	0.8	0.8	0.8	0.8	91

○面積、生産量、栽培戸数（令和6年産実績）

[市町村報告]

項目 作型	時 期 (△:播種 ○:定植 ■:収穫)										面積 (a)	生産量 (千本)	生産額 (千円)	戸数						
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					4	5				
促成	△	-----	○	-----	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	280	607	76,397	15

○生産量の全国順位

国統計データなし

⑥ ラナンキュラス

○概要

- ・西臼杵地域を中心とした生産であるが、西諸県地域や東臼杵地域でも栽培が行われている。
- ・県内育種家の品種が主力となっており、育種家と連携して育成した「サンキュラスシリーズ」・「ひなたモロッコシリーズ」、JA高千穂地区のオリジナル品種、「Pon-Ponシリーズ」等の栽培が行われている。

○面積、生産量、産出額の推移

[市町村報告] 単位：ha、千本、億円

年 項目	平 15	20	25	30	令元	2	3	4	5	6	6/5 (%)
面積	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	107
生産量	949	1,785	2,043	1,630	1,579	1,258	1,569	1,398	1,287	1,286	100
産出額	0.4	1.0	1.3	1.1	1.1	0.8	1.1	1.2	1.2	1.2	103

○面積、生産量、栽培戸数（令和6年産実績）

[市町村報告]

項目 作型	時 期 (△:球根冷蔵 ○:定植 ■:収穫 ×:球根掘り上げ)												面積 (a)	生産量 (千本)	生産額 (千円)	戸数										
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6														
冬春出荷	△	----	○	○	----	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	287	1,286	119,107	40

○生産量の全国順位

国統計データなし

⑦ 洋ラン鉢物

○概要

- ・主な品目は、宮崎市のコショウラン、新富町のシンビジウムがある。
- ・コショウランは、海外から優良苗を導入し、本県で充実した苗に育苗・大苗化することにより高品質化が図られており、全国でもトップクラスの産地となっている。
- ・シンビジウムは、近年生産が減少傾向となっているが、産地オリジナル品種の育成や販路拡大のためのPR活動が行われている。

○面積、生産量、産出額の推移

[農林水産省] 単位：ha、千本、億円

年 項目	平 15	20	25	30	令元	2	3	4	5	6	6/5 (%)
面積	15	18	12	10	10	10	10	9	9	7	78
生産量	1,330	675	331	266	265	252	262	310	234	199	85
産出額	20	15	12	14	13	12	13	15	15	12	80

○主要作型別の面積、生産量、栽培戸数（令和6年産実績）

[市町村報告]

項目 作型	時 期 (▽:鉢上げ …:開花処理 ◇:鉢替え △:山上げ ▼:山下げ ■:出荷)												面積 (a)	生産量 (千本)	生産額 (千円)	戸数
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6				
コショウラン 中苗導入 大苗導入	▽(中苗・大苗期)-----												475	220	1,348,604	13
■■■■■															
シンビジウム 冬季出荷	▽---▽-----												180	26	69,884	4
	---◇-----◇-----															
	-----△															
	-----▼---■■■■■															

○生産量の全国順位（R6年産）

洋ラン類：①愛知県 ②熊本県 ③千葉県 ④福岡県 ⑤山梨県 ⑫宮崎県

⑧ ホオズキ

○概要

- ・西臼杵・東臼杵地域を中心とした中山間地域で主に生産されているが、近年では南那珂地域での栽培も拡大している。
- ・マルハナバチを使った着果安定技術や実生系地下茎利用によるウイルス病対策等の安定生産技術の導入が進んでおり、高品質なホオズキが生産され、消費地から高い評価が得られている。

○面積、生産量、産出額の推移

[市町村報告] 単位：ha、千本、億円

年 項目	平 15	20	25	30	令元	2	3	4	5	6	6/5 (%)
面積	4	6	5	4	5	5	5	5	5	5	111
生産量	167	288	294	244	250	324	308	313	303	288	95
産出額				0.7	0.6	0.9	0.9	0.8	0.9	0.9	96

○主要作型別の面積、生産量、栽培戸数（令和6年産実績）

[市町村報告]

項目 作型	時 期 (○:定植 ×:摘心 ■:収穫)												面積 (a)	生産量 (千本)	生産額 (千円)	戸数
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
7月出荷	○○○-----×-■												498	288	85,067	51
8月出荷	○○○-----×-■															

○生産量の全国順位

国統計データなし

(2) 果樹

① うんしゅうみかん

○概要

- ・産出額は17億円(R6)、生産量は5,970tと減少傾向にある。全国のシェアは1%。
- ・県内では南那珂地域を中心に、中部、児湯、東臼杵地域で栽培されている。

○面積、生産量、産出額の推移

[農林水産省] 単位：ha、t、戸、億円

区分	年度	平15	20	25	30	令元	2	3	4	5	6	6/5 (%)
	面積	早生	902	757	654	584	566	491	465	459	456	453
極早生		556	496	431	390	381	322	321	321	320	319	100
普通		87	67	52	53	50	48	46	44	41	40	98
計		1,060	897	706	637	616	539	511	503	497	493	99
生産量	早生	16,300	13,700	12,100	9,230	8,660	7,460	7,300	6,470	6,520	5,570	85
	極早生	8,840	8,930	8,060	5,930	4,850	4,930	4,430	4,430	4,770	3,800	80
	普通	1,590	1,100	879	737	630	610	543	471	455	393	86
	計	17,900	14,800	13,000	10,000	9,300	8,090	7,870	6,940	6,980	5,970	86
戸数		1,585	789	781	711	691	669	659	641	625	592	95
産出額		45	23	26	22	19	20	20	16	15	17	113

○主要作型

[県栽培指導指針]

項目/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
極早生 生育ステージ	### ## # ○-----◎◎▽▽▽▽▽-----◇◇◇◇-----####												
極早生 主な管理	XX		↑↑↑			▲▲▲▲▲▲			■ ■ ■ ■			↑↑↑	
早生 生育ステージ	*** ○-----◎-▽-----▽-----◇◇◇◇												
早生 主な管理	XXX↑			↑			▲▲▲ ▲			↑ ■ ■ ■			

- ・ステージ：○発芽期 *花芽分化期 ◎開花期 --生育期間 ▽生理落果 ◇成熟期 #休眠期
- ・管 理：▲摘果 ↑施肥 X整枝・せん定 ■収穫期間
- 生産量の全国順位 (R6年産)
 みかん計：①和歌山県 ②静岡県 ③愛媛県 ④熊本県 ⑤佐賀県 ⑦宮崎県
 早生温州：①和歌山県 ②愛媛県 ③熊本県 ④静岡県 ⑤佐賀県 ⑬宮崎県
 早生温州のうち極早生みかん：①和歌山県 ①熊本県 ③愛媛県 ④佐賀県 ⑤長崎県 ⑧宮崎県
 早生温州のうちハウスムかん：①佐賀県 ②愛知県 ③大分県 ④高知県 ⑤長崎県 ⑬宮崎県
 普通温州：①静岡県 ②和歌山県 ③愛媛県 ④熊本県 ⑤長崎県 ⑱宮崎県

② 日向夏

○概要

- ・本県原産の中晩柑橘。産出額は14億円(R6)、栽培面積・生産量共に全国第1位。
- ・施設化による「種なし」または「種の少ない」果実の生産拡大、早生系統及び受粉作業を必要としない加工向け品種の導入が行われている。

○面積、生産量、産出額の推移

[農林水産省] 単位：ha、t、戸、億円

区分	年度	平15	20	25	30	令元	2	3	4	5	6	6/5 (%)
	栽培面積	154	190	196	173	174	157	155	155	153	150	98
生産量	1,541	2,293	3,280	3,202	3,138	3,618	3,592	3,445	3,148	2,616	83	
戸数	366	577	556	524	528	498	483	474	458	441	96	
産出額	7	15	20	14	13	13	15	16	19	14	74	

注) 令和2～6年は市町村報告

○主要作型

[県栽培指導指針]

項目/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生育ステージ	-----◇◇◇○-----◎-▽-----▽-----											
主な管理	↑ XX			↑			↑			↑ X夏秋梢↑		
	■ ■ ■ ■						▲ ▲			□ □ □ □ □		

- ・ステージ：○発芽期 ◎開花期 --生育期間 ▽生理落果 ◇成熟期
- ・管 理：▲摘果 ↑施肥 X整枝・せん定 ■収穫期間 □袋かけ

○生産量の全国順位 (R6年産)

- ①宮崎県 ②高知県 ③愛媛県 ④静岡県 ⑤福岡県

③ きんかん

○概要

- ・産出額 22 億円(R6)、栽培面積・生産量は全国第1位。
- ・日南市・串間市を始め、県央・県北地域と県内で広く栽培されている。

○面積、生産量、産出額の推移

[農林水産省] 単位：ha、t、戸、億円

年度 区分	平 15	20	25	30	令元	2	3	4	5	6	6/5 (%)
栽培面積	155	137	130	109	115	114	107	106	106	105	99
完熟	56	58	61	59	57	55	54	54	53	53	100
生産量	2,437	2,477	2,572	2,608	2,850	2,644	2,560	2,619	2,734	2,150	79
完熟	930	1,159	1,373	1,455	1,442	1,453	1,370	1,370	1,390	1,183	85
戸数	790	570	503	498	501	458	451	443	440	423	96
産出額	14	17	22	18	17	16	16	19	19	22	116

注) 令和 2~6 年は市町村報告

○主要作型

[県栽培指導指針]

項目/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
完熟	生育ステージ	◇◇◇◇◇◇◇##---○-----**◎◎◎◎◎▽▽-----											
完熟	主な管理	■■■■■■■■↑X +++++++↑↑▲▲=+++++++											
早期	生育ステージ	###○○-----**◎◎◎◎▽▽▽▽-----◇◇◇											
早期	主な管理	XX↑ +++++++↑▲▲▲▲↑■■■■■■■											

- ・ステージ：○発芽期 *花芽分化期 ◎開花期 --生育期間 ▽生理落果 ◇成熟期 #休眠期
- ・管理：▲摘果 ↑施肥 X整枝・せん定 ■収穫期間 +加温期間 =被覆期間

○生産量の全国順位 (R6年産)

- ①宮崎県 ②鹿児島県 ③熊本県 ④佐賀県 ⑤和歌山県

④ ゆず

○概要

- ・産出額 5 億円(R6)。
- ・中山間地域の主要品目として西都市、小林市、日之影町、西米良村等で栽培される。
- ・生果での出荷ほか、産地内で加工品の開発・販売が行われている。

○面積、生産量、産出額の推移

[農林水産省] 単位：ha、t、戸、億円

年度 区分	平 15	20	25	30	令元	2	3	4	5	6	6/5 (%)
栽培面積	127	130	157	137	139	140	154	155	155	152	98
生産量	959	832	1,037	785	1,161	1,169	1,183	996	952	1,178	124
戸数	270	297		397	421	430	422	426	411	419	102
産出額	4	5		3	4	4	4	5	5	5	100

注) 令和 3~6 年は市町村報告

○主要作型別

[県栽培指導指針]

項目/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生育ステージ	###**○○-----◎▽▽▽▽-----◇◇-----###											
主な管理	◆◆◆ X X X X X X ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ◆◆◆											

- ・ステージ：○発芽期 *花芽分化期 ◎開花期 --生育期間 ▽生理落果 ◇成熟期 #休眠期
- ・管理：▲摘果 ↑施肥 X整枝・せん定 ■収穫期間 ◆貯蔵期間

○生産量の全国順位 (R6年産)

- ①高知県 ②愛媛県 ③徳島県 ④鹿児島県 ⑤大分県 ⑥宮崎県

⑦ ぶどう

○概要

- ・川南町・都農町と小林市を中心とする西諸県地域が主な産地である。
- ・また、五ヶ瀬町では加工原料としての生産が行われている。
- ・「サニールージュ」「ハニービーナス」のブランド化のほか、「シャインマスカット」などの優良品種への更新が図られている。

○面積、生産量、産出額の推移

[農林水産省] 単位：ha、t、戸、億円

年度 区分	平15	20	25	30	令元	2	3	4	5	6	6/5 (%)
栽培面積	178	167	136	136	132	148	136	136	126	115	91
生産量	2,465	2,134	1,493	1,429	1,290	1,420	1,350	1,200	1,120	953	85
戸数	246	204	177	170	170	159	162	157	160	165	103
産出額	12	14	12	13	13	15	13	15	14	13	93

○主要作型別

[県栽培指導指針]

項目/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生育ステージ	# # # # # ○-----◎◎-----◇◇◇◇ # # # # #											
主な管理	X	=		U	▲▲			■ ■ ■		↑	↑	X

- ・ステージ：○発芽期 ◎開花期 --生育期間 ◇成熟期 #休眠期
- ・管理：▲摘果(粒) ↑施肥 X整枝・せん定 ■収穫期間 =被覆開始 Uジベレリン処理

○生産量の全国順位 (R6年産)

- ①山梨県 ②長野県 ③岡山県 ④山形県 ⑤福岡県 ⑩宮崎県

⑧ かき

○概要

- ・国富町(主な品種:富有)、延岡市(主な品種:次郎)、西諸県地域で甘柿を中心に産地化されている。
- ・古くから各地で栽培され、巻き柿や干し柿等の加工用需要に向けた取組も行われている。

○面積、生産量、産出額の推移

[農林水産省] 単位：ha、t、戸、億円

年度 区分	平15	20	25	30	令元	2	3	4	5	6	6/5 (%)
栽培面積	80	76	70	60	58	58	54	48	43	41	95
生産量	392	285	330	340	343	504	451	401	352	263	75
戸数	150	128	104	73	145	132	117	113	111	108	97
産出額	—	—	—	—	1	2	1	—	—	—	—

注) 令和2～6年は市町村報告

○主要作型

[県栽培指導指針]

項目/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生育ステージ	# # # # # # # ○-----◎-----▽▽▽▽▽▽▽▽-----◇◇◇◇◇◇ # # #											
主な管理	-----X			▲▲		▲▲□□	↑		↑	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	↑	X---

- ・ステージ：○発芽期 *花芽分化期 ◎開花期 --生育期間 ▽生理落果 ◇成熟期 #休眠期
- ・管理：▲摘果 ↑施肥 X整枝・せん定 ■収穫期間 □袋かけ

○生産量の全国順位 (R6年産)

- ①和歌山県 ②奈良県 ③福岡県 ④岐阜県 ⑤新潟県
 ※国統計(R6)に宮崎県データなし

⑨ 日本なし

○概要

- ・西諸県地域と児湯地域が主な産地で、観光農園や個人の直売所を中心として産地化されている。
- ・他の果樹類に先駆けて、省力化栽培樹形の研究がされており、県内でも徐々に普及している。

○面積、生産量、産出額の推移

[農林水産省] 単位：ha,t,戸,億円

年度 区分	平15	20	25	30	令和元	2	3	4	5	6	6/5 (%)
栽培面積	72	64	53	47	47	42	42	39	36	35	97
生産量	1,202	1,264	904	809	736	752	659	501	759	700	92
戸数	108	85	73	57	53	48	49	47	45	47	104
産出額	4	8	2	2	2	3	2	—	—	—	—

注) 令和元～6年は市町村報告

○主要作型

[県栽培指導指針]

項目/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生育 ステージ	#####	○○○	-----	◇◇◇◇◇◇◇◇	-----	#####	-----	◇◇◇◇◇◇◇◇	-----	#####	-----	##
主な管理	XXXXXX			▲▲▲▲▲▲▲▲	□□□□□			■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	↑		↑	XXX

- ・ステージ：○発芽期 *花芽分化期 ◎開花期 --生育期間 ▽生理落果 ◇成熟期 #休眠期
- ・管理：▲摘果 ↑施肥 X整枝・せん定 ■収穫期間 □袋かけ

○生産量の全国順位 (R6年産)

- ①千葉県 ②茨城県 ③福島県 ④栃木県 ⑤長野県
- ※国統計 (R6) に宮崎県データなし

⑩ マンゴー

○概要

- ・産出額は50億円 (R6) と国内産地で最も多く、生産量では沖縄県に次ぐ全国第2位である。
- ・宮崎市、西都市、小林市、日南市等を中心に産地が形成され、全国での認知度も高く、宮崎県を代表する果物の一つとなっている。

○面積、生産量、産出額の推移

[農林水産省] 単位：ha,t,戸,億円

年度 区分	平15	20	25	30	令和元	2	3	4	5	6	6/5 (%)
栽培面積	46	77	96	91	91	86	84	84	82	79	96
生産量	436	912	1,126	1,165	1,184	1,242	1,305	1,258	1,256	1,234	98
戸数	170	276	307	273	274	265	259	260	256	254	99
産出額	13	37	45	43	40	40	38	50	49	50	102

注) 令和2～6年は市町村報告

○主要作型別

[県栽培指導指針]

項目/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生育 ステージ		○ 出蕾	◎	▽	-----	◇◇◇◇◇	○ 夏枝		○ 秋枝			***
主な管理	+++++	↑	↑	▲	↑	+++++	■ ■ ■	↑ X	↑	↑	↑	+++++

- ・ステージ：○発芽期 ◎開花期 --生育期間 ▽生理落果 ◇◇成熟期 **花芽分化期 ##休眠期
- ・管理：▲摘果 ↑施肥 X整枝・剪定 ■■収穫期間 ◆◆貯蔵期間 =被覆開始 ++加温期間

○生産量の全国順位 (R6年産)

- ①沖縄県 ②宮崎県 ③鹿児島県 ④熊本県 ⑤高知県

Ⅲ 振興方針

宮崎の園芸を取り巻く情勢は、高齢化による担い手の減少や資材・重油価格高騰等の生産コストの増大、さらには自然災害や新奇病害が発生する中、産地力維持への懸念が高まっており、生産性が高く、あらゆる危機事象に柔軟に対応できる産地づくりが急務となっている。

加えて、安全・安心な国産農産物の安定供給、脱炭素の実現に向けたカーボンニュートラルや有機農業など環境負荷を軽減する持続可能な農業の取組を進める必要がある。

1 野菜

(1) 基本方針

施設では、きゅうり、ピーマン等主要品目を中心に、高い市場占有率を確保できるプライスリーダー産地としての位置を堅持するため、ハウスの集約化・団地化と担い手の確保・育成を一体的に進めるとともに、高度な環境制御等のスマート農業技術の導入による技術革新を図り、生産性の高い産地の確立を目指す。

露地では、重量野菜が機械化の遅れや需要の減少等により産地が縮小する一方で、加工・業務用野菜は、機械化一貫体系の確立や需要に応じた契約取引により生産割合が増加傾向にある。このため、大規模経営体を中心に、加工事業者と連携した加工・業務用野菜の産地づくりや、スマート農業技術の導入による生産拡大に取り組むとともに、省力機械の導入を支援するなど安定した生産体系の確立を図る。

◎ **重点推進品目**：概ね産出額20億円以上の本県野菜の中核を担う品目

きゅうり、ピーマン、トマト、いちご、食用かんしょ、さといも、ほうれんそう、ごぼう、だいこん（9品目）

◎ **戦略品目**：重点推進品目に次ぐ品目で、戦略的に生産振興を図る品目

メロン、にがうり、かぼちゃ、なす、スイートコーン、にら、キャベツ、ばれいしょ、にんじん、しょうが（10品目）

(2) 展開する施策

① 高品質で生産性の高い施設野菜産地づくり

ア 生産基盤の強化

- ・自然災害に強く耐候性の高いハウスの導入による安定生産の確保と作期の拡大
- ・意欲の高い生産者を中心としたハウスの整備・団地化の推進
- ・周年出荷を目的とした低コスト高軒高ハウスの検討
- ・高軒高ハウスの養液栽培による大規模・周年栽培モデルの検討
- ・施設園芸における新技術の導入・実証による省エネの推進

イ スマート農業技術の導入による生産性の向上

- ・ハウス内環境データの活用等、施設園芸のデジタル化の推進
- ・作業の自動化による労働生産性の向上
- ・養液栽培技術や複合環境制御の導入による反収の向上

ウ 中山間地域における夏秋野菜の振興

- ・夏期冷涼な気候条件を活かした品目の導入と産地の拡大
- ・強化型ハウスや防虫ネット被覆栽培の導入による安定生産対策の推進

エ 産地を支える担い手づくりの推進

- ・新規就農者等地域の担い手確保・育成の体制づくりの促進
- ・法人等大規模経営他位の育成と新規参入の促進

オ みやざきブランドの生産拡大

② 多様なニーズに対応できる露地野菜産地づくり

ア マーケットインに対応した産地づくり

- ・需要の高い加工・業務用野菜の拡大
- ・加工事業者と契約農家や大規模経営体が連携し生産方法の統一や機械化による分業化を行う「耕種版インテグレーション」の取組推進

イ スマート農業技術の導入による生産性の拡大

- ・農地の大区画化や集約による生産性の向上、作業の効率化の推進
- ・ロボットトラクターや自動収穫機等による農作業の自動化や省力化の推進
- ・ドローンやセンサー等を用いた環境条件の把握・改善による生産性の向上

ウ 安定した生産体系の確立

- ・水田裏作や畑地かんがいの利用、輪作体系の確立による農地の有効利用の促進
- ・国や研究機関と連携した新奇病害虫等の対策の確立

エ 優良種苗安定供給体制の強化

- ・バイテクセンターによる優良品種の採種と無病苗の大量増殖・供給
- ・JAアグリシードを中心とした優良種苗供給体制の強化

オ 産地を支える担い手づくりの推進

- ・法人等大規模経営体の育成と新規参入の促進
- ・大規模経営を支える雇用確保対策の取組強化

カ みやざきブランドの生産拡大

③ 安全・安心な生産体制の確立

ア GAPの取組推進

- ・栽培管理記録の徹底と残留農薬分析の実施
- ・有機物の適正使用、土壌診断に基づいた適正施肥の推進
- ・宮崎方式ICMの取組推進
- ・農業用廃プラスチックの適正処理の推進

イ 特別栽培の推進

- ・情熱みやざき農産物認証制度による減農薬・減化学肥料栽培等の推進

2 果樹

(1) 基本方針

果樹は多様なニーズに対応する産地づくりを推進し、日向夏やきんかん、ぶどう、くり等の常緑・落葉果樹に加え、マンゴー等の亜熱帯果樹などバラエティに富んだ品目を生産している。

施設果樹では、高温や樹勢低下等により収量と品質が低下していることから、マンゴーや日向夏での複合環境制御技術の確立やきんかんのす上がりを軽減する高温対策のほか、マンゴー等の計画的な改植を進めるなど、収益性の高い施設果樹産地づくりを目指す。

露地果樹では、条件不利地が多いことから、作業道などの園地整備や条件の良い農地への移動改植を進めるとともに、産地で加工・販売まで行う仕組みづくりや原料を安定供給する加工用園地づくりを目指す。

(2) 展開する施策

① 産地の魅力を産み出す新たな果樹経営体の育成

ア 次代を担う担い手確保

- ・定年帰農者、半農半X、異業種参入など多様な人材を対象とした新たな担い手の確保
- ・AIやICTなど、先進的な技術に対応できる人材の育成

- イ 産地が一体となった担い手の受入体制の整備
 - ・ 剪定や摘果技術の見える化や果樹版トレーニング園地設置の推進
 - ・ 産地が一体となった農地情報等の収集・マッチングの推進
 - ・ 新規就農者への経営承継する仕組みづくりの推進
- ウ あらゆるリスクへの対応
 - ・ 気象災害等の発生に備えた収入保険等のセーフティーネットへの加入促進

② 多様なニーズへの対応と新たな果樹産地づくりへの挑戦

ア 持続可能なスマート果樹産地づくり

【施設果樹】

- ・ 栽培環境データに基づく複合環境制御技術の確立
- ・ 肥培管理や温湿度コントロール技術等の普及による高品質化

【露地果樹】

- ・ スマート農業技術に対応した園内道や作業道の整備による大規模団地の整備推進
- ・ 傾斜地等の条件不利地から優良園地への移動改植、機械導入による作業の軽労化を推進

【共通】

- ・ 優良な苗木を安定的に供給する体制の整備
- ・ 「果樹産地構造改革計画」等に基づく計画的な新植・改植の推進
- ・ 大規模経営体の育成や生産支援体制確立による果樹産地拡大の推進
- ・ みどりの食料システム戦略に対応した新たな技術等への挑戦
- ・ 地球温暖化に対応した病害虫防疫体制の強化、多目的防災網の設置や鳥獣害対策の推進

イ 変化する多様なニーズに対応した産地づくり

- ・ 変化し続けるニーズに対応する商品を生み出せる産地の育成
- ・ ゆずやくり等の品目を中心とした加工業務向け産地の育成
- ・ 食味向上技術の導入や新品目の推進によるブランド果樹産地の育成

ウ 輸出に挑戦する産地づくり

- ・ 需要時期に応じた出荷体系の確立や輸出先国の農薬基準に対応した専用園地の設置
- ・ ゆず加工品輸出に向けた有機栽培やGAP等の取組を推進し、国際認証基準に対応した生産体制を構築

③ 果樹の魅力を活かした力強い農業・農村の実現

ア 次世代に引き継ぐ持続可能な中山間果樹産地づくり

- ・ 特定地域づくり事業協同組合と連動した担い手確保、生産から販売までの仕組みづくり

イ 他産業との連携等による中山間果樹産地の魅力発進

- ・ 観光農園、農泊等を通じた農業と観光業との連携
- ・ 地元農産物を活用した6次産業化による魅力的な商品づくり

3 花き

(1) 基本方針

施設では、キクやスイートピー等の主力品目の規模拡大を進めるとともに、県域の生産者組織の育成や、県内の花き関係団体と構成する「みやざき花で彩る未来」推進協議会を核に「みやざきの花」の有利販売対策の推進を行い、危機事象に負けない花き産地の確立を目指す。

露地では、キイチゴやりんどうなど、マーケットニーズの高い品目の安定生産技術の確立と、新規栽培者の確保による新たな産地の育成を図る。

(2) 展開する施策

① 気候変動への適応や環境制御技術の導入等による生産力の向上及び省力化

ア 気候変動に負けない花き生産の推進

- ・施設内環境改善の推進
- ・高温等気候変動に対する新技術の開発・普及

イ 高収量・高品質化を実現する次世代型花き生産の推進

- ・各品目におけるスマート農業技術の導入に向けた技術開発・マニュアル化
- ・環境制御システムの導入推進
- ・省力化及び低コスト化の推進
- ・雇用労力の確保

ウ 中山間地域における花き産地の拡大

- ・シキミの産地維持拡大
- ・ランキュラス、ホオズキの更なる産地拡大
- ・りんどうの産地化の推進

② 輸出の拡大やマーケットニーズの高い品目の拡大等による販売力の強化

ア 輸出先ニーズに対応した生産による輸出の拡大

- ・輸出先ニーズの高い品種、品目の導入推進
- ・輸出に対応した鮮度保持技術の確立、良日持ち性品種の導入推進
- ・輸出パートナーとの協働による販路開拓・販売促進

イ マーケットニーズの高い品目の拡大

- ・生産安定技術の確立
- ・生産者、関係機関の連携による推進体制の強化
- ・現地における経営モデル実証
- ・消費地における需要拡大推進

ウ 実需者ニーズに対応した販売体制の構築

- ・顧客分析等による販売戦略の構築
- ・日持ち認証制度の取得推進
- ・大手量販店や花束加工業者等との契約販売の推進
- ・新たな需要に対応した販売体制の構築

エ オリジナル品種等を活かしたブランド産地化による有利販売の展開

- ・オリジナル品種の普及推進
- ・優良種苗供給体制の強化

オ 花き関係者の連携による消費拡大対策の推進

- ・花育活動の拡充
- ・県民参加型イベント開催
- ・新たな物日の提案
- ・県産花き PR

③ 花き産地の未来を担う人材の育成

ア 産地での研修や就農後のフォローアップによる担い手の確保、育成

- ・産地における研修体制の整備
- ・離農希望者からの経営資源（施設・技術等）の継承推進
- ・生産者組織等の研修会を通じた担い手の資質向上

イ 企業的な経営感覚を持った雇用型大規模経営体の育成

- ・経営管理能力の高い生産者の育成
- ・周年雇用型経営モデルの確立・普及
- ・補助事業の活用や施設の継承による規模拡大の推進

IV 園芸関係事業実施状況

1 国庫交付金等事業

(1) 令和6年度事業実績

① 強い農業づくり総合支援交付金

取組名	市町村	事業実施主体	事業内容	対象作物	事業量	事業費 (千円)
産地競争力の強化	宮崎市	農事組合法人 愛園芸	低コスト耐候性ハウス 2,100 m ² 附帯設備 一式	きゅうり	低コスト 耐候性ハ ウス	84,150
	宮崎市	住吉地区ピー マン生産組合	低コスト耐候性ハウス 2,526 m ² 附帯設備 一式	ピーマン	低コスト 耐候性ハ ウス	80,223
合 計						164,373

② 産地生産基盤パワーアップ事業

地域	農業再生協議会名	取組主体数(件)	取組経営体数			事業費(千円)	うちハウス整備	国費(千円)	うちハウス整備	ハウス整備面積(a)		
			(件)	うちハウス整備	うち農業機械リース導入					低コスト耐候性	AP改良型	計
中部	宮崎中央地域	18	18	1	17	204,761	89,660	93,069	40,754	24	0	24
	綾町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	18	18	1	17	204,761	89,660	93,069	40,754	24	0	24
南那珂	日南市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	串間市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北諸県	都城市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	三股町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西諸県	小林市	5	5	1	4	73,722	43,320	33,508	19,689	0	23	23
	えびの市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	5	5	1	4	73,722	43,320	33,508	19,689	0	23	23
児湯	西都市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高鍋町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	新富町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	西米良村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	木城町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	尾鈴地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東臼杵	延岡市	10	10	6	4	150,721	152,744	66,955	66,779	0	82	82
	日向地域	7	7	0	7	50,536	0	22,960	0	0	0	0
	小計	17	17	6	11	201,257	152,744	89,915	66,779	0	82	82
西臼杵	西臼杵地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		40	40	8	32	479,740	285,724	216,492	127,222	24	105	129
うちハウス整備		8										

③ 農業用ハウス強靱化緊急対策事業（園芸産地における事業継続強化対策）

取組名	市町村	事業実施主体	事業内容	対象作物	事業費 (千円)
事業継続強化計画の検討・策定及び実践	宮崎市	宮崎市ハウス強靱化対策協議会	BCP研修の実施 3.95ha ハウスの補強 1.88ha 非常用電源の導入 2.98ha	きゅうり ピーマン なす ミニトマト ゴーヤ マンゴー バラ ユリ	18,053
	国富町	国富町ハウス強靱化対策協議会	ハウスの補強 0.39ha 非常用電源の導入 0.67ha	きゅうり ピーマン	1,957
合 計					20,011

④ 果樹経営支援対策事業（基金）

市町村	事業実施主体	事業内容	対象作物	面積 (㎡)	事業費 (千円)
宮崎市 国富町	宮崎中央果樹産地協議会	改植 新植 かん水等整備 放任園地発生防止 未収益期間支援	日向夏（西内小夏）、日南一号 レモン、マンゴー	9,656 1,798 0 0 11,454	2,220 377 0 0 2,598
日南市	日南市果樹産地協議会	改植 新植 かん水等整備 放任園地発生防止 未収益期間支援	マンゴー、レモン、ゆら早生等 レモン、日南一号、不知火	9,637 7,072 0 0 16,709	4,254 1,485 0 0 3,675
小林市	小林地区果樹産地協議会	改植 新植 かん水等整備 放任園地発生防止 未収益期間支援	くり、ゆず	0 25,308 0 0 25,308	0 4,074 0 0 5,567
日向市 門川町 美郷町 諸塚村 椎葉村	日向地域果樹産地協議会	改植 新植 かん水等整備 放任園地発生防止 未収益期間支援	へべす、田口早生、ゆら早生	0 21,764 0 9,232 21,764	0 4,570 0 923 4,788
合 計			改植 新植 かん水等設備 放任園地発生防止 未収益期間支援	19,293 55,942 0 9,232 75,235	6,474 10,507 0 923 16,630
			総合計	—	34,535

⑤ 果樹先導的取組支援事業（R5 補正産地パワーアップ事業）

市町村	事業実施主体	事業内容	対象作物	面積 (㎡)	事業費 (千円)
都城市 三股町	都城・北諸県 果樹産地 協議会	改植	ぶどう	0	0
		新植		3,726	7,644
		かん水等整備		0	0
		放任園地発生防止 未収益期間支援		0 1,242	0 273
合 計		改植 新植 かん水等設備 放任園地発生防止 未収益期間支援		0 3,726 0 0 1,242	0 7,644 0 0 273
		総合計		—	7,917

⑥ みやざきデジタル施設園芸産地構築事業

取組名	事業実施主体	事業内容	対象産地 対象作物	事業費 (千円)
データ駆動型 施設園芸推進 事業	宮崎県	・データ共有基盤の維持・改良費 ・環境測定機データ連携維持費 等	県内促成きゅうり及 び促成ピーマン産地	22,798
データ共有基 盤活用実証事 業	宮崎県	・環境測定機データ連携拡張 ・閲覧用アプリの開発 ・画像データ取得実証 等	県内促成きゅうり及 び促成ピーマン産地	25,619
合 計				48,418

⑦ みやざきデータ駆動型農業実践・展開支援事業

事業実施主体	事業内容	対象産地 対象作物	事業費 (千円)
宮崎県	・データ共有基盤の産地展開支援 ・データ活用マニュアルの作成 ・他県との連携推進 等	県内促成きゅうり及び 促成ピーマン産地	6,176

(2) 令和7年度事業実績見込み

① 強い農業づくり総合支援交付金

取組名	市町村	事業実施 主 体	事 業 内 容	対象作物	事業費 (千円)
産地競争力の強化	木城町	合同会社継	高度環境制御栽培施設 13,800 m ²	きゅうり	1,034,354
合 計					1,034,354

※ R 4 → R 6 繰越分

② 産地生産基盤パワーアップ事業

地域	農業再生協議会名	取組主体数 (件)	取組経営体数		事業費 (千円)	うちハウス 整備	国費 (千円)	うちハウス 整備	ハウス整備面積(a)			
			うちハウス 整備	うち農業 機械リ ース導入					低コスト 耐候性	AP改良 型	計	
中部	宮崎中央地域	3	3	0	3	37,247	0	16,929	0	0	0	0
	綾町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3	3	0	3	37,247	0	16,929	0	0	0	0
南那珂	日南市	10	10	1	9	257,837	95,323	107,423	33,558	13	0	13
	串間市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	10	10	1	9	257,837	95,323	107,423	33,558	13	0	13
北諸県	都城市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	三股町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西諸県	小林市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	えびの市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
児湯	西都市	3	3	0	3	31,829	0	13,090	0	0	0	0
	高鍋町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	新富町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	西米良村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	木城町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	尾鈴地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3	3	0	3	31,829	0	13,090	0	0	0	0
東臼杵	延岡市	2	2	0	2	33,364	0	15,089	0	0	0	0
	日向地域	2	2	0	2	12,784	0	5,811	0	0	0	0
	小計	4	4	0	4	46,148	0	20,900	0	0	0	0
西臼杵	西臼杵地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		20	20	1	19	373,061	95,323	158,342	33,558	13	0	13
うちハウス整備		1										

※事業費は令和8年2月時点。

③ 農業用ハウス強靱化緊急対策事業（園芸産地における事業継続強化対策）

取組名	市町村	事業実施主体	事業内容	対象作物	事業費(千円)
事業継続強化計画の検討・策定及び実践	宮崎市	宮崎市ハウス強靱化対策協議会	BCP研修の実施 8.79ha ハウスの補強 5.37ha 非常用電源の導入 4.08ha	きゅうり ピーマン なす ミニトマト メロン ニラ しょうが マンゴー パパイヤ 日向夏 ダリア ポインセチア	33,847
	国富町	国富町ハウス強靱化対策協議会	ハウスの補強 0.18ha 非常用電源の導入 0.31ha	きゅうり	1,255
	諸塚村	柳の越園芸団地生産組合	ハウスの補強 0.28ha	ミニトマト ハウレンソウ スイートピー	11,176
合 計					462,778

④ 果樹経営支援対策事業（基金）

市町村	事業実施主体	事業内容	対象作物	面積 (㎡)	事業費 (千円)
	ジェイエ イ・アグリ シード株 式会社	大苗育苗ほ場の設置	マンゴー	933	7,421
宮崎市 国富町	宮崎中央 果樹産地 協議会	改植 新植 かん水等整備 放任園地発生防止 未収益期間支援	レモン	0 5,741 0 0 5,471	0 1,205 0 0 1,263
綾町	綾町 果樹産地 協議会	改植 新植 かん水等整備 放任園地発生防止 未収益期間支援	宮崎王丸	0 1,008 0 0 1,008	0 211 0 0 221
日南市	日南市 果樹産地 協議会	改植 新植 かん水等整備 放任園地発生防止 未収益期間支援	日向夏、N1号、ゆら早生 津之輝、ゆら早生 日南1号根域	15,934 9,558 1,119 0 25,492	12,875 2,007 673 0 5,608
小林市	小林地区 果樹産地 協議会	改植 新植 かん水等整備 放任園地発生防止 未収益期間支援	くり くり	903 3,369 0 0 4,272	153 505 0 0 939
川南町 都農町	尾鈴 果樹産地 協議会	改植 新植 かん水等整備 放任園地発生防止 未収益期間支援	レモン	0 7,602 0 0 7,602	0 1,596 0 0 0
日向市 門川町 美郷町 諸塚村 椎葉村	日向地域 果樹産地 協議会	改植 新植 かん水等整備 放任園地発生防止 未収益期間支援	興津早生 田口早生	992 3,475 0 0 4,467	228 729 0 0 982
高千穂町	高千穂地区 果樹産地 協議会	改植 新植 かん水等整備 放任園地発生防止 未収益期間支援	ネイハキンカン	1,440 0 0 0 1,440	302 0 0 0 316
合 計			大苗育苗ほ場の設置	933	7,421
			改植	19,269	13,560
			新植	30,753	6,255
			かん水等設備	1,119	673
			放任園地発生防止	0	0
			未収益期間支援	50,022	11,004
			総合計	—	38,915

⑤ 果樹先導的取組支援事業（R6 補正産地パワーアップ事業）

市町村	事業 実施主体	事業内容	対象作物	面積 (㎡)	事業費 (千円)
宮崎市 国富町	宮崎中央 果樹産地 協議会	改植 新植 かん水等整備 放任園地発生防止 未収益期間支援	高温対策資機材	0	0
				1,050	566
				34,391	27,427
				0	0
				1,050	231
綾町	綾町 果樹産地 協議会	改植 新植 かん水等整備 放任園地発生防止 未収益期間支援	高温対策資機材	0	0
				1,176	1,270
				0	0
				0	0
				1,176	258
日南市	日南市 果樹産地 協議会	改植 新植 かん水等整備 放任園地発生防止 未収益期間支援	高温対策資機材	0	0
				0	0
				19,235	12,362
				0	0
				0	0
串間市	串間市 果樹産地 協議会	改植 新植 かん水等整備 放任園地発生防止 未収益期間支援	高温対策資機材	0	0
				0	0
				13,271	3,029
				0	0
				0	0
西都市 西米良村	西都・西米良 果樹産地 協議会	改植 新植 かん水等整備 放任園地発生防止 未収益期間支援	高温対策資機材	0	0
				0	0
				38,231	13,226
				0	0
				0	0
高鍋町 新富町 木城町	児湯 果樹産地 協議会	改植 新植 かん水等整備 放任園地発生防止 未収益期間支援	高温対策資機材	0	0
				0	0
				2,770	1,104
				0	0
				0	0
川南町 都農町	尾鈴 果樹産地 協議会	改植 新植 かん水等整備 放任園地発生防止 未収益期間支援	高温対策資機材	0	0
				0	0
				5,765	1,164
				0	0
				0	0
日向市 門川町 美郷町 諸塚村 椎葉村	日向地域 果樹産地 協議会	改植 新植 かん水等整備 放任園地発生防止 未収益期間支援	高温対策資機材	0	0
				0	0
				21,135	27,761
				0	0
				0	0
合 計				0	0
				2,226	1,837
				134,798	86,074
				0	0
				2,226	489
総合計				—	88,401

⑥ みやざきデジタル施設園芸産地構築事業

取組名	事業 実施主体	事業内容	対象産地 対象作物	事業費 (千円)
データ駆動型 施設園芸推進 事業	宮崎県	・データ共有基盤の維持・改良費 ・環境測定機データ連携維持費 等	県内促成きゅうり及び 促成ピーマン産地	23,363
データ共有基 盤活用実証事 業	宮崎県	・環境測定機データ連携拡張 ・閲覧用アプリの開発 ・画像データ取得実証 等	県内促成きゅうり及び 促成ピーマン産地	25,631
合 計				48,994

⑦ みやざきデータ駆動型農業実践・展開支援事業

事 業 実施主体	事業内容	対象産地 対象作物	事業費 (千円)
宮崎県	・データ共有基盤の産地展開支援 ・データ活用マニュアルの作成 ・他県との連携推進 等	県内促成きゅうり及び 促成ピーマン産地	10,657

2 県単独事業

(1) 令和6年度事業実績

① スマート&グリーンで目指す耕種農業産出額 UP 事業

区分	市町村	事業実施 主 体	事 業 内 容	対象作物	事業費 (千円)	県費補助 (千円)
産出 額 UP 緊急 対策 事業	宮崎市	宮崎市園芸振興協 議会	CO2 発生装置、局所施用装 置、環境測定装置導入	—	18,630	5,624
	綾町	綾町グリーン&ス マートで目指す耕 種農業産出額 UP 協 議会	CO2 発生装置、環境測定装 置導入	—	1,619	315
	小林市 高原町	JA みやざきこばや し地区本部	CO2 発生装置導入	ピーマン、 マンゴー	10,761	1,276
	西都市	西都スマグリ研究会	CO2 発生装置、局所施用装 置導入	—	2,257	751
	小林市 高原町	こばやし地区ごぼ う部会	深耕作業の受託	ごぼう	1,671	911
	西都市	ジェイエイフーズ みやざき	排水対策、土作りの実施	ほうれんそ う	560	280
スマ ート &グ リー ン産 地育 成事 業	—	宮崎県農業協同組 合(本店)	経済連実証ハウスでのデ ータ収集・分析(養液栽培 等)	ピーマン きゅうり	2,535	1,152
	西諸県	西諸県地区気候変 動対策協議会	遮熱フィルム、空洞扇等 の実証	ピーマン	1,619	734
	西都市	西都市園芸施設拠 点推進協議会	大規模専作経営体育成、 スマート化による産地の 農作業省力化や効率化に 向けた取組	各種	1,182	591
合 計					42,711	11,634

② 加工・業務用野菜日本一産地確立事業

区分	市町村	事業実施 主 体	事 業 内 容	対象作物	事業費 (千円)	県費補助 (千円)
加工・業務用産地確立推進事業	—	株式会社日本能率協会コンサルティング(委託)	マッチングコーディネーター育成及びデータ活用人材育成による分業化の推進に係る研修会の実施	加工・業務用野菜	3,284	3,000
加工・業務用産地確立支援事業	宮崎市	さざんか営農組合	分業化に係る資機材導入	かんしょ	6,812	2,064
	宮崎市	合同会社ベジファームマツダ	分業化に係る資機材導入	千切り だいこん	3,080	913
	綾町	株式会社綾・野菜加工館	分業化に係る資機材導入、デジタルツールの活用	ほうれん そう	4,846	1,469
	小林市	小林市間接補助 (JA こばやし地区本部甘藷生産部会)	農作業受委託の実施	かんしょ	525	262
	小林市	小林市間接補助 (JA みやざきこばやし地区本部)	分業化に係る資機材導入	かんしょ	1,595	478
	—	宮崎県経済農業協同組合連合会	農作業受委託の実施	春たかな	313	139
	—	宮崎県経済農業協同組合連合会	農作業受委託の実施	たかな だいこん	592	267
合 計					21,047	8,592

③ みやざきの優良種苗供給体制構築事業

区分	市町村	事業実施 主 体	事 業 内 容	対象作物	事業費 (千円)	県費補助 (千円)
優良 種苗 供給 体制 構築 事業	—	株式会社日本能率 協会コンサルティング(委託)	かんしょ苗生産体制の改善 と生産振興に向けた調査・ 提案	かんしょ	1,800	1,800
	—	株式会社宮崎県農 協情報センター(委 託)	宮崎県バイオテクノロジー 種苗増殖センターの事務作 業の改善	かんしょ	200	200
優良 種苗 確保 産地 緊急 支援 事業	高千穂町	高千穂地区花き園 芸振興会ラナンキ ュラス部会	ラナンキュラス優良種苗の 育苗に必要な資機材の導入	ラナンキュ ラス	272	247
	えびの市	株式会社 Boots	さといも種苗の安定生産に 係る資機材導入	さといも	2,900	878
	小林市	JA みやざきこばや し地区本部	さといも種苗の安定生産に 係る資機材導入	さといも	900	272
	小林市	小林地区かんしょ 苗生産拡大研究会	かんしょ種苗の安定生産に 係る資機材導入	かんしょ	3,661	1,014
	—	ジェイエイ・アグリシード株 式会社	キュウリ、ピーマン種苗安 定生産に係る資機材導入	キュウリ ピーマン	1,284	387
合 計					11,017	4,798

④ 土地利用型農業産地再編・強化対策事業

区分	市町村	事業実施 主 体	事 業 内 容	対象作物	事業費 (千円)	県費補助 (千円)
土地 利用 型農 業規 模拡 大促 進事 業	—	宮崎県 JA 花き協議 会	生産者組織の支援	—	1,265	600
	—	宮崎県花き生産者 連合会	生産者組織の支援	—	1,474	525
	—	宮崎県果樹振興協 議会	生産者組織の支援	—	1,283	375
合 計					4,442	1,500

⑤ 未来へ繋ぐ施設園芸スタイルシフト推進事業

区分	市町村	事業実施 主 体	事 業 内 容	対象作物	事業費 (千円)	県費補助 (千円)
生産 基盤 シフト 事業	綾町	綾町施設園芸スタイルシフト推進協議会	自動かん水装置等の導入	きゅうり	770	350
	日南市 串間市	南那珂施設園芸組合	自動かん水装置及び天敵 資材等の導入 既存ハウスの改修	きゅうり ピーマン等	15,636	4,759
	日南市 串間市	南那珂果樹生産組合	既存ハウスの改修	せとか きんかん等	13,792	4,036
	小林市	JA こばやし施設園芸 研究会	自動かん水装置及び天敵 資材の導入	マンゴー ピーマン等	1,293	545
	えびの市	JA みやざきえびの市 地区本部スタイルシ フト研究会	自動かん水装置の導入	いちご	2,317	650
	新富町	宮崎県農業協同組合 児湯地区本部	自動かん水装置及び天敵 資材等の導入	ピーマン ぶどう等	3,934	1,767
	西都市	宮崎県農業協同組合 西都地区本部	自動かん水装置等の導入	ピーマン	3,095	1,406
	椎葉村	矢立野菜生産組合	既存ハウスの改修	ほうれんそ う	5,737	2,183
	日向市	日向地域農業再生協 議会	自動かん水装置等の導入 既存ハウスの改修	ミニトマト きゅうり	65	19
	高千穂町	高千穂地区農業協同 組合	既存ハウスの改修	きんかん いちご等	2,587	779
	—	株式会社 生科研	腐熟度促進試験による堆 肥の品質安定・向上の実 証	—	1,249	1,249
	—	協和化学株式会社	超音波噴霧器を活用した 湿度保持の実証	ピーマン	2,372	2,372
	—	アルバ宮崎株式会社	電熱シートを活用した化 石燃料を使用しない栽培 の実証	きゅうり	1,725	1,725

⑤ 未来へ繋ぐ施設園芸スタイルシフト推進事業

区分	市町村	事業実施 主 体	事 業 内 容	対象作物	事業費 (千円)	県費補助 (千円)
果樹・花 き生 産力 強化 事業	宮崎市	宮崎市園芸振興協議 会	非破壊糖度計の導入	マンゴー ライチ等	489	147
	小林市	JA こばやし施設園芸 研究会	非破壊糖度計の導入	マンゴー	105	31
	新富町	宮崎県農業協同組合 児湯地区本部	遮光資材の導入	マンゴー	878	266
	高千穂町	高千穂地区花き園芸 振興会ランンキュラ マ部会	花き苗の導入	ランンキュ ラス	538	149
	—	「みやざき花で彩る 未来」推進協議会	国内外におけるPR活動 やニーズ調査の実施	—	1,580	750
合 計					59,394	26,664

⑥ 施設園芸ハウス長寿命化緊急支援事業

区分	市町村	事業実施 主 体	事 業 内 容	対象作物	事業費 (千円)	県費補助 (千円)
ハウス長 寿命化 緊急支 援事業	宮崎市	宮崎市園芸振興協 議 会	既存ハウスの改修	きゅうりマ ンゴー等	61,783	18,680
	綾町	綾町施設園芸スタ イルシフト推進協 議 会	既存ハウスの改修	きゅうり、き んかん等	3,570	1,068
	国富町	国富町未来へ繋ぐ施 設園芸スタイルシ フト推進協議会	既存ハウスの改修	きゅうり、ピ ーマン等	7,176	1,188
	都城市	J A みやざき都城地 区本部いちご専門部 会	既存ハウスの改修	いちご	1,254	360
	小林市	小林果樹スタイルシ フト協議会	既存ハウスの改修	ぶどう マンゴー	1,290	389
	小林市	JA こばやし施設園芸 研究会	既存ハウスの改修	ピーマン、マ ンゴー等	15,810	4,774
	新富町 高鍋町	宮崎県農業協同組合 児湯地区本部	既存ハウスの改修	ピーマン、ミ ニトマト等	16,190	4,885
	新富町	新富町農業再生協 議 会	既存ハウスの改修	きゅうり、ピ ーマン等	1,087	305
	西都市	宮崎県農業協同組合 西都地区本部	既存ハウスの改修	きゅうり、ピ ーマン等	12,400	3,747
	川南町	宮崎県農業協同組合 尾鈴地区本部いちご 部会	既存ハウスの改修	いちご	443	134
合 計					121,003	36,505

(2) 令和7年度事業実績見込み

① スマート&グリーンで目指す耕種農業産出額 UP 事業

区分	市町村	事業実施 主 体	事 業 内 容	対象作物	事業費 (千円)	県費補助 (千円)
産出 額 UP 緊急 対策 事業	宮崎市	宮崎市園芸振興協 議会	CO2 発生装置、局所施用装 置、環境測定装置導入	きゅうり	3,432	1,144
	綾町	綾町グリーン&ス マートで目指す耕 種農業産出額 UP 協 議会	CO2 発生装置、環境測定装 置導入	きゅうり	1,883	627
	国富町	国富町未来へつな ぐ施設園芸スタイ ルシフト推進協議 会	CO2 発生装置、局所施用装 置導入	ピーマン	4,678	1,558
	日南市	R7 南那珂果樹生産 組合	CO2 発生装置導入	マンゴー	2,335	777
	新富町 高鍋町 木城町	宮崎県農業協同組 合 児湯地区本部	CO2 発生装置、環境測定装 置導入	ピーマン、 ミニトマト	6,062	1,955
	小林市	JA こばやし施設園 芸研究会	環境測定装置の導入	ぶどう	94	31
	西都市	西都スマート農業 研究会	CO2 発生装置、環境測定装 置導入	ピーマン、 マンゴー	9,807	2,806
	小林市	JA みやざきこばや しごぼう部会	深耕作業の受託	ごぼう	1,791	981
	西都市	ジェイエイフーズ みやざき	排水対策、土作りの実施	ほうれんそ う	600	300

① スマート&グリーンで目指す耕種農業産出額 UP 事業

区分	市町村	事業実施 主 体	事 業 内 容	対象作物	事業費 (千円)	県費補助 (千円)
スマ ート & グ リ ー ン 産 地 育 成 事 業	—	宮崎県農業協同組 合（本店）	高軒高ハウスにおけるき ゆうりの生産性向上に関 する実証	きゅうり	2,910	1,322
	—	宮崎県農業協同組 合（本店）	サツマイモ基腐病、茎根腐 細菌病対策の実証	かんしょ	4,589	2,086
	日南市	南那珂地区営農振 興協議会	スイートピーの生産性向 上に関する実証	スイートピ ー	333	166
	都城市	都城市農業再生協 議会	直進アシスト機能を活用 した畝立同時播種体系構 築に向けた実証	ほうれんそ う ばれいしょ	1,389	631
	西諸県	西諸県地区気候変 動対策協議会	遮熱フィルム、空洞扇等の 実証	各種	1,010	457
	西都市	施設ピーマン大規 模化経営戦略協議 会	高収益ピーマン産地づく りに向けた取組	ピーマン	434	197
合 計					41,346	15,038

② 加工・業務用野菜日本一産地確立事業

区分	市町村	事業実施 主 体	事 業 内 容	対象作物	事業費 (千円)	県費補助 (千円)
加工・業務用産地確立事業	—	株式会社日本能率協会コンサルティング(委託)	実需者ニーズの把握及び耕種版インテグレーションの更なる発展と横展開の推進ができる人材育成に係る研修会の実施	加工・業務用野菜	3,000	3,000
加工・業務用産地確立支援事業	宮崎市	合同会社ベジファームマツダ	分業化に係る資機材導入	千切り だいこん	6,610	2,203
	綾町	「綾・野菜加工館」 加工用野菜生産組合	農作業受委託の実施	ほうれんそう	828	414
	小林市	株式会社 ユーファーム	分業化に係る資機材導入	ほうれんそう ごぼう	1,545	468
	—	宮崎県農業協同組合	農作業受委託の実施	春だいこん	6,629	3,313
	—	宮崎県農業協同組合	農作業受委託の実施	だいこん	426	212
合 計					19,038	9,610

③ みやざき果樹花き産地生産力強化事業

区分	市町村	事業実施 主 体	事 業 内 容	対象作物	事業費 (千円)	県費補助 (千円)
種苗 供給 体制 構築 事業	—	株式会社宮崎県農 協情報センター(委 託)	マンゴー改植支援システ ムの開発	マンゴー	2,000	2,000
	—	西田貴弘(西華園)	ライチ苗木用ハウス資材 及び加温機の導入	ライチ	1,196	362
	—	有限会社森緑園	ライチ苗木用ハウスの導 入	ライチ	2,708	820
推奨 品種 ・技 術導 入改 植推 進事 業	宮崎市	株式会社宮崎なか むら農園	日向夏の改植	日向夏	1,500	1,500
生産 者組 織支 援事 業	—	宮崎県 JA 花き協議 会	生産者組織の支援	—	1,200	600
	—	宮崎県花き生産者 連合会	生産者組織の支援	—	1,696	525
	—	宮崎県果樹振興協 議会	生産者組織の支援	—	1,500	375
合 計					11,800	

④ 未来へ繋ぐ施設園芸スタイルシフト推進事業

区分	市町村	事業実施 主 体	事 業 内 容	対象作物	事業費 (千円)	県費補助 (千円)
生産 基盤 シフト 事業	宮崎市	宮崎市園芸振興協議 会	自動かん水装置及び天敵 製剤等の導入	きゅうり ピーマン等	13,773	4,340
	綾町	綾町施設園芸スタイ ルシフト推進協議会	液肥混入機及び天敵製剤 等の導入	きゅうり マンゴー等	2,127	864
	日南市 串間市	南那珂施設園芸組合	自動かん水装置及び天敵 製剤等の導入	きゅうり ピーマン	4,807	1,645
	日南市 串間市	南那珂果樹生産組合	自動かん水装置の導入	きんかん	3,905	500
	日南市	株式会社ひじかた	自動かん水装置及び天敵 製剤等の導入	ピーマン	1,829	617
	小林市	JA こばやし施設園芸 研究会	自動かん水装置及び天敵 製剤等の導入	ピーマン マンゴー等	2,446	1,013
	新富町 高鍋町 木城町	宮崎県農業協同組合 児湯地区本部	自動かん水装置及び天敵 製剤等の導入	きゅうり ピーマン等	7,606	3,045
	西都市	宮崎県農業協同組合 西都地区本部	自動かん水装置及び天敵 製剤等の導入	きゅうり ピーマン等	16,592	4,770
	川南町	宮崎県農業協同組合 尾鈴地区本部	天敵製剤の導入	きゅうり ピーマン等	4,256	1,716
	新富町	新富町農業再生協議 会	天敵製剤の導入	きゅうり ピーマン	256	72
日向市	宮崎県農業協同組合 日向地区本部	天敵製剤の導入	いちご	1,200	300	
果樹・ 花き 生産力 強化 事業	宮崎市	宮崎市園芸振興協議 会	非破壊糖度計の導入 花き苗の導入	マンゴー ラナンキュ ラス	2,547	407
	宮崎市	パルメロ研産会	非破壊糖度計の導入	マンゴー	187	58
	綾町	綾町施設園芸スタイ ルシフト推進協議会	非破壊糖度計の導入	マンゴー	233	56
	日南市 串間市	南那珂果樹生産組合	遮光資材の導入	きんかん	157	47
	西都市	宮崎県農業協同組合 西都地区本部	花き苗の導入	ラナンキュ ラス	131	39
	えびの市	椎葉村ラナンキュラ ス生産部会	花き苗の導入	ラナンキュ ラス	142	42
合 計					56,551	19,534

⑤ 施設園芸物価高騰緊急対策事業

区分	市町村	事業実施 主 体	事 業 内 容	対象作物	事業費 (千円)	県費補助 (千円)
ハウス 長 寿 命 化 緊 急 支 援 事 業	宮崎市	宮崎市園芸振興協議会	既存ハウスの改修・補強	きゅうり いちご等	38,416	11,618
	国富町	国富町未来へ繋ぐ施設園芸スタイルシフト推進協議会	既存ハウスの改修	きゅうり ピーマン等	8,497	2,566
	綾町	綾町施設園芸スタイルシフト推進協議会	既存ハウスの改修・補強	きゅうり きんかん等	3,571	1,188
	日南市 串間市	はまゆう物価高騰対策部会	既存ハウスの改修・補強	きゅうり マンゴー等	66,107	20,014
	日南市 串間市	南那珂施設園芸組合	既存ハウスの改修	ピーマン	416	122
	日南市 串間市	南那珂果樹生産組合	既存ハウスの改修	きんかん	3,783	1,114
	串間市	大東地区施設園芸組合	既存ハウスの改修・補強	きんかん マンゴー	3,396	1,002
	都城市	J Aみやざき都城地区本部・野菜生産連絡協議会	既存ハウスの改修・補強	きゅうり いちご等	10,259	3,096
	都城市	南国興産株式会社	既存ハウスの改修・補強	ニラ	2,510	759
	小林市	JA こばやし施設園芸研究会	既存ハウスの改修・補強	ピーマン マンゴー等	14,250	4,287
	えびの市	JA えびの市ハウス長寿命化対策協議会	既存ハウスの改修	いちご デルフィニウム	441	133
	えびの市	株式会社森茂農場	既存ハウスの改修	ピーマン	1,650	500
	新富町 高鍋町 木城町	宮崎県農業協同組合 児湯地区本部	既存ハウスの改修・補強	ピーマン ミニトマト 等	25,022	7,563
	西都市	宮崎県農業協同組合 西都地区本部	既存ハウスの改修・補強	きゅうり ピーマン等	33,215	10,049
	高鍋町	高鍋町農業再生協議会	既存ハウスの改修・補強	ピーマン きゅうり	688	207
	新富町	新富町農業再生協議会	既存ハウスの改修	きゅうり ピーマン等	3,724	1,121
	日向市	JA みやざき日向地区本部	既存ハウスの改修	ミニトマト トマト	3,984	1,154
	椎葉村	矢立野菜生産組合	既存ハウスの改修	ハウレンソウ ミニトマト	698	205

⑤ 施設園芸物価高騰緊急対策事業

区分	市町村	事業実施 主 体	事 業 内 容	対象作物	事業費 (千円)	県費補助 (千円)
緊急支援事業 ハウス長寿命化	椎葉村	椎葉村ラナンキュラス生産部会	既存ハウスの改修	ラナンキュラス トルコギキョウ	140	36
	延岡市	菊池 光雄	既存ハウスの改修	キク	328	96
	高千穂町	宮崎県農業協同組合 高千穂地区本部	既存ハウスの改修・補強	きんかん ラナンキュラス等	2,236	671
環境測定機の導入支援事業	宮崎市	宮崎市園芸振興協議会	環境測定装置の導入 CO2 発生装置の導入	きゅうり ピーマン等	32,166	16,063
	日南市 串間市	はまゆう物価高騰対策部会	環境測定装置の導入 CO2 発生装置の導入	きゅうり ピーマン等	8,459	4,226
	日南市	株式会社ひじかた	環境測定装置の導入	ピーマン	363	181
	都城市	南那珂果樹生産組合	環境測定装置の導入 CO2 発生装置の導入	きゅうり いちご等	19,758	927
	小林市	J A こばやし施設園芸研究会	環境測定装置の導入 CO2 発生装置の導入	ラナンキュラス	7,794	3,895
	西都市	西都市施設園芸研究会	環境測定装置の導入 CO2 発生装置の導入	ラナンキュラス	10,592	5,292
	新富町	新富町農業再生協議会	環境測定装置の導入 CO2 発生装置の導入	きゅうり トマト	1,101	550
	川南町	宮崎県農業協同組合 尾鈴地区本部	環境測定装置の導入 CO2 発生装置の導入	スイートピー バラ	252	126
	日向市	J A みやざき日向地区本部 施設胡瓜専門部会	環境測定装置の導入 CO2 発生装置の導入	きゅうり	902	451
合 計					296,267	99,212

⑥ 露地園芸物価高騰緊急対策事業

区分	市町村	事業実施 主 体	事 業 内 容	対象作物	事業費 (千円)	県費補助 (千円)
露地園芸経営体 質強化支援事業	—	中部地区	機械導入	露地野菜	3,135	1,567
	—	南那珂地区	機械導入	露地果樹	2,065	1,032
	—	西諸県地区	機械導入	露地野菜 露地果樹	31,346	14,873
	—	児湯地区	機械導入	露地果樹	5,276	2,312
	—	東臼杵地区	機械導入	露地果樹	3,223	1,611
	—	西臼杵地区	機械導入	露地果樹	1,000	500
加工・業務用野菜作付 支援事業	—	全域	作付支援	加工用大根	60,598	60,598
	—	全域	作付支援	加工用 ほうれんそう	10,569	10,569
合 計					117,212	93,062

⑦ 水田農業物価高騰緊急対策事業（裏作、輪作等）

区分	市町村	事業実施 主 体	事 業 内 容	対象作物	事業費 (千円)	県費補助 (千円)
	—	中部地区	機械導入	露地野菜	19,019	7,467
	—	西諸県地区	機械導入	露地野菜	46,788	18,981
	—	児湯地区	機械導入	露地野菜	3,650	1,825
	—	東臼杵地区	機械導入	露地野菜	5,400	2,000
合 計					74,857	30,273

3 野菜価格安定対策事業

(1) 令和6年度交付予約数量、資金造成額及び交付金

① 指定野菜価格安定対策事業

種 別	期 間	予約数量 (トン)	資金造成額 (千円)	交付金額 (千円)	交付率 (%)
夏秋きゅうり	7-9	1,051	72,210	0	0.0
	10-11	2,901	241,684	0	0.0
	小 計	3,952	313,894	0	0.0
冬春きゅうり	5-6	6,458	352,055	304	0.1
	11/21-12	6,214	714,480	0	0.0
	1-2	8,526	860,613	0	0.0
	3-4	8,188	572,694	94	0.0
	小 計	29,386	2,499,842	398	0.0
秋冬さといも	6-7	2	207	0	0.0
	8-9	7	488	0	0.0
	10-12	55	3,954	0	0.0
	1-3	6	410	0	0.0
	小 計	70	5,059	0	0.0
夏秋トマト	7-9	300	22,644	0	0.0
	10-11	50	4,855	0	0.0
	小 計	350	27,499	0	0.0
夏秋ミニトマト	7-9	70	11,406	0	0.0
	10-11	20	3,391	0	0.0
	小 計	90	14,797	0	0.0
冬春トマト	5-6	454	28,721	0	0.0
	11/21-12	101	9,490	0	0.0
	1-2	317	28,055	0	0.0
	3-4	384	34,705	42	0.1
	小 計	1,256	100,971	42	0.0
冬春ミニトマト	5-6	957	109,178	0	0.0
	11/21-12	670	103,831	0	0.0
	1-2	822	133,206	0	0.0
	3-4	1,040	162,734	10,051	6.2
	小 計	3,489	508,949	10,051	2.0
冬春なす	5-6	733	59,138	0	0.0
	3-4	50	4,770	0	0.0
	小 計	783	63,908	0	0.0
夏秋ピーマン	5/16-7	195	13,640	0	0.0
	8-10	74	5,634	0	0.0
	小 計	269	19,274	0	0.0
冬春ピーマン	4-5	3,569	319,042	0	0.0
	6-6/15	452	37,619	0	0.0
	10/21-12	2,937	323,022	0	0.0
	1-3	4,561	729,277	1,106	0.2
	小 計	11,519	1,408,960	1,106	0.1
合 計		51,164	4,963,153	11,597	0.2

②特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

(i) 特定野菜事業

種 別	期 間	予約数量 (トン)	資金造成額 (千円)	交付金額 (千円)	交付率 (%)
い ち ご	3	30	5,360	0	0.0
	小 計	30	5,360	0	0.0
か ん し ょ	7-9	50	1,669	0	0.0
	10-12	50	1,580	0	0.0
	1-4	30	993	0	0.0
	小 計	130	4,242	0	0.0
ご ぼ う	4-6	0	0	0	0.0
	7-9	32	1,356	0	0.0
	10-12	0	0	0	0.0
	小 計	32	1,356	0	0.0
しょうが	5-7	350	33,830	23	0.1
	8-10	135	9,580	0	0.0
	小 計	485	43,410	23	0.1
スイートコーン	6-7	310	10,572	0	0.0
	小 計	310	10,572	0	0.0
に ら	5-6	185	8,155	0	0.0
	7-10	200	15,638	0	0.0
	11-12	245	27,457	0	0.0
	1-2	239	29,263	0	0.0
	3-4	317	22,103	0	0.0
	小 計	1,186	102,617	0	0.0
にがうり	6-9	1,214	63,313	0	0.0
	小 計	1,214	63,313	0	0.0
合 計		3,387	230,870	23	0.0

(ii) 指定野菜事業

種 別	期 間	予約数量 (トン)	資金造成額 (千円)	交付金額 (千円)	交付率 (%)
冬春きゅうり	5-6	185	9,067	500	5.5
	11/21-12	200	20,415	0	0.0
	1-2	205	18,443	0	0.0
	3-4	230	14,400	0	0.0
	小 計	820	62,325	500	0.8
夏 秋 な す	7-9	90	5,254	0	0.0
	10-11	10	721	102	14.2
	小 計	100	5,975	102	1.7
夏秋ピーマン	5/17-7	20	1,195	0	0.0
	8-10	30	2,229	0	0.0
	小 計	50	3,424	0	0.0
ほうれんそう	7-9	25	4,431	0	0.0
	10-12	10	1,214	0	0.0
	小 計	35	5,645	0	0.0
秋 冬 ね ぎ	10-12	1	88	0	0.0
	1-3	1	69	0	0.0
	小 計	2	157	0	0.0
合 計		1,007	77,525	602	0.8

③県単事業

(i) みやざき特産野菜価格安定対策事業（一般産地）

種 別	期 間	予約数量 (トン)	資金造成額 (千円)	交付金額 (千円)	交付率 (%)
かぼちゃ	6	2	144	11	7.7
	9-10	0	0	0	0.0
	3	3	414	70	17.0
	小 計	5	558	81	14.6
キャベツ	4-6	400	7,068	655	9.3
	11-12	400	5,368	0	0.0
	1-3	200	3,060	0	0.0
	小 計	1,000	15,496	655	4.2
きゅうり	7-9	90	5,926	0	0.0
	10-11	10	794	0	0.0
	小 計	100	6,719	0	0.0
さといも	6	15	1,882	0	0.0
	7	57	5,074	0	0.0
	8	114	6,705	0	0.0
	小 計	186	13,662	0	0.0
ズッキーニ	4-5	70	6,840	0	0.0
	11-12	70	7,655	0	0.0
	1-3	65	7,228	0	0.0
	小 計	205	21,723	0	0.0
にがうり	6-7	6	540	0	0.0
	8-9	11	762	0	0.0
	小 計	17	1,302	0	0.0
にら	5-6	19	1,461	0	0.0
	7-10	37	4,814	94	1.9
	11-12	114	19,573	0	0.0
	3-4	77	8,221	0	0.0
	小 計	247	34,069	94	0.3
しろねぎ	10-12	2	159	0	0.0
	1-3	26	1,595	0	0.0
	小 計	28	1,754	0	0.0
ピーマン	6-7	146	10,429	195	1.9
	8-10	111	12,294	0	0.0
	小 計	256	22,724	195	0.9
ミニトマト	5-6	8	659	0	0.0
	10-11	29	4,707	0	0.0
	12-2	18	2,202	0	0.0
	3-4	12	1,527	85	5.6
	小 計	67	9,096	85	0.9
アールスメロン	4	7	1,224	0	0.0
	5	34	4,274	0	0.0
	6-7	15	1,453	0	0.0
	小 計	56	6,951	0	0.0
ばれいしょ	4-6	20	390	0	0.0
	小 計	20	390	0	0.0
合 計		2,187	134,444	1,110	0.8

(ii) みやざき特産野菜価格安定対策事業(中山間)

種 別	期 間	予約数量 (トン)	資金造成額 (千円)	交付金額 (千円)	交付率 (%)
オ ク ラ	7-9	80	12,986	0	0.0
	小 計	80	12,986	0	0.0
キ ャ ベ ツ	4-6	270	4,771	0	0.0
	7-10	310	4,582	16	0.3
	11-12	380	5,100	0	0.0
	1-3	15	230	0	0.0
	小 計	975	14,682	16	0.1
	キ ャ ベ ツ	小 計	975	14,682	16
き ゆ う り	7-9	9	593	0	0.0
	10-11	123	9,764	0	0.0
	小 計	132	10,356	0	0.0
ズ ッ キ ー ニ	4-5	10	977	0	0.0
	11-12	10	1,094	0	0.0
	1-3	8	890	0	0.0
	小 計	28	2,960	0	0.0
に が う り	6-7	11	990	0	0.0
	8-9	5	346	0	0.0
	小 計	16	1,336	0	0.0
に ら	5-6	3	231	12	5.1
	7-10	6	781	38	4.9
	11-2	32	5,494	33	0.6
	3-4	15	1,602	0	0.0
	小 計	56	8,107	83	1.0
し ろ ね ぎ	10-12	4	318	0	0.0
	1-3	11	675	0	0.0
	小 計	15	992	0	0.0
ミ ニ ト マ ト	7-9	110	18,019	353	2.0
	10-11	121	19,641	0	0.0
	小 計	231	37,660	353	0.9
ア ー ル ス メ ロ ン	4	12	2,099	0	0.0
	5	55	6,914	0	0.0
	6-7	22	2,131	0	0.0
	小 計	89	11,144	0	0.0
ば れ い し ょ	4-6	65	1,268	0	0.0
	小 計	65	1,268	0	0.0
合 計		1,687	101,491	452	0.4

(iii) 野菜産地経営安定強化支援事業

種 別	期 間	予約数量 (トン)	資金造成額 (千円)	交付金額 (千円)	交付率 (%)		
指定野菜	夏秋きゅうり	7-9	666	1,525	0	0.0	
		10-11	2,651	7,362	0	0.0	
		小計	3,317	8,887	0	0.0	
	冬春きゅうり	5-6	6,188	11,246	34	0.3	
		11/21-12	5,944	22,811	0	0.0	
		1-2	7,936	26,702	0	0.0	
		3-4	7,628	17,784	10	0.1	
	小計	27,696	78,544	44	0.1		
	夏秋ピーマン	5/16-7	195	511	0	0.0	
		8-10	74	211	0	0.0	
		小計	269	723	0	0.0	
	冬春ピーマン	4-5	3,039	9,055	0	0.0	
		6-6/15	387	1,074	0	0.0	
		10/21-12	2,587	9,484	0	0.0	
		1-3	3,891	20,738	115	0.6	
	小計	9,904	40,352	115	0.3		
	冬春トマト	5-6	102	215	0	0.0	
		11/21-12	56	175	0	0.0	
		1-2	205	605	0	0.0	
3-4		225	678	0	0.0		
小計	588	1,673	0	0.0			
冬春ミニトマト	5-6	957	3,639	0	0.0		
	11/21-12	670	3,461	0	0.0		
	1-2	822	4,440	0	0.0		
	3-4	1,040	5,424	1,117	20.6		
小計	3,489	16,965	1,117	6.6			
冬春なす	5-6	733	1,971	0	0.0		
	3-4	50	159	0	0.0		
	小計	783	2,130	0	0.0		
特定野菜	にら	5-6	185	306	0	0.0	
		7-10	200	586	0	0.0	
		11-12	245	1,030	0	0.0	
		1-2	239	1,097	0	0.0	
		3-4	317	829	0	0.0	
	小計	1,186	3,848	0	0.0		
	スイートコーン	6-7	220	281	0	0.0	
		小計	220	281	0	0.0	
	冬春きゅうり	5-6	185	340	62	18.4	
		11/21-12	200	766	0	0.0	
		1-2	205	692	0	0.0	
		3-4	230	540	0	0.0	
	小計	820	2,337	62	2.7		
	にがうり	6-9	800	1,565	0	0.0	
		小計	800	1,565	0	0.0	
	県単事業	きゅうり(一般)	7-9	90	370	0	0.0
			10-11	10	50	0	0.0
			小計	100	420	0	0.0
		きゅうり(中山間)	7-9	9	37	0	0.0
10-11			3	15	0	0.0	
小計			12	52	0	0.0	
さといも(一般)		6	15	118	0	0.0	
		7	30	167	0	0.0	
		小計	45	285	0	0.0	
にがうり(一般)		6-7	6	34	0	0.0	
		8-9	11	48	0	0.0	
		小計	17	81	0	0.0	
にがうり(中山間)		6-7	11	62	0	0.0	
		8-9	5	22	0	0.0	
		小計	16	84	0	0.0	
にら(一般)		5-6	17	82	0	0.0	
		7-10	33	268	12	4.4	
		11-12	96	1,030	0	0.0	
		3-4	51	340	0	0.0	
小計	197	1,721	12	0.7			
ピーマン(一般)	6-7	123	551	23	4.2		
	8-10	96	668	0	0.0		
	小計	219	1,219	23	1.9		
ミニトマト(一般)	5-6	8	41	0	0.0		
	10-11	29	294	0	0.0		
	12-2	18	138	0	0.0		
	3-4	12	95	11	11.1		
小計	67	569	11	1.9			
ミニトマト(中山間)	7-9	110	1,126	44	3.9		
	10-11	121	1,228	0	0.0		
	小計	231	2,354	44	1.9		
合 計		49,976	164,088	1,428	0.9		

V 宮崎県園芸の沿革

1 野菜

年次	沿 革
明治 28	・宮崎市上野町 今岡氏による傾斜地利用のきゅうり栽培(20 アール)
〃 36	・宮崎郡住吉村 長谷川弥七氏によって、大根切干が生産され市販された
〃 40	・宮崎市大工町において、木框、油障子利用の早出し栽培が行われ、苗も市販された ・かぼちゃ大縮緬栽培される
大正 7	・かぼちゃ大縮緬種は岡山新泊に代わった ・吉都線開通により宮崎周辺より北九州に出荷を試みる
〃 10	・宮崎市大工町において木框、油障子利用のかぼちゃ半促成栽培が普及される
〃 12	・日豊線開通と共に港湾の改修も進み、早熟かぼちゃ、きゅうり、トマト、えんどう、すいかの早出しが普及される
〃 13	・千葉県から黒皮種のかぼちゃを導入
昭和 2	・後藤勇吉による飛行機輸送と宣伝ビラの散布、ラジオでの黒皮かぼちゃの大宣伝、試食会、農会駐在員の設置等により大阪市場に進出
〃 3	・園芸技術員の設置、農業試験場園芸部設置(原種ほ) ・大阪において取引協議会開催
〃 6	・大阪に県直売あつ旋所設置
〃 9	・東京に県直売あつ旋所設置
〃 11	・県営検査実施 ・かぼちゃ(日向14号)、きゅうり(日向12号)命名 ・県庁に販売あつ旋本部を設置 ・門司、大連に出張所を設置
〃 12	・日中戦争、中国東北部(満州)進出、大連、奉天、新京において展示即売会開催
〃 13	・京城に出張所設置
〃 14	・県農業会において共同販売、共同計算制を実施(県下二区制)
〃 15	・青果物配給統制、共同計算県下一区制に改正
〃 16	・太平洋戦争
〃 20	・終戦
〃 24	・青果物統制撤廃、園芸販売協議会設置、デラ台風(6月)
〃 25	・冷床育苗の普及並びに両屋根フレーム半促成栽培の普及
〃 27	・病害による減収

年次	沿革			
昭和28	<ul style="list-style-type: none"> ・台風2号及び病害による減収 ・育苗並びに定植床にビニール普及 ・かんしょ高系14号を「ことぶき」と命名し早堀かんしょの基幹品種として普及 			
" 30	<ul style="list-style-type: none"> ・かぼちゃ育成6号を普及 ・ホロ式ビニールフレーム普及 ・秋ばれいしょ（農林1号）を防災営農作物として普及 			
" 31	<ul style="list-style-type: none"> ・かぼちゃ準半促成栽培による出荷時期の繰上げ ・早熟栽培に薄物ビニール使用 ・ばれいしょ採種協議会を発足し、計画的生産拡大を推進（原種ほ、採種ほの設置） 			
" 33	<ul style="list-style-type: none"> ・二重トンネル栽培の普及 			
" 35	<ul style="list-style-type: none"> ・きゅうり大型ビニールハウスの普及 ・防災営農計画始まる 			
" 37	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪あつ旋所・名古屋分室設置 ・宮崎県青果物共済基金協会による価格安定事業の開始 （かぼちゃ、きゅうり、トマト、かんしょ、さといも） ・小林市環野でいちごの山上げ育苗を行い青島で試作 ・石川早生さといも採種ほ設置 ・特産野菜振興対策要綱策定 <p style="text-align: center;"> } かぼちゃ、きゅうり、トマト、すいか、早堀かんしょ、さといも、秋ばれいしょ の7品目を中心に県外出荷額50億円を目標に生産拡大を計画 </p>			
" 38	<ul style="list-style-type: none"> ・かぼちゃ 宮崎早生1号を普及 ・きゅうり 日向緑1号、日向秋緑1号を普及 ・特産野菜増産3カ年計画に入る <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> <ul style="list-style-type: none"> かぼちゃ 育成6号 宮崎早生1号 きゅうり 日向緑1号 日向秋緑1号 ばれいしょ 農林1号 たちばな </td> <td style="width: 5%; border: none; text-align: center; vertical-align: middle;"> } </td> <td style="width: 45%; border: none; vertical-align: middle;">を推奨品種に編入</td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> かぼちゃ 育成6号 宮崎早生1号 きゅうり 日向緑1号 日向秋緑1号 ばれいしょ 農林1号 たちばな 	}	を推奨品種に編入
<ul style="list-style-type: none"> かぼちゃ 育成6号 宮崎早生1号 きゅうり 日向緑1号 日向秋緑1号 ばれいしょ 農林1号 たちばな 	}	を推奨品種に編入		
" 39	<ul style="list-style-type: none"> ・台風20号(S39.9.24) ・鉄骨ビニールハウスの奨励 ・南九州防災営農事業で日南市に鉄骨ハウスによる協業経営が始まる ・宮崎県野菜採種協議会発足 ・西都市「さきがけ会」がハウスピーマンを栽培 			
" 40	<ul style="list-style-type: none"> ・自動灌水施設、加温施設の奨励 ・第2次防災営農計画に入り、県外出荷額100億円を目標に特産野菜品目(12品目)の拡大計画を樹立 ・特産野菜推進協議会発足 ・財団法人宮崎県青果物価格安定基金協会による価格安定事業の開始（かぼちゃ、きゅうり、トマト、さといも、かんしょ、ばれいしょ） ・宮崎県さといも採種協議会発足 ・露地メロン「プリンスメロン」の普及を図る ・いちご「はるのか」を普及 			
" 41	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜生産出荷安定法施行される ・野菜産地指定をうける <ul style="list-style-type: none"> きゅうり……宮崎市、佐土原町、国富町、綾町、西都市、新富町、日南市 トマト ……宮崎市、新富町、高鍋町 ・海上輸送テスト実施（5月・6月）コールド・チェーン実施（科学技術庁） 			

年次	沿 革
昭和42	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄骨ハウス「クミアイ標準型」の設定 ・総合農業試験場佐土原町に移転完了 ・宮崎県野菜栽培指針初版発行
// 43	<ul style="list-style-type: none"> ・早堀いも類のマルチング栽培の普及 ・ピーマンの促成栽培の普及奨励 ・すいか「ゆうがお台木」にきゅうり緑斑モザイクウイルス発生 ・ハウスきゅうりに久留米落合H型を普及 ・洋種かぼちやの早熟栽培を普及（東京芳香青皮）
// 44	<ul style="list-style-type: none"> ・畑作経営総合改善濃密指導地設置事業の実施……都城市、西都市 ・施設園芸技術研修施設設置事業の実施……宮崎県総合農業試験場
// 45	<ul style="list-style-type: none"> ・かぼちや抑制黒皮品種の奨励 ・ハウスきゅうり接木栽培の普及（かぼちや台木、呼接ぎ） ・畑作経営総合改善濃密指導地設置事業の実施……都城市、西都市、綾町 ・施設園芸技術研修施設設置事業の実施……宮崎県総合農業試験場 ・野菜産地指定を受ける <ul style="list-style-type: none"> ピーマン……宮崎市、西都市 きゅうり……都農町、川南町、高鍋町、木城町、新富町、串間市 ・大型畑作主産地形成事業を実施……国富町
// 46	<ul style="list-style-type: none"> ・青果物自主検査の実施 ・青果物県営検査の廃止 ・野菜産地指定の指定 <ul style="list-style-type: none"> さといも……小林市、えびの市、高原町、野尻町、都城市、三股町、山之口町、高城町、山田町、高崎町 ・新農業振興10カ年計画の策定 ・カーフェリーによる海上輸送の実施 細島～川崎
// 47	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜ストックポイント事業実施……川崎市 ・ピーマン共計開始 ・(財)宮崎県青果物価格安定基金協会の名称を(財)宮崎県青果物価格安定資金協会へ改称し、制度改正を実施
// 48	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜産地指定の指定 冬春ピーマン……国富町、新富町(S48.12.20) ・ピーマンのコンピュータスケール機能付袋詰機械の導入 ・野菜ストックポイント事業完成……川崎市 ・野菜生産出荷安定資金協会による価格安定事業へ加入（春きゅうり、春トマト、冬春ピーマン、秋冬さといも） ・第1次オイルショック ・かんしょ「ことぶき1号」県奨励品種となる
// 49	<ul style="list-style-type: none"> ・施設野菜合理化推進モデル事業で門川町にガラス温室団地設置 ・コサックメロンの導入 ・ハウス抑制きゅうりに白いぼ品種を導入（王金越冬） ・すいか「ゆうがお台木」にゆうがおつる割病発生
// 50	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜指定産地の指定 冬春ピーマン……南郷町 ・施設野菜合理化推進モデル事業で宮崎市木花にガラス団地設置 ・特産野菜推進協議会を宮崎県野菜振興協議会に改組、事務局を経済連におく ・エリザベスメロンの導入 ・きゅうりの斑点細菌病多発 ・洋種かぼちやの早熟栽培に「甘糖」を導入

年次	沿 革
昭和51	<ul style="list-style-type: none"> ・青果物自主検査の廃止 ・青果物農協自主検査の実施 ・野菜指定産地の指定 <ul style="list-style-type: none"> 冬春トマト ……都 農 S51. 6.15 冬春ピーマン ……西諸県東部 S51.12.15 秋冬さといも ……五ヶ瀬 S51.12.15 ・特定野菜等価格安定事業開始（かんしょ） ・しらゆきメロンの導入 ・新農業振興10カ年計画（後期計画）策定 ・ハウス抑制、後作で白いぼきゅうりの普及推進 ・促成栽培で白いぼきゅうり試作
// 5	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜指定産地の指定 <ul style="list-style-type: none"> 夏秋きゅうり ……日南 S52. 6.14 夏秋きゅうり ……西都 S52. 6.14 冬春きゅうり ……日向 S52. 12.15 ・ハウス及び露地栽培で白いぼきゅうりの普及 ・「県園芸用廃プラスチック適正処理対策推進協議会」を設立 ・宮崎市中央卸売市場青果部開場
// 53	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜指定産地の指定 <ul style="list-style-type: none"> 夏秋きゅうり ……高千穂 S53.12.18 ・転作野菜価格安定事業開始 <ul style="list-style-type: none"> 延岡産地 ・洋種かぼちゃを「えびす」に統一し、黒皮かぼちゃの露地抑制栽培の基幹品種として普及 ・施設栽培トマトに弱毒ウイルスの利用（集団試験） ・ピーマンにスリップス（ミナミキイロアザミウマ）の被害発生 ・ピーマン生産量が高知を抜いて日本一 ・「県農業用廃プラスチック適正処理対策推進協議会」に名称変更 ・第2次オイルショックによる石油価格の高騰
// 54	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜指定産地の指定 <ul style="list-style-type: none"> 秋冬だいこん ……宮崎東諸県 S55.2.8 夏秋キャベツ ……小林 S55.2.8 ・ピーマン共計廃止 ・野菜連作障害防止対策指針樹立 ・ハウスの太陽熱消毒の推進 ・2層カーテンの普及 ・施設野菜省エネルギーモデル団地設置事業 ……野尻町 ・にがうりを「宮崎レイシ」として推進 ・宮崎の野菜生産額500億円突破 ・野菜優良種苗確保対策事業 ……ウイルスフリー苗生産施設（県総合農試）
// 55	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜特殊病虫害緊急防除特別事業 ……ピーマン等のスリップス対策の実施 ・重要野菜需給調整特別事業（国）発足 ・宮崎県施設野菜省エネルギー対策推進大会開催 ・黒皮かぼちゃ新品種誕生 <ul style="list-style-type: none"> 施設用品種：宮崎早生2号 露地用品種：宮崎抑制2号 ・いちご「麗紅」導入、紅系かんしょの導入（土佐紅） ・「アムスメロン」導入 ・水田ゴボウの推進 ・スナックエンドウ集団試作 ・ニラ促成栽培の推進

年次	沿革
昭和56	<ul style="list-style-type: none"> ・施設野菜省エネルギーモデル団地設置事業……宮崎市江田 ・野菜優良種苗生産安定対策事業でウイルスフリーさといもの増殖用網室の設置（えびの市、小林市、川南町） ・省エネルギー対策としてアルミ蒸着フィルムのベタがけの推進 ・夏みょうがの試作 ・スイートコーンのミニハウス・トンネル栽培推進（ハニーバンタム 36） ・ししとう（夏秋）栽培推進 ・ピーマンウイルス病 TMV-P 系の被害発生 ・第3次農業振興長期計画の策定
" 57	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜優良種苗生産安定対策事業でウイルスフリーさといもの増殖網室の設置……高崎町、川南町 ・特産野菜の新品種を県総合農試で育成 オクラ……宮崎五角、ニガウリ……宮崎緑 ・野菜指定産地の指定 夏だいこん……高千穂産地（高千穂町） S58.1.26 指定 ・ニガウリ早出し品種として「宮崎緑」を推進 ・きゅうりの作型による区分販売を実施、抑制型を「サングリーン」、越冬型を「新緑」 ・石川早生ウイルスフリー原々種配布開始 ・宮崎県食用かんしょ採種協議会発足
" 58	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜指定産地の指定 夏秋きゅうり……北諸県産地（都城市、高崎町） S58.1.20 指定 ・野菜、花きの採種事業を統一するため、従来の宮崎県さといも、食用かんしょ、野菜採種協議会の3協議会を発展的に解散し、「宮崎県野菜花き採種協議会」として発足 ・茎頂培養かんしょ（ことぶき）の原々種配布開始 ・グリーンアスパラガスの推進 ・サニーレタス、ズッキーニ集団試作 ・ピーマン斑点病の発生 ・春大根で大根萎黄病の発生（田野町） ・加工大根横縞症対策の推進
" 59	<ul style="list-style-type: none"> ・新品目・新作物野菜推進のための産地、消費地ゼミナールの開催 ・中性種のさといもの導入（愛知早生系、西諸県地域） ・いちごポット育苗の推進 ・そらまめ（春作）の推進
" 60	<ul style="list-style-type: none"> ・東京市場青果物取扱 100 億円突破 ・円高が急速に進む（S60.9：210～240 円、S60.12：202～203 円、S61.3：176～180 円） ・食用かんしょ「ベニアズマ」の導入（北諸県地域） ・ミニトマトの栽培始まる ・県内で初めて差圧式予冷庫を設置（日南、小林）
" 61	<ul style="list-style-type: none"> ・円高と重油価格の値下がり ・紅ことぶき（ことぶき1号の茎頂培養によるウイルスフリー）の出荷開始 ・いちご「とよのか」「女峰」導入 ・いちごウイルスフリー苗（麗紅）原種苗の供給開始 ・ピーマン TMV-P 系の弱毒ウイルス接種による防除展示ほ設置 ・きゅうり雨除け栽培の推進

年次	沿革
昭和62	<ul style="list-style-type: none"> ・青果物総合情報システム（フェニックス）の運用開始（経済連61年度事業） ・立体園芸の推進……立体園芸振興対策事業 ・宮崎県バイオテクノロジー種苗増殖センター設置 ・宮崎県野菜花き採種協議会 解散(S63.3.30) ・スイートコーンバイカラー系品種の導入 ・丸系トマト「ハウス桃太郎」試作 ・フライト野菜の検討 農産物フライト輸送定着化促進事業によるテスト輸送及び展示ほ設置 ・きゅうりブルームレス台木の試作 ・円高がさらに進み、重油価格も値下がりする (S62.5 40～41円/ℓ、S62.9 35円/ℓ) ・野菜指定産地の解除 秋冬だいこん……宮崎東諸県産地 昭62.9.28
// 63	<ul style="list-style-type: none"> ・(社)宮崎県バイオテクノロジー種苗増殖センター運営開始 (S63.4.26 開所式) ・スイートコーン立枯症状の発生(S63.3) ・野菜指定産地の指定 春夏にんじん……尾鈴産地 S63.8.25 ・野菜指定産地の解除 夏秋キャベツ……小林産地 S63.8.25 ・赤肉系メロンの試作（児湯：バーディレッド、西諸：ティファニー） ・ピーマン TMV-P 系の弱毒ウイルスの利用による防除の集団実証ほ(28ha)
平成元年	<ul style="list-style-type: none"> ・きゅうりつる下げ栽培試作（綾町） ・さといも（石川系）優良系統の試作（川南町、田野町、小林市） ・野菜指定産地の指定 夏秋ピーマン……西諸県産地（小林市、えびの市、野尻町、高原町） 平成元年8月25日 ・ピーマン共計開始 平成元年10月 ・促成ピーマン共計委員会の発足 ・施設野菜大規模経営農家の育成
// 2	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜指定産地の指定 夏秋きゅうり……東諸県産地（高岡町、国富町、綾町） 平成2年8月27日 ・フライト農業産地の育成 フライト農業産地育成対策事業 ・きゅうりつる下げ栽培の普及 36.3ha(194戸) ・かぼちゃ、ミニトマトにタバココナジラミ発生 ・台風19号,20号,21号連続襲来による被害の発生
// 3	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜指定産地の指定 冬春きゅうり……北諸県産地（都城市、三股町、山之口町、高城町、高崎町） ・標高差を利用した産地の育成……新立体園芸振興対策事業 ・セル成型苗の普及 ピーマン、アールスメロン、トマト、ミニトマト他 計約32ha ・台風及び日照不足等異常気象による被害の発生 ・野菜粗生額が912億円 ・にがうり「宮崎こいみどり」の育成 ・機構改革により農蚕園芸課に野菜係設置

年次	沿革																
平成 4	<ul style="list-style-type: none"> 野菜指定産地の指定 <ul style="list-style-type: none"> 夏秋ピーマン……北諸県産地（都城市、三股町、山之口町、高城町、山田町、高崎町） 夏秋トマト ……高千穂産地（高千穂町） 露地抑制きゅうりにウイルスによる萎凋症が発生 6月以降の野菜価格の低迷 																
〃 5	<ul style="list-style-type: none"> 野菜指定産地の区域拡大 <ul style="list-style-type: none"> 冬春きゅうり……北諸県産地（都城市、三股町、山之口町、高城町、高崎町、山田町編入） 冬春トマト ……児湯産地（川南町、都農町に木城町を編入、産地名を児湯西部から児湯に変更） 西都、児湯地区の種苗供給センターとしてジェイエイ・アグリシードが開設 相次ぐ長雨・台風による被害の発生 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">野菜作物被害額</td> <td rowspan="4" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td>長雨（6/12～7/2）</td> <td>70 百万円</td> </tr> <tr> <td>台風5号（7/26～27）</td> <td>18 百万円</td> </tr> <tr> <td>台風6号（7/29～30）</td> <td>15 百万円</td> </tr> <tr> <td>大雨（7/31～8/2）</td> <td>61 百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">園芸施設被害額</td> <td rowspan="2" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td>台風13号（9/2～4）</td> <td>3,547 百万円</td> </tr> <tr> <td>台風13号（9/2～4）</td> <td>2,013 百万円</td> </tr> </table> 	野菜作物被害額	}	長雨（6/12～7/2）	70 百万円	台風5号（7/26～27）	18 百万円	台風6号（7/29～30）	15 百万円	大雨（7/31～8/2）	61 百万円	園芸施設被害額	}	台風13号（9/2～4）	3,547 百万円	台風13号（9/2～4）	2,013 百万円
野菜作物被害額	}			長雨（6/12～7/2）	70 百万円												
				台風5号（7/26～27）	18 百万円												
				台風6号（7/29～30）	15 百万円												
		大雨（7/31～8/2）	61 百万円														
園芸施設被害額	}	台風13号（9/2～4）	3,547 百万円														
		台風13号（9/2～4）	2,013 百万円														
〃 6	<ul style="list-style-type: none"> 野菜指定産地の指定 冬春なす……南宮崎産地（清武町） 野菜指定産地の解除 夏秋だいこん……高千穂産地（高千穂町） 園芸振興協議会の設立 野菜振興協議会、花き振興協議会、果樹振興協議会の統合 高温・早魃による被害の発生 国産生産量の低下による生鮮野菜の輸入の増大 																
〃 7	<ul style="list-style-type: none"> 野菜指定産地の指定 <ul style="list-style-type: none"> 冬春トマト……日向産地（日向市、門川町、東郷町、北郷町、南郷村、西郷村） 野菜指定産地の区域拡大 <ul style="list-style-type: none"> 冬春きゅうり……日向産地（東郷町の編入） 夏秋トマト……高千穂産地（日之影町、五ヶ瀬町の編入） 農業用廃プラ対策の運搬・処理経費負担の見直し（平成7年2月） <ul style="list-style-type: none"> 農業用ビニルについて販売店段階での運搬・処理経費に対する農家負担金徴収 園芸作物ブランド産地指定制度の創設 <ul style="list-style-type: none"> ピーマン、にら、かんしょ、ミニトマト、きゅうりを指定 																
〃 8	<ul style="list-style-type: none"> 腸管出血性大腸菌「O-157」の発生による野菜の消費拡大PRの実施 JAS法に基づく青果物の原産地表示の実施 <ul style="list-style-type: none"> ブロッコリー、さといも、にんにく、根しょうが、生しいたけ（5品目） 																
〃 9	<ul style="list-style-type: none"> 野菜指定産地の拡大 <ul style="list-style-type: none"> 冬春きゅうり……串間産地（日南市、北郷町の編入） 夏秋きゅうり……北諸県産地（三股町、山之口町、山田町の編入） 標高差を利用した産地の育成 <ul style="list-style-type: none"> 立体園芸産地確立強化事業 高度畑作園芸産地育成対策事業 価格低迷時の価格差補給交付による農家の経営安定と安定供給の確保 <ul style="list-style-type: none"> みやざき特産野菜価格安定対策事業 岩手県とのピーマンリレー出荷開始 																

年次	沿革
平成10	<ul style="list-style-type: none"> ・青果物の原産地表示品目の追加（平成10年4月から） ごぼう、アスパラガス、さやえんどう、たまねぎ（合計9品目） ・高温・小雨による被害の発生（8月上旬～中旬）野菜被害額 459百万円 ・ブランド産地指定制度品目の追加 黒皮かぼちゃ、トマト、なす、水田ごぼう ・野菜指定産地の区域拡大（H10.5.20） 夏秋きゅうり、冬春きゅうり……宮崎産地（高岡町、国富町、綾町の統合及び田野町の編入） 冬春トマト……………宮崎産地（高岡町、国富町の編入） 冬春ピーマン……………宮崎産地（国富町との統合） 冬春なす……………宮崎産地（宮崎市の編入及び産地名の変更） ・野菜指定産地の解除（H10.5.10） 夏秋きゅうり、冬春きゅうり……東諸県産地（宮崎産地との統合） 冬春ピーマン……………国富産地（宮崎産地との統合） ・JA宮崎経済連有機農産物等認証制度発足(12月) ・広域集配送センター運用開始（10月） ・にがうり紡錘形タイプを「パワフルレイシ」として販売 ・パプリカの試作 ・改良陽熱消毒法の普及
" 11	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜指定産地の区域拡大 冬春きゅうり……………日向（南郷村、北郷村の編入） 冬春ピーマン……………宮崎産地（清武町の編入） ・野菜指定産地の解除 夏秋きゅうり……………日南産地（日南市、北郷村、南郷町） ・園芸作物ブランド産地総合対策事業開始 ・新フェニックスシステムの運用開始 ・ピーマン「ひむかみどり1号」の育成 ・促成ピーマン共計10周年記念大会の開催 ・泉南中野早生今村系統の増殖開始 ・いちご高設栽培の検討 ・残留農薬分析体制の整備（経済連、西都市） 塩化ビニルに加え、ポリフィルム等に対する運搬費助成 マニフェスト制度に対応した農家負担金の排出時徴収 ・1～3月のピーマン、きゅうりの安値,11月～12月のピーマンの安値
" 12	<ul style="list-style-type: none"> ・1月～5月のピーマン等の安値 ・野菜価格安定対策の充実強化、一般セーフガード発動に向けた運動の盛り上がり ・セーフガード政府調査の開始（ネギ、生しいたけ、畳表） ・緊急野菜対策の実施（国） 農業生産総合対策事業の追加実施 野菜需給均衡特別推進事業の実施 ・10、11月の日照不足によるピーマン・きゅうり等の収量減少 ・韓国・中国の生産流通状況調査、低コスト耐候性ハウスの実証 ・野菜生産緊急支援資金の創設（ピーマン・トマト・きゅうり・さといも・ごぼう） ・宮崎県ブランド青果物生産者大会の開催 ・改正JAS法の施行・卸売市場法の改正

年次	沿革
平成13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11月～12月ピーマン、きゅうり等野菜の安値 全国的に潤沢な販売、景気低迷、BSE等の影響 ・ 野菜の構造改革対策の実施（国） 輸入急増農産物対応特別対策の実施等 ・ セーフガード暫定措置の発動（H13.4.23～11.8） ねぎ、生しいたけ、畳表の3品目 関税割当数量を超える輸入量について現行関税率に追加する ※ねぎ（256%相当） ・ 野菜の総合対策の実施（県） 園芸みやざき産地強化緊急対策事業の実施 野菜価格安定対策特別事業の実施 ・ 新みやざきブランドの推進 第1次商品ブランド認証品目（野菜）： エコ野菜（きゅうり、にら、ピーマン、白菜、トマト、ミニトマト） 第2次商品ブランド認証品目（野菜）： ワンタッチきゅうり、フレッシュグリーンアスパラガス、新たまねぎ 黒皮かぼちゃ ・ 地産地消の盛り上がり ・ 総合農試で開発された紡錘形にがうりの品種名の決定 品種名：「佐土原3号」 ・ 野菜指定産地の区域拡大 冬春トマト・・・・・・・・・・宮崎産地（田野町の編入） ・ 野菜価格安定制度の価格差補給金が過去最高
// 14	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野菜の構造改革対策の実施（国） 産地改革計画の策定 野菜生産出荷安定法の一部改正(H14.6) 野菜価格安定制度の見直し、契約野菜安定供給事業の創設 ・ 新みやざきブランドの推進 商品ブランド認証品目(野菜)の追加：エコ野菜（ごぼう）、京いも、洋種かぼちゃ ・ にがうりの生産拡大 ・ 農業用廃プラスチックの新しい処理体制を導入 農業用廃プラリサイクル促進事業を実施し、デポジット制度を中心とする処理回収制度を開始 ・ 無登録農薬問題発生 ・ 施設園芸セミナー in 宮崎 10月に開催
// 15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野菜の構造改革対策の実施 本県46産地の産地改革計画の認定 輸入急増農産物対応特別対策事業等を活用し、低コスト耐候性ハウスを約9ha導入 ・ 新みやざきブランドの推進 商品ブランド認証品目（野菜）の追加：エコ野菜（にんじん、レタス、なす、オクラ） ・ にがうりさらに生産拡大 ・ 契約野菜安定供給事業の実施 有限会社新福青果が本県第1号の登録生産者となり事業を開始（数量確保タイプ） ・ 安藤知事トップセールス宣言、大田市場等で本県野菜をPR ・ いちご「さがほのか」県内利用権許諾契約締結（H15.12 バイテクセンター）

年次	沿 革
平成16	<ul style="list-style-type: none"> ・いちご「さがほのか」県内生産者へ親株供給開始（H16.5～） ・野菜の構造改革対策の実施 輸入急増農産物対応特別対策事業等を活用し、低コスト耐候性ハウスを約13ha導入 野菜構造改革促進特別対策事業（46事業）を活用し、県内14産地において産地の構造改革に向けた取組を実施 ・新みやざきブランドの推進 商品ブランド認証品目（野菜）の追加：みやざきフレッシュスイートコーン ・契約野菜安定供給事業の実施 JA尾鈴が冬春レタスで指定産地の指定を受け、契約野菜安定供給事業を開始（数量確保タイプ） ・にがうりが特定野菜等供給産地育成価格差補給事業の対象として拡大 宮崎、西諸県、児湯産地が対象産地 ・TYLCV対策として、46事業等を活用し、防虫ネットを約112ha導入 ・ピーマン黒枯病（仮称）が中部、南那珂、児湯地域で発生
" 17	<ul style="list-style-type: none"> ・災害復旧特別対策の実施（台風第14号） 野菜被害約19億円 中部・児湯地区を中心とした水害の発生 国庫補助事業でハウスを再整備する場合、通常上乗せ8%に加えて災害対策として4%を上乗せ（1.8ha） ・新みやざきブランドの推進 商品ブランド認証品目（野菜）の追加 みやざきエコかんしょ ・重油価格高騰対策の実施 強い農業づくり交付金（循環扇、4段サーモ、排熱回収装置等） エネルギー使用合理化事業者支援事業（加温機）
" 18	<ul style="list-style-type: none"> ・新みやざきブランドの推進 商品ブランド認証品目（野菜）の追加 みやざきフレッシュにら、みやざきフレッシュいちご ・「宮崎県総合農業試験場型低コスト耐候性ハウス」（低コスト耐候性ハウスより1割程度コスト低減）のプロトタイプが総合農試内ほ場に完成 ・「平成19年産施設園芸省エネルギー対策指針」及び「施設野菜の省エネルギー対策指針」を策定 ・宮崎県農業用新エネルギー検討に関する連絡会議 施設園芸プロジェクトを組織化し、 宮崎市内に都市ガスを利用した暖房機によるピーマン栽培の実証ほ（10a） 新富町内に木質ペレットを利用した暖房機によるきゅうり栽培の実証ほ（13a） を設置 ・重油高騰対策の実施 元気みやざき園芸産地確立事業（循環扇、4段サーモ、排熱回収装置等） 新たな省エネルギー設備の効果検証開始（総合農業試験場） 蓄熱材、電気式温風暖房機、被覆資材への塗布材他 ・「全国にら生産者宮崎大会」を開催（H19.2.20～21）
" 19	<ul style="list-style-type: none"> ・「宮崎県総合農業試験場型低コスト耐候性ハウス」（低コスト耐候性ハウスより1割程度コスト低減）の現地実証ハウスを都農町ほ場に設置 ・宮崎県農業用新エネルギー検討に関する連絡会議 施設園芸プロジェクトにより、 国富町内に改良型木質ペレット暖房機によるピーマン栽培の実証ほ（10a） 宮崎市内にヒートポンプを利用した暖房機によるマンゴー栽培の実証ほ（10a） を設置 ・18年産から問題となっていたウリ類黄化症の原因がタバココナジラミバイオタイプQが媒介するクロステロウイルスの一種であることが判明 （メロン退緑黄化病(仮)、キュウリ退緑黄化病(仮)） ・きゅうり黄化えそ病（MYSV）が都城市で発生（県内2例目） ・四季成りいちご「みやざきなつはるか」の種苗登録出願 ・ピーマン病害抵抗性台木「みやざき台木1号」、「みやざき台木2号」の種苗登録出願

年次	沿 革
平成19	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)日本園芸生産研究所主催による第10回園芸技術講演会を総合農業試験場にて開催(H19.11.28) ・農業用廃プラスチックのデポジット制度における重量券を金額券に変更 ・中国産冷凍ギョウザ事件発生(H20.1)以降、中国産野菜の輸入が減少傾向 ・新みやざきブランドの推進 商品ブランド認証品目(野菜)の追加:みやざき温室光センサーメロン ・指定産地解除 春夏にんじん(尾鈴)
" 20	<ul style="list-style-type: none"> ・「施設園芸新技術セミナー・機器資材展 in 宮崎」を清武町で開催(H20.6) 省エネ・高収益等を主題に、県内外からの参加が延べ1,400名を越える (過去最大規模:事務局) ・重油価格高騰:最高値122円/ℓを記録(H20.8) ・重油価格高騰を受け、内張2層カーテンを対象とした省エネ緊急対策を実施 ピーマン等にヒートポンプ導入される 木質ペレット加温機拡大実証試験の実施 畜糞ペレット加温機現地実証試験の実施 ・「宮崎型超低コスト耐候性ハウス」実証ハウスを総合農試内に設置 ・農業団体による所得確保対策の取組み(青果物燃料サーチャージ、量目変更130g/袋) ・宮崎県促成ピーマン委員会20周年 ・日本農業賞優秀賞受賞(宮崎県促成ピーマン共同計算委員会) ・にがうり「宮崎つやみどり」の種苗登録出願 ・きゅうり黄化えそ病(MYSV)が門川町で発生(県内3例目) ・新みやざきブランドの推進 商品ブランド認証品目(野菜)の追加:みやざきフレッシュキャベツ ・「みやざき温室光センサーメロン」の販売戦略上の愛称を、「めろめろメロン」とする ・廃プラのデポジットを電子化、廃プラ処理システム(新システム)稼働
" 21	<ul style="list-style-type: none"> ・県内最大級の総合選果場稼働開始(JA尾鈴、H19 繰越) ・夏いちご「みやざきなつはるか」振興プロジェクト設置(H21.9) ・「畑作地帯における加工・業務用野菜の生産振興方針」策定(H21.10) ・日本農業賞大賞受賞(西都市野菜振興会中型カラーピーマン専門部会) ・ピーマン病害抵抗性台木「みやざき台木3号」の種苗登録出願 ・花粉交配用ミツバチの不足が全国で問題となるも、県内ではほぼ充足 ・不可欠用途臭化メチル全廃を受けた、メロン産地対策に着手 ・きゅうり黄化えそ病(MYSV)が日南市南郷町で発生(県内4例目) ・農業用廃プラ適正処理の今後のあり方について検討、県協議会方針提示 ・6,7月の長雨及び日照不足で全国的な夏秋野菜の不足により価格高騰 野菜供給確保に向けた国の通知発出有り ・市町村合併により野菜指定産地関係市町村の名称変更 日南市、南那珂北郷町、南那珂南郷町→日南市(H21.5.8)
" 22	<ul style="list-style-type: none"> ・きゅうり黄化えそ病(MYSV)が県央部を中心に多発生 ・冷凍加工施設向け産地育成のための大規模実証ほの設置に着手 ・春先の低温・日照不足及び夏期の高湿等による全国的な野菜不足により価格高騰 ・株式会社都城くみあい食品が冷凍加工施設を増設(H22.10) ・県内産木質ペレットの実証試験開始 ・県内最大級の冷凍加工施設(JA宮崎県経済連)の設置に着手(H23.1) ・新燃岳噴火・降灰(1月26日~)により、露地野菜、施設野菜で広範囲に被害発生 ・日本農林水産祭(第49回)日本農林漁業振興会会長賞受賞 (西都市野菜振興会中型カラーピーマン専門部会) ・日本農業賞優秀賞受賞(JAはまゆうごぼう部会) ・農業用廃プラ適正処理の地域排出処理体制への移行に具体的に着手 ・指定産地解除 冬レタス(尾鈴)、夏秋きゅうり(児湯東部)、夏秋ピーマン(北諸県)

年次	沿革
平成23	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜価格安定対策事業制度改正（国） 造成額に対する負担率の軽減、資材高騰時加算の追加 契約取引のセーフティネット支援としてモデル事業創設 ・株式会社ジェイエイフーズみやざきが冷凍加工施設を設置（西都市）（H23.8） ・施設園芸プロジェクト 木質バイオマスワークショップ活動開始（H23.10） ・宮崎県夏秋いちご産地確立推進協議会発足（H23.10） ・JA 宮崎中央総合選果場設置（宮崎市田野町）（H23.12） ・商品ブランド認証品目（野菜）の追加：みやざき中型カラーピーマン（H23.12） ・メロン黄化えそ病（MYSV）が県央部に発生（県内初発）（H23.12） ・バイテクセンター施設を一部改修：優良種苗供給施設改修事業(きめ細やかな交付金)（H23.12） ・指定産地解除 秋冬さといも（五ヶ瀬） ・たばこ廃作に伴う品目転換支援に着手 ・農業用廃プラ適正処理の地域排出処理体制への移行
" 24	<ul style="list-style-type: none"> ・施設園芸バイオマス活用推進プロジェクト会議発足（H24.4） ・宮崎県園芸振興協議会解散、宮崎県営農振興協議会発足（H24.4） ・JR九州大規模施設園芸（促成ピーマン）に着手（H24.11） ・青果物価格安定資金協会、宮崎県バイオテクノロジー種苗増殖センター新公益法人制度へ移行認可（H25.1） ・商品ブランド認証品目（野菜）の追加：みやざき冷凍ほうれんそう（H25.3） ・燃油価格高騰緊急対策の取組（国H24 補正）
" 25	<ul style="list-style-type: none"> ・燃油価格高騰緊急対策の取組（継続） ・フードビジネスプロジェクト活動開始（H25.6） ・ピーマン共計 25 周年記念大会開催（H25.7） ・宮崎県施設園芸木質バイオマス利用促進協議会発足（H25.8） ・商品ブランド認証（野菜）の追加：みやざきビタミンピーマン（H25.10） ・野菜指定産地解除 冬春きゅうり（児湯地域：高鍋町、新富町、木城町） ・7, 8月の小雨・高温により、さといも等に被害発生 ・みやざき旬感「冷凍野菜」利用拡大プロジェクト（東京都、宮崎市）（H26.1） ・次世代施設園芸導入加速化支援事業(国H25 補正)の取組 （JA 宮崎中央・国富町向高地区） ・積雪によるハウス倒壊及び野菜等への被害発生（東臼杵、西臼杵）（H26.3）
" 26	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜価格安定対策事業制度改正（国）（面積要件の緩和） ・燃油価格高騰緊急対策の取組（継続） ・加工・業務用青果物広域連携推進協議会発足（H26.8） ・次世代施設園芸導入加速化支援事業の取組（H25 補正・H26 当初）（国富町） 起工式（H26.8） ハウス先行整備分1ha完成（H26.12） きゅうり定植（H27.1；先行整備分1ha） ・北諸、西諸地域を中心にさといもに疫病が発生し、品質低下 ・施設園芸新技術・機器資材展セミナーin 宮崎を開催（宮崎市）（H26.11） ・商品ブランド認証品目（野菜）の追加：みやざきビタミンゴーヤー（H27.3）
" 27	<ul style="list-style-type: none"> ・燃油価格高騰緊急対策の取組（継続） ・次世代施設園芸導入加速化支援事業の取組（H25 補正・H26 当初）（国富町） 竣工式（H27.7） ハウス面積4.1ha 育苗ハウス0.7ha 集出荷施設425㎡ ・商品ブランド認証品目（野菜）の追加：みやざきせんぎり大根（H27.11） ・北諸、西諸地域を中心にさといもに疫病が発生し、大幅収量減 「宮崎のさといも」新生プロジェクト会議発足（H27.12） ・指定産地区域変更 秋冬さといも(西諸県)：えびの市解除、産地名「西諸県等東部」に変更 ・いちご「08-5-4」を種苗登録出願（H28.3）

年 次	沿 革
平成 28	<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃油価格高騰緊急対策の取組（継続） ・ 野菜価格安定対策事業制度改正（国） 指定産地における共同出荷要件の特例措置（共販率 2/3→1/2）の指標の見直し（「共同出荷量概ね 2 千ト以上」から「露地野菜 50ha 以上」 など） ・ 産地パワーアップ事業（国庫 H27 補正、H28 補正）による施設整備 ・ 株式会社くしまアオイファームがかんしょ集出荷貯蔵施設の整備（串間市）（H29.1～） ・ 県内全域（県北を除く）のさともにも疫病が発生し、大幅収量減 ・ いちご「08-5-4」が種苗登録出願公表（H28.12）、品種名「こいはるか」 ・ ピーマン台木「試交 8 号」を種苗登録出願（H28.9）、種苗登録出願公表（H29.2）、品種名「みやざき台木 5 号」
" 29	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産地パワーアップ事業（国庫 H28 補正、H29 補正）による施設整備 JA 日向冬春ミニトマト専門部会において、施設と養液システム等を整備 ・ 強い農業づくり交付金（国庫 H29 当初）による施設整備 串間市大束農業協同組合がかんしょ集出荷貯蔵施設の整備開始（串間市） ・ 「サトイモ疫病対策マニュアル」に基づいた疫病対策を関係機関と一体となって支援 ・ ピーマン栄養機能性表示販売開始（H29.12～） ・ 燃油価格の高騰により、共計ピーマンにおいて青果物燃料価格変動調整金を発動し、契約単価に調整金を上乗せ（H30.2.15 より開始） ・ 燃油価格高騰緊急対策の取組（継続） ・ 廃プラのデポジットを返還開始（H30.3～）
" 30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産地パワーアップ事業（国庫 H29 補正、H30 補正）による施設整備 ・ 強い農業づくり交付金（国庫 H30 当初）による施設整備 ・ 株式会社ジェイエイフーズみやざきの冷凍ほうれんそうが、冷凍野菜として全国初の機能性表示食品、宮崎県初の機能性表示食品（H30.5） ・ 串間市「ヤマダイかんしょ」が地理的表示保護制度（GI）に県内野菜初の登録（H30.8） ・ 南那珂、北諸県地域を中心にかんしょの茎・根が腐敗する症状が発生（H30.8～）、原因の 1 つとして、「サツマイモ基腐病（仮称）」であることが判明（H31.1） ・ 台風によるハウス及び野菜等への被害発生（H30.9～10） ・ カラーピーマン「P プロ 1 5 - 6 3 5」「P プロ 1 5 - 6 5」を種苗登録出願（H31.3） ・ 燃油価格高騰緊急対策の取組（継続）
令和 元	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産地パワーアップ事業（国庫 H30 補正、H31 補正）による施設整備 ・ 強い農業づくり交付金（国庫 H31 当初）による施設整備 ・ JR九州ファーム新富においてハウスを増設し、3.65ha に規模拡大 ・ JA 宮崎経済連、総合農業試験場内に高軒高ハウスを整備（23a）し、環境制御技術を活用し養液栽培できゅうり、ピーマンの栽培開始（R2.3） ・ いら栄養機能性表示販売開始（R 元.12～） ・ 次世代施設園芸宮崎拠点が、ひなた GAP 認証取得（R2.2） ・ 南那珂地域を中心に「サツマイモ基腐病」が発生、大幅収量減 新たに県内 3 地域で発生確認、残さ処理を含む対策を関係機関と一体となって支援 ・ 露地野菜において、県内 2 地域（北諸県、児湯）で、スマート農業の実証開始
" 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産地パワーアップ事業（国庫 R1 補正、R2 補正）による施設整備 ・ 新型コロナウイルス対策 国産農畜産物供給力強靱化対策事業（国庫 R2 補正）による施設整備 みやざきの農産物供給力強靱化緊急対策事業（県単 R2 補正）による耕種農家の次期作支援 ・ JA 宮崎経済連、総合農業試験場内に施設園芸ハウスにおいて、環境制御技術を活用した養液栽培できゅうり、ピーマンの本格栽培開始 ・ 大規模露地野菜生産者の現状分析と改善提案作業を行い、耕種版インテグレーションモデルの確立を促進 ・ 南那珂地域を中心に「サツマイモ基腐病」が発生が拡大 残さ処理を含む対策を関係機関と一体となって支援

年次	沿革
令和 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機構改革により野菜担当を廃止し、農産園芸課に施設園芸担当・露地園芸担当を設置 ・ 宮崎県農業用廃プラスチック適正処理推進協議会を農業普及技術課へ所管替え ・ 産地生産基盤パワーアップ事業（国庫 R2 補正、R3 補正）による施設整備 ・ ハウスメーカー、JA 宮崎経済連、建築士等との協同で完成した新規規格ビニールハウス（仮称：50 角ハウス）を県内各地へ周知 ・ ピーマン病害抵抗性台木「台ひなた」の種苗登録出願 ・ ピーマン台木の普及方針を策定 ・ 新奇害虫「トマトキバガ」のミニトマトへの発生を県内で初確認 ・ いちご「さがほのか」が一般品種になり、佐賀県からの種苗提供停止を受け、総合農試及びバイテクセンターの連携による苗供給体制を再構築 ・ コロナ禍の影響により物流が停滞し、燃油価格が高騰（109.5 円/ℓ・R3.11） 肥料・資材が品薄傾向になり、価格も上昇 ・ 国が「みどりの食料システム戦略」を策定。
" 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設園芸のデジタル化に向けた取組を開始 ・ みやざきの優良種苗供給体制構築事業の創設 ・ さといもの種芋生産の現状分析と改善提案を実施 ・ 燃油価格高騰対策として「みやざき施設園芸省エネ転換緊急対策事業」を実施 ・ ピーマン病害抵抗性台木「台ひなた」の普及開始 ・ 台風 14 号により施設の冠水被害や定植苗の植え替えなどの被害が発生 ・ 果実協会と青果物資金協会の合併に向けた最終合意 ・ 令和 3 年産に多発したハウレンソウべと病の対策検討会を実施 ・ 寒波等によりハウレンソウ（露地）の黄化被害が広範囲で発生
" 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設園芸のデジタル化に向けた「データ共有基盤」の運用開始 ・ 脱炭素の実現に向けた「未来へ繋ぐ施設園芸スタイルシフト推進事業」の実施 ・ 農作業分業化の推進に向けた「加工・業務用野菜日本一産地確立事業」の実施 ・ 品目別振興方針の策定（いちご、だいこん、ほうれんそう、マンゴー） ・ 物価高対策として「施設園芸ハウス長寿命化緊急支援事業」の実施 ・ 果実協会と青果物資金協会の合併により青果物協会が発足 ・ 令和 4 年産に多発したほうれんそう黄化被害の対策検討会を実施
" 6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野菜加工業者と生産者をつなぐマッチング会の開催 （コーディネートできる人材の育成研修会の実施） ・ 施設園芸のデジタル化推進プロジェクト（D プロ）の取組を強化するため連携協定を締結 ・ いちご新品種開発プロジェクトを開始 ・ 周年栽培のに向けた循環式簡易養液栽培システムの試験を開始
" 7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「みやざきデータ駆動型農業推進大会」を開催 ・ AP 2 号改良型に代わる低コストハウス「TPハウス」を開発 ・ 物価高騰対策として「施設園芸物価高騰救急対策事業」を実施 ・ 施設園芸の団地化推進に向けた「施設園芸団地推進プロジェクト会議」を設置 ・ 営農振興協議会において気候変動対策（暑熱対策）を重点課題として取組を実施

2 果樹

年次	沿革
文政年間	<ul style="list-style-type: none"> ・日向夏発見（偶発実生） ・宮崎郡赤江村字曾井(現宮崎市)、真方安太郎宅の藪の中から発見 ・原木は枯死し、同村の高妻仙平がその穂木を取り、二世原木を育成 ・日向夏の二世原木は昭和10年12月24日、天然記念物に指定されたが、昭和34年6月に老衰で枯死し、昭和35年5月13日に指定を解除 ・昭和36年に原樹自生跡の記念碑を建立し、その2年後2本の日向夏が植栽され、現在に至る
明治10 ～20	<ul style="list-style-type: none"> ・うんしゅうみかんの栽培は飢肥藩士郡司新が南郷村中村（現在の南郷町）に0.2ha植えたのが始まりといわれる
” 20	<ul style="list-style-type: none"> ・田村利親（県技師）が「日向夏」と命名
” 35	<ul style="list-style-type: none"> ・日向夏の県内の栽培面積は4.2haで、宮崎郡、東諸県郡、児湯郡、東臼杵郡に散在
” 37 ～38	<ul style="list-style-type: none"> ・南郷村中村に栽培された0.2haのうんしゅうみかんが結果期となり、農家に注目されるに至った
” 38 ～39	<ul style="list-style-type: none"> ・小林市の宮原猛、志戸本次兵の両氏が、日本なし及び西洋なしを植栽
” 39 ～45	<ul style="list-style-type: none"> ・日向夏の苗木を 県農会が配布し、現在も古木が残っている
” 40	<ul style="list-style-type: none"> ・農事試験場で果樹の試験研究を開始
大正 5	<ul style="list-style-type: none"> ・本城村崎田（現在の串間市）に大阪資本の河崎産業が官有地250haの払い下げを受け、15haにうんしゅうみかん、ぼんかん、ネーブル、レモン、オリーブ、パイナップル等を植栽
” 9	<ul style="list-style-type: none"> ・河崎産業がぼんかんを台湾から導入し植栽
” 12	<ul style="list-style-type: none"> ・県内のかんきつ生産量は7,000tとなる
昭和 5	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の南郷町夫婦浦と贅波に大阪資本の芝川農場が36haを購入し、ネーブル、レモン、うんしゅうみかん、グレープフルーツなどを16haに植栽した その後、昭和26年にはこのうちの一部が県立南郷園芸高等学校（現在の県立日南農林高等学校）の実習地となり、さらに昭和51年には亜熱帯作物支場が移転
” 8	<ul style="list-style-type: none"> ・県内のかんきつ栽培面積が799haとなり、全国17位となる
” 9	<ul style="list-style-type: none"> ・南郷町津屋野に柑橘試験地を設置し、みかんの増植奨励と優良系統選抜ならびに試験研究を始め、昭和13年には同町の中村に移転
” 17	<ul style="list-style-type: none"> ・県内のかんきつ栽培面積が1,003ha、生産量13,395haとなる
” 16 ～20	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦となり、果樹栽培は主要食糧増産や生産資材の不足で強制伐採策がとられ面積も激減
” 20	<ul style="list-style-type: none"> ・9月17日、枕崎台風が県内を縦断して、本県と西日本一帯に大きな被害を与えた
” 21	<ul style="list-style-type: none"> ・農事試験場の南郷柑橘試験地が廃止され指導農場となる

年次	沿革									
昭和23	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の果樹行政は、農務課の園芸係に農事試験場兼務として果樹担当が置かれた ・ 宮崎県が、果樹増産5カ年計画を樹立、南郷柑橘試験地が復活 									
〃 24	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月にデラ台風が宮崎を直撃し、県下に大きな被害 ・ このため、翌年の温州みかんの栽培面積が464ha、生産量3,100tに減少 ・ 県内29地区に、地方農業改良事務所が設置 									
〃 25	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宮崎郡生目村（現在の宮崎市）に総合園芸試験圃を設置し、果樹研究室となり職員も増加し充実が図られる 									
〃 30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内のかんきつ栽培面積1,410ha（全国で19位） ・ 果樹生産者団体として、宮崎県果樹園芸振興協議会が発足（昭和38年から県費助成） 									
〃 31	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業試験場の機構が改革され、総合園芸試験圃を栽培部果樹研究室に、南郷柑橘試験地は栽培部南郷試験地に名称が変更 									
〃 32	<ul style="list-style-type: none"> ・ 果樹園芸技術研修制度をつくり、宮崎県農業試験場果樹研究室と南郷試験地で毎年10余名の自営者養成に努めた ・ 県は温州みかん増植4カ年計画と、かき増植3カ年計画を樹立 									
〃 33	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県は果樹集団産地設置要綱を作成し、毎年200ha以上の増植を推進 ・ 新農山漁村振興対策事業が開始され、各地で樹園地の造成並びに共同防除施設等が設置される 									
〃 34	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県は防災営農計画を樹立し、山麓地帯を中心に各種果樹の増植を推進 <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>5カ年計画（目標年次 昭和39年）</td> <td>みかん</td> <td>2,200ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>なし</td> <td>131ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>かき</td> <td>170ha</td> </tr> </table> <p>共同育苗圃に対して補助金を交付</p>	5カ年計画（目標年次 昭和39年）	みかん	2,200ha		なし	131ha		かき	170ha
5カ年計画（目標年次 昭和39年）	みかん	2,200ha								
	なし	131ha								
	かき	170ha								
〃 36	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業基本法が制定 ・ 果樹農業振興特別臨時措置法の公布施行により、県は果樹園経営計画の樹立及び認定を始めた（40件） ・ 県は、防災営農計画改訂に伴い、果樹増産5カ年計画を修正し、昭和39年目標を4,500haとした ・ 果樹園芸技術研修制度を改正し、自営者育成15名、技術者育成5名とし、果樹研修館が新設 ・ 県は果樹指導所を川南町、延岡市に新設し、果樹栽培のモデル展示、穂木生産を行い、果樹栽培についての相談を受ける場とした ・ 全国に先がけて、早生うんしゅうの青切りをアーリーオレンジとして、9月初旬に東京に出荷し、好評を博した 									
〃 37	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県庁経済部特産課に果樹係が新設 ・ 甘夏栽培が始まった都農町に大分県より通勤栽培が始まり増植が図られた ・ 県は果樹適地調査実施要領を制定し、国庫補助を受けて気象調査器具を購入し、各地で適地調査事業を実施 ・ S A P運動が始まる、農業構造改善事業が開始 ・ みかんを主幹作目とするパイロット事業が川南町竹浜地区を筆頭に各地で実施 ・ 県内各地に法人組織の果樹（みかん）園が誕生 									
〃 38	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皇太子、同妃殿下にみかんの花の献上が始まる 									
〃 39	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川南町（竹浜地区）に県内の柑橘園で最初に自走式のスピードプレーヤーが導入 									

年次	沿 革																
昭和56	<ul style="list-style-type: none"> 国の果樹農業振興基本方針が昭和65年目標として公表され、それに基づいて県の果樹農業振興計画が作成 <table border="0"> <tr> <td>(昭和65年目標)</td> <td>かんきつ類</td> <td>4,909ha</td> <td>93,310 t</td> </tr> <tr> <td></td> <td>く り</td> <td>2,148ha</td> <td>4,296 t</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ぶ ど う</td> <td>381ha</td> <td>5,717 t</td> </tr> <tr> <td></td> <td>か き</td> <td>322ha</td> <td>3,220 t</td> </tr> </table> (濃密生産団地) かんきつ類：4団地 くり：3団地 ぶどう：2団地 2月下旬に「異常低温」が襲来し、かんきつ類を中心に大被害を受けた 	(昭和65年目標)	かんきつ類	4,909ha	93,310 t		く り	2,148ha	4,296 t		ぶ ど う	381ha	5,717 t		か き	322ha	3,220 t
(昭和65年目標)	かんきつ類	4,909ha	93,310 t														
	く り	2,148ha	4,296 t														
	ぶ ど う	381ha	5,717 t														
	か き	322ha	3,220 t														
〃 57	<ul style="list-style-type: none"> 果樹ウイルスの無毒化施設設置 																
〃 58	<ul style="list-style-type: none"> 地域果樹育成対策事業を創設 うんしゅうみかん園転換対策事業終了 																
〃 59	<ul style="list-style-type: none"> 第二次かんきつ産地再編整備特別対策事業が61年まで実施 転換実施面積 360ha ウイルス汚染防止管理施設設置 川南町及び佐土原町でマンゴーの栽培が、61年からは西都市でも栽培が始まる 																
〃 60	<ul style="list-style-type: none"> 亜熱帯性果樹等定着促進対策事業の創設 果樹農業振興特別措置法の一部改正 																
〃 61	<ul style="list-style-type: none"> 地域特産果樹産地総合整備事業の創設 国の果樹農業振興基本方針が〃70年を目標として公表され、それに基づいて県の果樹農業振興計画を作成 <table border="0"> <tr> <td>(昭和70年目標)</td> <td>かんきつ類</td> <td>3,988ha</td> <td>73,230 t</td> </tr> <tr> <td></td> <td>く り</td> <td>1,800ha</td> <td>2,340 t</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ぶ ど う</td> <td>310ha</td> <td>4,650 t</td> </tr> <tr> <td></td> <td>か き</td> <td>240ha</td> <td>1,440 t</td> </tr> </table> (濃密生産団地) かんきつ類：4団地 くり：3団地 ぶどう：2団地 宮崎みかん出荷基準の改正 	(昭和70年目標)	かんきつ類	3,988ha	73,230 t		く り	1,800ha	2,340 t		ぶ ど う	310ha	4,650 t		か き	240ha	1,440 t
(昭和70年目標)	かんきつ類	3,988ha	73,230 t														
	く り	1,800ha	2,340 t														
	ぶ ど う	310ha	4,650 t														
	か き	240ha	1,440 t														
〃 62	<ul style="list-style-type: none"> 果樹品種更新特別対策事業の創設 																
〃 63	<ul style="list-style-type: none"> 牛肉・オレンジ輸入自由化に関する日米交渉が決着 <table border="0"> <tr> <td>【合意内容】</td> <td>生鮮オレンジ</td> <td>1991年4月から自由化</td> <td>(移行期間3年)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>オレンジ果汁</td> <td>1992年4月</td> <td>〃 (移行期間4年)</td> </tr> </table> かんきつ園地再編対策(うんしゅうみかん及び中晩かん)に伴うかんきつ園転換実施(実施期間：昭和63年度～平成2年度) 加工原料用果実価格安定対策事業(特別補てん)が開始 総合農業試験場の果樹部が常緑果樹科と落葉果樹科に再編され、亜熱帯支場は科を廃止し、主任制となる 	【合意内容】	生鮮オレンジ	1991年4月から自由化	(移行期間3年)		オレンジ果汁	1992年4月	〃 (移行期間4年)								
【合意内容】	生鮮オレンジ	1991年4月から自由化	(移行期間3年)														
	オレンジ果汁	1992年4月	〃 (移行期間4年)														
平成 元	<ul style="list-style-type: none"> フルーツランド構想推進事業の創設 高品質みかん産地育成緊急対策事業の創設 日南市東郷で発見された興津早生の枝変わりが「日南1号」として品種登録 国の果樹農業振興基本方針が平成12年を目標として公表され、その基本方針に基づき県の果樹農業振興計画を作成 完熟きんかんに「たまたま」とネーミング、本格的に販売を開始 																
〃 2	<ul style="list-style-type: none"> かんきつ園地再編対策事業終了 <table border="0"> <tr> <td>本県割当面積</td> <td>550ha</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>うんしゅうみかん 591.09ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中 晩 柑 46.68ha</td> </tr> </table> 	本県割当面積	550ha	実績	うんしゅうみかん 591.09ha		中 晩 柑 46.68ha										
本県割当面積	550ha																
実績	うんしゅうみかん 591.09ha																
	中 晩 柑 46.68ha																

年次	沿革
平成 2	・「南風」が品種登録された（総合農試が昭和 54 年に清見にフェアチャイルドを交配した実生から育成）
〃 3	・第 4 次農業振興長期計画を策定 ・リゾート果樹産地育成事業の創設 ・果樹ウイルス緊急対策事業の創設 ・4 月からオレンジ生果が輸入自由化される ・第 21 回全国くり研究大会が高千穂町、日之影町で開催される（7 月 25～26 日） ・カメムシ類の異常発生により、うんしゅうみかん、かきを中心に大被害を受けた（被害額 9 億 841 万円）
〃 4	・フルーツランド構想確立対策事業の創設 ・4 月からオレンジ果汁が輸入自由化される
〃 5	・9 月 3 日戦後最大級の台風 13 号襲来 果樹の被害額 1,514 百万円 ・12 月ガットウルグアイ交渉合意
〃 6	・新リゾート果樹産地育成事業の創設 ・夏、西日本全域で大干ばつ
〃 7	・みやざきフルーツランド確立対策事業の創設 ・みかん等果樹園転換特別対策によりみかん等（うんしゅうみかん及び中晩かん）果樹園転換の実施
〃 8	・果樹ブランド産地体制整備事業の創設 ・全国でカメムシの異常発生 ・国の果樹農業振興基本方針が平成 17 年を目標として公表され、その基本方針に基づき県の果樹農業振興計画を作成 ・12 月「宮崎県果樹農業のあゆみ」（執筆者：河崎佳寿夫）発刊
〃 9	・新うんしゅうみかん価格安定対策事業の創設 ・リゾート果樹産地拡大事業の創設
〃 10	・第 44 回全国カンキツ研究大会がシーガイアをメイン会場に開催 参加者：県外 561 名 県内 552 名 計 1,113 名 ・21 世紀に向けたフルーツランド定着化事業の創設 ・8 月 河崎佳寿夫氏「宮崎の果樹外史」発刊 ・完熟マンゴーに「太陽のタマゴ」とネーミングし、差別化販売を開始
〃 11	・リゾート果樹グレードアップ対策事業の創設 ・特定果実計画生産出荷促進事業（経済連・10 農協） ・摘果等対象面積 828ha
〃 12	・第 23 回全国くり研究大会が高千穂町、日之影町で開催 参加者：県外 150 名 県内 200 名 計 350 名 ・第 6 回くりサミット in 須木が開催された 参加者：県外 250 名 県内 250 名 計 500 名 ・8 月 16 日、国の果樹農業振興基本方針が平成 22 年を目標として公表され、それに基づき、県の果樹農業振興計画を作成 (平成 22 年目標) かんきつ類 1,083ha 37,213 t く り 954ha 1,000 t ぶ ど う 242ha 2,714 t (濃密生産団地) かんきつ類：4 団地 く り：3 団地 ぶどう：2 団地

年次	沿革
平成13	<ul style="list-style-type: none"> ・第五次宮崎県農業・農村振興長期計画を策定 ・「日向夏ものがたり」（長友大氏、山本末之氏、高妻達郎氏の共著）発刊 ・新フルーツランド構想推進事業の創設 ・高品質みかん価格安定対策事業の創設 ・みかんとりんごを対象とした、国の新たな需給調整対策・経営安定対策の開始 ・新たな県のブランド確立対策の開始 ・マンゴー及び完熟きんかんを県の商品ブランドとして認証
〃 14	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に無登録農薬問題が発生し、極早生みかんの出荷前に残留農薬の全戸調査を実施 ・日向夏（種なし、少核果）を県の商品ブランドとして認証
〃 15	<ul style="list-style-type: none"> ・みやざきオリジナル果樹育成供給事業の創設 ・果樹商品ブランド緊急強化事業の創設 ・高品質みかん価格安定対策事業特別対策事業により、摘果剤を助成 ・マルチ日南1号及びびぶどう（サニールージュ）を県の商品ブランドとして認証
〃 16	<ul style="list-style-type: none"> ・「第1回くだものを使った料理コンテスト」が開催 ・みやざきの果樹トップブランド確立対策事業の創設 ・早生不知火「陽のかおり」を4月15日に出願し、12月17日に出願公表 ・高品質みかん価格安定対策事業特別対策事業により、摘果剤を助成 ・マンゴーの系統取扱額が10億円を突破
〃 17	<ul style="list-style-type: none"> ・県内産果樹の輸出の取り組みが始まる（完熟きんかん、日向夏） ・元気みやざき農業・農村創造計画（第6次長期計画）が策定 ・国の果樹農業振興基本方針が平成27年を目標に公表 ・マンゴー王国産地確立事業を創設 ・（財）中央果実生産出荷安定基金協会事業として、かんきつ園地転換特別対策事業が創設され、優良中晩柑類への改植を推進 ・9月5・6日に来襲した台風14号により、西都市のマンゴーを始め県内の果樹産地が多大な被害を受けた
〃 18	<ul style="list-style-type: none"> ・国の基本方針に基づき、県の果樹農業振興計画を策定 ・7産地が果樹産地構造改革計画を策定 ・JA宮崎中央が非破壊式果実選果機によるマンゴー、不知火の選果を開始 ・JA高千穂地区が非破壊式選果機によるくりの選果を開始 ・へべすを県の商品ブランドとして認証
〃 19	<ul style="list-style-type: none"> ・JA串間市大東が非破壊式選果機によるきんかんの選果を開始 ・早生不知火「陽のかおり」が1月22日に品種登録 ・JA西都が非破壊式果実選果機によるマンゴー、不知火、温州みかん、きんかんの選果を開始 ・JAこばやしが非破壊式果実選果機によるマンゴーの選果を開始 ・（財）中央果実生産出荷安定基金協会事業として、果樹経営支援対策事業、果実計画生産推進事業、緊急需給調整特別対策事業を創設、優良中晩柑類への改植や小規模園地基盤整備、大苗育苗等を推進 ・マンゴーの系統取扱額が27億円を突破（JA宮崎中央も10億円を突破） ・果樹産出額が141億円となる（マンゴーが39億円で果樹品目のトップとなる）
〃 20	<ul style="list-style-type: none"> ・JA日向が非破壊式果実選果機によるきんかんの選果を開始 ・日南市大窪で発見された日南1号の枝変わりが「日南早生」として品種登録 ・JA西都がマンゴー果実へ産地名等を直接印字して出荷開始 ・重油高騰の影響等からマンゴーにヒートポンプの導入が増加 ・種なしきんかん及び大玉きんかんの品種登録出願（宮崎夢丸、宮崎王丸）

年次	沿 革
平成21	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎ならではの果樹産地構造改革事業を創設 ・第10回全国果樹技術・経営コンクールで横山一徳氏が農林水産大臣賞を受賞 ・第58回全国農業コンクールで宮崎県果樹振興協議会亜熱帯果樹部会が農林水産大臣賞を受賞し、さらに第48回農林水産祭で天皇杯を受賞 ・10月20日と11月20日に需給調整特別対策事業が発動（本県対象なし） ・JA取扱の完熟きんかんの総称を「たまたま」に統一（従来の「たまたま」は「たまたまエクセレント」に）、日向夏に「日向夏ちゃん」とネーミング
" 22	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急！みやざきの中山間果樹産地再構築事業を創設 ・果樹ブランド力向上産地戦略推進事業を創設 ・宮崎県果樹振興協議会亜熱帯果樹部会が天皇皇后両陛下に拝謁 ・平成21年度、県の商品ブランドとして「みやざきびつ栗」を認証 ・マンゴー王国産地確立事業の成果としてマンゴー栽培マニュアルを発行 ・ライチ・インドナツメ研究会を発足して地域適応性の検討を開始 ・11月15日 種なしきんかん「宮崎夢丸」品種登録 ・7月 国の果樹農業振興基本方針が公表
" 23	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年の農業産出額（果樹）が過去最高の147億となる ・平成22年度、県の商品ブランド「完熟きんかん」の名称を「完熟きんかん「たまたま」に変更 ・1月21日 宮崎大学が「日向夏みかんを利用した骨代謝改善剤」の特許を取得 ・1月26日以降の新燃岳噴火により、南那珂を中心に多大な被害発生 ・3月 県の果樹農業振興計画を策定 （平成32年目標） 果樹栽培面積3,214ha（92%） 生産量30,425t（97%） ・西米良村や西都市東米良のゆず産地で果樹版集落営農に向けた活動が進展 ・(財)中央果実生産出荷安定基金協会事業として、果樹未収益期間支援事業が開始 ・6月 第7次宮崎県農業・農村振興長期計画が策定され、儲かる農業の実現に向けた施策展開が示される ・7月11日 大玉系のきんかん「宮崎王丸」品種登録 ・7月28日～29日 第28回全国クリ研究大会宮崎県大会が高千穂町、日之影町で開催 参加者：416人（内県外 146人）
" 24	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年の農業産出額（果樹）が前年を上回り、過去最高の152億円となる ・果樹だからできる6次産業化チャレンジ事業を創設 ・4月 JAはまゆうが非破壊式果実選果機によるマンゴーの選果・出荷を開始 ・4月19日～20日 第1回となる全国果樹生産者女性大会宮崎県大会を宮崎市で開催 参加者：443人（内県外 196人） ・大手ブランドメーカー等と連携した日向夏飲料の商品化が増加 ・7月11日 県の商品ブランドとして「みやざきぶどうハニービーナス」を認証 ・12月 直接流通モデルの創出を目的とする宮崎県果樹連携推進サイト「みやざきフルーツコンシェルジュ」を開設
" 25	<ul style="list-style-type: none"> ・1月 完熟マンゴーの新たな販売戦略を可能とする「冷凍みやざき完熟マンゴー」を商品化 ・3月 「宮崎王丸」の苗の生産者への配布を開始（約3千本） ・6月 フードビジネスプロジェクトが始動（加工果実） ・6月 「太陽のタマゴ」生誕15周年記念として「GO!GO!マンゴー感謝祭」を開催 ・7月 ライチ・インドナツメ研究会がライチを初出荷（1.1t） ・8月 社団法人宮崎県果実生産出荷安定基金協会が公益社団法人へ移行（公益社団法人宮崎県果実協会が設立） ・9月 「宮崎夢丸」の産地育成プロジェクトが始動

年次	沿革
平成26	<ul style="list-style-type: none"> マンゴの系統出荷量が、初めて1,000tを超える 1月 JA宮崎中央が非破壊式果実選果機によるきんかんの選果・出荷を開始 2月 西米良村ゆず振興部会竹原支部の果樹版集落営農の取組が農林水産大臣賞を受賞 5月 宮崎県果樹振興協議会が、5月25日を「みやざきマンゴの日」に制定 7月 日向夏再生プロジェクトが始動（宮崎県果樹振興協議会） 7月 県全域の中山間地域を対象とした果樹版集落営農推進研修会を実施（西米良村）
" 27	<ul style="list-style-type: none"> 2月 輝く中山間園芸産地構築事業を創立 4月 国の果樹農業振興基本方針が公表
" 28	<ul style="list-style-type: none"> 1月 県全域の中山間地域を対象とした果樹版集落営農推進研修会を実施（日之影町） 2月 「宮崎夢丸」の試験販売を開始（宮崎経済連） 2月 第17回全国果樹技術・経営コンクールで藤元学氏が農林水産大臣賞を受賞 3月 県の果樹農業振興計画を策定 4月 未来をひらく新果樹産地クリエイション事業を創立 6月 県の第七次宮崎県農業・農村振興長期計画（後期計画）が策定され、現行計画の見直しにより、大きな時代の変革に対応できる本県農業の構造改革を促すとともに農業の成長産業化を目指す、新たな指針が公表される 9月 日向地域の特産果樹へべすの県内での産地拡大を図ることで県と日向地域のへべす生産者が合意、県内での生産拡大が始まる 平成28年産のきんかん産出額が過去最高の23億円となる
" 29	<ul style="list-style-type: none"> 1月 JAはまゆうが非破壊式果実選果機によるきんかんの選果・出荷を開始 4月 イノベーションで未来をひらく産地経営体育成事業を創立 8月 農地中間管理機構が果樹経営支援対策事業を活用 10月 第61回全国カンキツ大会宮崎県大会準備委員会設立
" 30	<ul style="list-style-type: none"> 1月 第61回全国カンキツ大会宮崎県大会実行委員会設立 2月 果樹共進会において施設きんかんの河野利泰氏が農林水産大臣賞を受賞 4月 集落で繋ぐ中山間地域果樹産地支援事業を創立 4月 「太陽のタマゴ」生誕20周年として販売
" 31 令和元	<ul style="list-style-type: none"> 1月 完熟きんかん、栄養機能食品として表示販売開始 1月 第61回全国カンキツ研究大会宮崎県大会開催（県果樹振興協議会主催） 参加者：県外436名 県内213名 来賓等87名 実行委員等141名 計877名 4月 次世代果樹ブランド産地育成支援事業創立 5月 みやざき完熟マンゴ「太陽のタマゴ」生産者が安倍総理を表敬 8月 JA都城へべす生産部会が設立し、日向地域以外で初のへべす部会が誕生
" 2	<ul style="list-style-type: none"> 3月 日向夏発見200年と位置づけた各種PRを開始 4月 ブランド果樹産地リノベーション推進事業を創立 8月 マンゴ苗木生産プロジェクトが発足 11月 宮崎駅高千穂口（西口）に日向夏ポストが設置
" 3	<ul style="list-style-type: none"> 2月 果樹共進会において、マンゴの松田泰一氏が農林水産大臣賞を受賞 4月 機構改革により農産園芸課施設園芸担当、露地園芸担当制を開始 9月 県におけるスマート農業推進ロードマップを策定 9月 西米良村でスマート農業等生産団地に向けた計画策定に着手 11月 第23回全国果樹技術・経営コンクールにおいて、きんかんの馬崎氏が日本園芸農業協同組合連合会会長賞受賞

年 次	沿 革
令和 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2月 果樹共進会においてきんかんの小窪篤氏が農林水産大臣賞を受賞 ・ 3月 宮崎県果樹農業振興計画を策定 ・ 5月 JA アグリシードにおいてマンゴー台木苗の生産を開始 ・ 6月 施設園芸省エネ転換緊急対策事業を創立 ・ 7月 綾町でライチ苗の県内供給体制構築に向けた事業に着手 ・ 8月 ライチ研究会によるライチの出荷量が10トンを超える ・ 9月 台風14号の暴風雨により落果や枝折れ等の被害が発生
" 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2月 果樹共進会においてきんかんの松田博喜氏が農林水産大臣賞を受賞 ・ 2月 JA こばやしマンゴー選果機リニューアル ・ 5月 「太陽のタマゴ」25周年誕生祭を開催 ・ 7月 カンキツシンポジウム「無核性カンキツ新品種、全国展開へ向けて」を開催
" 6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2月 果樹共進会においてきんかんの野辺和哉氏が農林水産大臣賞を受賞 ・ 3月 宮崎県園芸種苗対策基本方針を策定 ・ 5月 マンゴーにおいて「ナンヨウキクイムシ」の発生を確認 ・ 8月 へべす生産が県域に拡大した報告を兼ねて県生産地域代表者が知事を表敬
" 7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2月 果樹共進会において日向夏の阿萬俊二氏が農林水産大臣賞を受賞 ・ 4月 みやざき果樹花き産地生産力強化事業を創立 ・ 8月 ライチ研究会によるライチの出荷量が16トンを超える ・ 9月 露地かんきつにおいて「チュウゴクアミガサハゴロモ」の発生を確認

3 花き

年次	沿革
大正10	・宮崎市神宮町の重永安吉氏がガラス温室でシクラメン等の栽培を始める
昭和 2	・宮崎市神宮町・天満町で墓花・仏花として、キンセンカ・ヤグルマソウの栽培を始める
// 10	・宮崎市の重永氏、山田氏が日南市富士においてガラス温室でシクラメンの栽培を始める ・日南市の歌津芳士氏が鶴戸で、キンセンカ・ヤグルマソウの露地栽培を始める
// 15	・日南市の歌津芳士氏がガラス温室による花き栽培を始める
// 21	・宮崎市の赤江（郡司分）でキク（露地）の栽培が始まる
// 23	・宮崎切花販売購買協同組合が発足し生花の取引が始まる（26年まで） ・日向市の児玉氏がガラス温室で神戸市より苗を導入、カーネーションの栽培を始める ・日向市の児玉氏がペーパーハウスによりユリ栽培を始める
// 24	・宮崎市神宮町・赤江でフリージア、吉村町・権現町で草花、一宮町で鉢花、青島でスイセン・フリージアの栽培が始まる フリージアは冷床育苗・両屋根式フレーム半促成栽培が普及する ・日向市にキクの露地栽培が普及する この当時の取り引き形態は農家が露天商の花屋さんまで持ち込み、相対取り引きで行われていた
// 25	・県内花き生産者による宮崎県花き同好会発足 ・都城市で一部の業者により花木栽培が始まる
// 26	・農業用ビニールが普及し始める ・宮崎市赤江の佐土原氏がゴム・ソテツ・サンセベリア等の観葉植物の栽培を始める
// 27	・宮崎市住吉・赤江でキク栽培、天満町でユリの栽培が始まる ・宮崎市農協野菜かぼちゃ集出荷場に仮設の花市場を設置(4月) 加入業者 68名、出資金 300円以上、出資総額 193,800円 ・花市場（宮崎切花組合＝協同組合宮崎花市場の前身）が高千穂通りの旧知事官舎横に開設される（S27.7.17）宮崎市寿町3番地 ・神宮花き生産組合（長嶺氏ら）が鉄道利用によりフリージアを県外（熊本・北九州）へ初めて出荷、翌年から中国・京阪神地区へ販路拡大する
// 28	・宮崎市神宮町でチューリップの冷蔵球根栽培、赤江・木花で電照ギクの栽培が始まる
// 29	・宮崎市住吉でアイリス球根養成、赤江でカーネーションの試作が始まる ・橘花市場（花き流通センターの前身）が千草町に開設される（4月）
// 30	・永野青果市場内で花が取り扱われる（宮崎市内の花市場数3箇所） ・ホロ式ビニールフレーム栽培が普及する ・日向市花き園芸組合が組織される ・日南市の歌津芳士氏がスイートピーを露地で栽培する
// 31	・宮崎市花卉生産農業協同組合発足（S31.7.17） ・宮崎県農業試験場 そ菜研究室で花き試験の取り組みが始まる

年次	沿革
昭和32	<ul style="list-style-type: none"> ・橘花市場が広島通りに移転し平賀花市場に名称変更 ・宮崎市赤江で川崎遼巽氏がバラの栽培を始める ・二期作水稻の後作として、キンセンカが2ha栽培される ・住吉で川野・岩切の両氏が300m²でカーネーションの栽培を始める
// 33	<ul style="list-style-type: none"> ・清武町でキクの栽培が始まる ・永野青果市場の花市場が閉鎖される
// 35	<ul style="list-style-type: none"> ・花市場が中小企業法人の事業協同組合宮崎市花市場として開設される（5月） ・住吉で川野・岩切の両氏により電照ギク、倉岡で平山氏らにより促成ギクの栽培が始まる
// 36	<ul style="list-style-type: none"> ・平賀花市場が小倉花市場に名称変更（S36.6.1）
// 38	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市権現町の大西氏が鉄骨ハウスを建設 ・宮崎市花き振興協議会が発足 ・促成ギクの高冷地育苗が生駒高原で始まる ・事業協同組合宮崎花市場が寿町から錦本町へ新築移転する
// 39	<ul style="list-style-type: none"> ・延岡市浜砂地区で電照ギクの栽培が始まり産地が形成される
// 40	<ul style="list-style-type: none"> ・延岡市で花き組合が結成される ・国富町の小野氏らが竹製ビニールハウスで無加温電照ギクの栽培を始める ・北川町で山取りであったシキミを栽培として始める ・宮崎県花き園芸組合連合会が発足（S40.10.1） ・宮崎県農業試験場が現在地（宮崎市佐土原町）に移転し、宮崎県総合農業試験場として発足、そ菜花き部にて花きの研究が本格的に始まる
// 41	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市の佐土原・小八重氏ら県内6名で鉢物組合を結成する
// 42	<ul style="list-style-type: none"> ・高千穂町の野菜農家が夏ギクの栽培を始める ・宮崎市北川内町でフリージアの栽培が始まる
// 43	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回フラワーショーが平和台で始まる ・宮崎市で農業構造改善事業による基盤整備をきっかけにカーネーションの規模拡大、ドラセナの栽培が始まる ・都農町でアイリス球根採種事業により球根を導入し栽培を始める ・高千穂町花き生産組合が結成される ・長友氏を中心とした清武町船引地区において切花栽培が始まる
// 44	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市北川内町でカーネーションの栽培が始まる ・高岡町でカーネーションの栽培が始まる
// 45	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市花き生産農協ドラセナ部会結成（岩切氏他43名） ・宮崎市のバラ栽培が3戸50aと増加する ・都農町のアイリス栽培が300aに増加する
// 46	<ul style="list-style-type: none"> ・都城市でキクの栽培が始まる ・宮崎市で花き共同育苗施設設置事業によりドラセナの育成ハウスを設置 ・田野町でキクの栽培が始まる ・カーフェリー就航（日向～川崎・日向～神戸）

年次	沿革
昭和47	<ul style="list-style-type: none"> ・高原町のUターン青年が露地ギク3aの栽培を始める ・沖永良部島より移住した3名により、佐土原町でテッポウユリ栽培が始まる
〃 48	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市農協花木部会設立 ・赤江農協により初めて中国・阪神地区へフリージアの系統出荷を始める ・大阪で開催された物産展で特産花きとしてのドラセナの消費拡大を実施 ・北川町下塚地区で挿木繁殖によるシキミ栽培を始め、「下塚園芸組合」を結成 ・国富町・清武町で加温電照ギク（苗の低温処理技術利用）栽培が始まる ・亜熱帯作物支場 有用植物科設置とともに、亜熱帯性花き花木の試験研究開始
〃 49	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市住吉にカーネーション育苗センターを設置し、無病苗の供給を図る ・事業協同組合宮崎花市場が協同組合宮崎花市場地方卸売市場となる（S49.4.1） ・えびの市でガラス温室による鉢物栽培が始まる ・総合農業試験場 栽培部高冷地科にて高冷地花き（露地ギク、リンドウ）の試験に着手（昭和51年に高冷地科廃止に伴い試験中断）
〃 50	<ul style="list-style-type: none"> ・(有)小倉花市場が(株)宮崎花き流通センターに名称変更（S50.8.1） ・三股町田上地区でセンリョウの栽培が始まる ・高原町で電照ギクの栽培開始
〃 51	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎花き流通センターが地方卸売市場宮崎花き流通センターとして昭栄町に移転する
〃 52	<ul style="list-style-type: none"> ・川南町でイチゴの後作としてキクの栽培が始まる ・須木村奈佐木地区でキクの露地栽培が始まる ・西都市穂北地区でキクの栽培が始まる ・北川町のシキミが大阪市場に出荷される ・佐土原町の西岡氏がデンドロビウムの山上げ栽培を始める
〃 53	<ul style="list-style-type: none"> ・新富町日置地区の宇都宮氏らによりシンビジウムの栽培が始まる ・宮崎県鉢物生産組合が設立される
〃 54	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市の赤江地区に転作促進特別対策事業により県内で初めての花き温室団地が完成 ・国富町において電照ギクの生産者により花き振興研究会が組織される ・野尻町においてキクの露地栽培が始まる ・北川町のシキミが沖縄に出荷される ・国民体育大会が開催され、会場装飾用花苗生産を契機に草花苗の生産が増加する
〃 55	<ul style="list-style-type: none"> ・南宮崎農協でバラの航空機による阪神地区への出荷が始まる ・川南町で露地ギクの栽培が始まる ・都城公設卸市場内に都城園芸花市場が開設される（S55.4.1）
〃 56	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市赤江の川崎正信氏が植物の組織培養技術を導入し、洋ランの増殖を始める ・宮崎市花き生産農業協同組合が解散 ・北川町で山村地域農林業特別対策事業により花き集荷場を建設、花き園芸振興対策事業により共同利用機械を導入 ・五ヶ瀬町花卉研究グループ結成 ・南郷村で露地ギクの栽培が始まる ・宮崎自動車道（えびのIC～宮崎IC）が全線開通する ・フラワーショーが県運動公園へ移転
〃 57	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県総合農業試験場に花き科が設置される ・農林集落振興対策事業により、シキミの大量増殖・作業道の整備を行う(北川町)

年 次	沿 革
昭和58	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県花き生産者連合会が発足 (S58.9.10) ・協同組合宮崎花市場が阿波岐原に移転 ・日南市のスターチスが北九州市場へ共同出荷される ・都城市で小ギクの産地化が進む ・高千穂町の夏ギクの航空機による阪神地区への出荷が始まる ・淡路島でスイートピーを視察した日南市の増田博信氏が栽培を始める
// 59	<ul style="list-style-type: none"> ・花き産地総合整備事業により協同組合宮崎花市場内に花き冷蔵施設を導入 ・高原町で2～3月咲き加温電照ギクを北九州・中国市場に出荷する ・宮崎市赤江の川崎氏が熊本県高森町において、コチョウランの山上げ栽培を始める ・五ヶ瀬町花き生産組合発足 ・亜熱帯作物支場でスイートピーの試作を行う ・松永一氏が熊本県から小林市に移住し、花きの栽培、育種を始める
// 60	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県花き振興協議会発足 ・高千穂町において、水田利用再編特別対策事業により花き集出荷場を設置 ・小林市のSAP会員が「フローリスト」を結成 ・高原町の電照ギクを神戸生花へ出荷
// 61	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県花き専門技術員を設置 ・日南市でスイートピー生産組合・日南胡蝶蘭協議会を結成 ・宮崎市のカーネーション育苗センターが清武町へ移転し、宮崎市農協園芸開発センターとなる ・宮崎市の井上氏が椎葉村合戦原においてデンドロビウムの山上げ栽培を始める ・宮崎市の川崎氏がコチョウランの冷房ハウス利用による早出し栽培を始める ・都城市安久地区でキクの栽培が始まる ・高原町の電照ギクを神奈川生協へ出荷する
// 62	<ul style="list-style-type: none"> ・都農町でスイートピーを中心とした草花の栽培が始まり、関東・近畿地域へ出荷する ・田野町でアイリスの球根栽培が始まる ・高千穂町の夏秋ギクを関東市場へ出荷する ・北川町でシキミの防除用スプリンクラーを設置 ・北郷町、南郷町でスイートピーの栽培が始まる ・宮崎県花き消費拡大推進協議会が組織される (S62.7.1)
// 63	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県バイオテクノロジー種苗増殖センター発足 ・宮崎県総合農業試験場で夜冷育苗技術の試験が開始される ・亜熱帯作物支場の亜熱帯果樹科、有用植物科の科制廃止 ・日向市の後継者グループが「塩見花き生産組合」を結成し、トルコギキョウの山上げ育苗を行う ・椎葉村でパンジー生産が始まる ・小林市の電照ギクを姫路市場へ出荷 ・日南農協花き部会、佐土原町農協花き部会発足 ・フラワーショーがフラワーフェスタに名称を変更する
平成 元	<ul style="list-style-type: none"> ・えびの市の吉牟田地区でデルフィニウムの高冷地育苗が始まる ・高原町でトルコギキョウの栽培が始まる(H3まで) ・南郷町でスターチス・シュッコンカスミソウの栽培が始まる ・宮崎市・宮崎郡・東諸県郡・西都市の生産者が農協間でのキクの共同販売を始める ・本県においても異業種の花き分野への参入が始まる (国富町で協同器材が出資したフラワーセンターが開設される) ・宮崎市農協洋らん部会が結成され、コチョウランの鉢物栽培が拡大する

年次	沿革
平成 2	<ul style="list-style-type: none"> ・北諸県地域、北浦町でスイートピーの栽培が始まる ・西米良村でパンジーの栽培が始まる ・宮崎市で夜冷育苗によるトルコギキョウの栽培が始まる ・高千穂町において農業生産体質強化総合推進事業により、花き育苗センターが設置される ・西米良村花き生産振興会が発足（12月） ・草野修一氏が神奈川県より綾町に移住し、花きの栽培、育種を始める
〃 3	<ul style="list-style-type: none"> ・農政水産部農蚕園芸課に花き係が設置される ・系統扱いで県下統一のダンボールによる出荷が始まる ・系統扱いで鮮度保持輸送（氷温輸送）が始まる ・第1回花き取扱会議が開催される ・えびの市でセル成型苗を利用したパンジー生産が本格化する ・門川町でスイートピー栽培が始まり、この後入郷地域にスイートピー生産が広がる ・椎葉村でトルコギキョウの栽培が始まる ・尾鈴農協管内で共同育苗によるトルコギキョウの栽培が始まる
〃 4	<ul style="list-style-type: none"> ・平成3年産実績で花きの粗生産額が100億円を突破する ・共同販売を前提とした生産者組織「JA 宮崎花き協議会」が発足(H4.10.1) ・宮崎県花き消費拡大推進協議会が「みやざきの花」普及促進協議会に改組される ・花き関係機関・団体が一堂に会して「第1回みやざき花の祭典」が開催される ・西米良村で夜冷育苗施設を利用したスターチス等促成栽培用苗の生産が始まる ・中山間地域5地区で現地試験研究ほが設置される ・高千穂町でスイートピーの生産が始まる ・本県スイートピーが面積20ha、出荷量3,300万本で日本一となる
〃 5	<ul style="list-style-type: none"> ・西米良村夜冷育苗施設を利用したスターチス苗の促成効果が実証される ・総合農業試験場に花き部が設置され、栽培科と育種科で試験を行う ・椎葉村での夏秋切りトルコギキョウが好成績を上げる ・長雨及び台風13号（9月3～4日）により大被害を受ける
〃 6	<ul style="list-style-type: none"> ・平成5年実績で切り花・鉢物・苗物の粗生産額100億円を突破する ・第3回ジャパンフラワーフェスティバルで経済連出品財が農林水産大臣賞受賞（H6.2.25） ・地方都市で初めて「花のまちづくりシンポジウム」が宮崎市で開催される（H6.5.12） ・花き振興協議会を改組し園芸振興協議会花き部会が発足（H6.5.25） ・都城市を中心に北諸県地域で電照ギクの生産が拡大する ・えびの市、串間市において農業構造改善事業により花き生産団地が設置される
〃 7	<ul style="list-style-type: none"> ・JFTD 全国大会が宮崎で開催される ・日本花き生産者大会の準備委員会が発足する（H7.10.2） ・ブランド品目にキクが指定される ・JA 小林地区花き部会（小林市・高原町・野尻町・須木村）発足 ・宮崎市中央市場に花き部が開設され、(株)宮崎花き流通センターが(株)宮崎中央花きに名称変更して入場する ・フラワーフェスタが「こどものくに」での開催となる
〃 8	<ul style="list-style-type: none"> ・県下全市町村で花きの生産が始まる（平成7年産） ・「みやざきの花」生産振興大会が開催される（H9.2.17） ・オリジナル花き開発育成対策事業により、総合農試とバイテクセンターに品種選定施設、種苗増殖施設がそれぞれ設置される（3月） ・第44回日本花き生産者大会実行委員会が設置される（H8.5.14） ・総合農業試験場畑作園芸支場が西臼杵地域でラナンキュラスの現地試験に着手する

年次	沿 革
平成 9	<ul style="list-style-type: none"> ・総合農試が花きの新品種を初めて発表する (H10.2.17) スィートピー「シルキーピーチ」「シルキーチェリー」、デルフィニウム「シリウス」 ・第44回日本花き生産者大会が全国から1,800名参加して開催される (H10.2.26～28、シーガイア、9市町12ヶ所) ・「みやざき花の祭典」が「シーガイアの春まつり」の中で開催される (H10.3.22～23)
// 10	<ul style="list-style-type: none"> ・めざせ200宮崎の花産地育成事業により、フルオープンハウスが西米良村のホオズキ等で設置される ・宮崎県JA花き協議会による生産者全員研修会が初めて開催される (H10.8.17、231名出席) ・宮崎県花き振興功労者表彰式で、小倉道男氏(宮崎県花き卸売市場連絡協議会会長)が知事賞受賞(H11.3.14)
// 11	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県で開催されたジャパンフラワーフェスティバルにおいて、経済連が出展した作品「タイトル：みなみの森」が金賞を受賞する ・'99国際ツバキ会議宮崎大会が宮崎市で開催される (H12.3.20～31) ・第16回全国都市緑化みやざきフェア(グリーン博みやざき'99)が、宮崎市阿波岐原において開催される (H12.3.27～5.30)
// 12	<ul style="list-style-type: none"> ・花のサミット2000「宮崎県鉢物・苗物見本市」が開催される (H13.3.3) ・兵庫県で開催されたジャパンフラワーフェスティバル、国際フラワーショーにおいて経済連が出展した作品が、それぞれ金賞を受賞する(3月) ・秋ギク品種「神馬」の栽培が広がる
// 13	<ul style="list-style-type: none"> ・バイテクセンターにおいて花の育苗施設を導入 ・第46回(社)日本生花商協会全国宮崎大会並びに第42回九州生花商団体連合会宮崎大会実行委員会が開催される(2月) ・新富町において中国へのシンビジウム輸出が始まる
// 14	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市において第11回全国洋らん生産者大会が開催される(3月) ・フロリアード(オランダ：ハールレマミア)にホオズキを2点出展し、金賞を受賞(7月) ・花持ち保証制度の事業化に伴い、産地においても日持ち検査等が始まる ・宮崎空港発着の航空機材の小型化により物流の再編が行われる
// 15	<ul style="list-style-type: none"> ・総合農試、生産者及び関係者で選抜した優良系統「神馬66」の穂供給開始 ・農業取締法及び種苗法が改正される(3月) ・西臼杵地域において切り花ランキュラスの生産が拡大しはじめる ・JAはまゆうが、品質(花の日持ち)評価室を設置
// 16	<ul style="list-style-type: none"> ・相次ぐ台風の襲来により、花きの被害額約2億5千万円 ・JA児湯新富支所洋ラン部会が中国西安市で開催された「日中園芸花芸総合展2004」にシンビジウムを出展 ・JA宮崎経済連と各JAが主力品目の低温湿式縦箱輸送を試行 ・JA都城、JAこばやし、JA高千穂が、品質(花の日持ち)評価室を設置
// 17	<ul style="list-style-type: none"> ・香港の量販店においてスィートピーを展示販売 ・全国花き卸売市場協会総会が宮崎県で開催 ・台風14号の記録的な豪雨により、花きの被害額約3億6千万円 ・宮崎県花き卸売市場連合会会長小倉道雄氏が叙勲

年次	沿革
平成18	<ul style="list-style-type: none"> ・「みやざき花の祭典」がイオン宮崎ショッピングセンターに会場を移して開催（2月） ・総合農業試験場花き部の栽培科、育種科の科制廃止 ・「みやざきオリジナルスイートピー」が花きで初めてブランド認証品目となる（認定産地：JAはまゆう、JA尾鈴、JA日向、JA高千穂地区）（11月）・椎葉村にてデルフィニウムの産地化が進む
// 19	<ul style="list-style-type: none"> ・JAはまゆう花卉部会が日本農業賞優秀賞を受賞する（3月） ・JA日向が品質（花の日持ち）評価室を設置（3月） ・(株)ファンケルが宮崎県産のスイートピーを原料とした化粧品を発売（9月） ・「鉢物品評会・2007 鉢花・蘭の部」にて、宮崎市の藤原栄伸氏のコチョウラン「ゴールデンエイジ エルドラド」が品評会大賞を受賞（11月） ・新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション」に、総合農業試験場育成デルフィニウム「カペラ」、「ポラリス」が入選
// 20	<ul style="list-style-type: none"> ・大田花き市場において、東国原知事による花きトップセールスを実施（1月） ・「みやざきの花普及促進協議会」を改組し「みやざき花で彩る未来」推進協議会が発足（6月） ・重油高騰に伴い、バラ、コチョウランでヒートポンプの導入が進む ・千葉幕張メッセで開催された花き商談会 I F E X(国際フラワーE X P O)に本県から初めて出展（10月末～11月初） ・「鉢物品評会・2008 鉢花・蘭の部」にて、宮崎市の中原勇二氏のコチョウラン「サクラコ」が品評会大賞を受賞（11月） ・「九州輪ギクサミットみやざき」を本県で開催し、九州沖縄の輪ギク生産者が参加（11月）
// 21	<ul style="list-style-type: none"> ・知事トップセールスを大阪鶴見花き卸売市場で実施（1月） ・県育成のスイートピー品種「式部」が国際園芸見本市「I P Mエッセン 2009」の切花部門で最優秀賞を受賞（2月） ・「今だ！ラナンキュラス日本一産地づくり事業」において、オリジナル品種を選定し、「サンキュラスシリーズ」として6品種を発表（3月） ・スイートピーの歴史をまとめた栽培史を発行（5月） ・福岡花市場において、知事のトップセールスや商談会を実施（11月） ・ジャパンフラワーセレクションにおいて総合農業試験場育成のスイートピー「式部」及びラナンキュラス「ガーネット」が入賞、「式部」はカラークリエイティブ賞も受賞 ・(有)綾園芸（草野修一氏）が日本フラワービジネス大賞を受賞（12月）
// 22	<ul style="list-style-type: none"> ・「みやざき花で彩る未来」推進協議会主催により生販連携交流会「みやざき花で彩る交流会 in 都城」を初めて開催（1月） ・「F & Gジャパンセレクション」において、来場者による人気投票の結果、総合農業試験場育成のスイートピー品種「美々」が切花部門で1位を獲得（3月） ・協同組合宮崎花市場開場50周年式典（10月）
// 23	<ul style="list-style-type: none"> ・霧島山新燃岳噴火・降灰：スイートピーなど花きにも被害発生（1～2月） ・「みやざき花の日」制定（2月） ・(株)日貿ファームが宮崎県での花き栽培参入ならびに県内花き生産グループとの連携を発表（6月） ・「全国花き品評会（洋ランの部）」にて、宮崎市の中原勇二氏のコチョウラン「エンジェルハート」が農林水産大臣賞を受賞（11月）

年次	沿革
平成24	<ul style="list-style-type: none"> ・ J A尾鈴のオリジナルスイートピー品種「ロイヤルホワイト」が国際園芸見本市「I PMエッセン 2012」の切花部門で最優秀賞を受賞（2月） ・ 「第22回フラワー&ガーデンショウ」において、総合農業試験場育成のスイートピー品種「紅式部」が人気投票で第1位、新花コンテスト第1位、園芸文化協会会長賞を獲得（4月） ・ オランダで開催された、10年に1度の国際博覧会（フロリアード2012）で（有）綾園芸（草野修一氏）のランタンキュラス「ラックスステセウス」が球根部門で3席を受賞、総合農業試験場育成のスイートピー品種「式部」、ランタンキュラス品種「ラズベリル」、「ローズクォーツ」が優秀品種賞（5、6月） ・ ジャパンフラワーセレクションで（有）綾園芸（草野修一氏）のランタンキュラス「ラックス・アリアドネ」がフラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）を受賞 また、県育成のスイートピー品種「紅式部」がベストフラワー（優秀賞）ならびにモニター特別賞（人気投票第1位）を受賞（12月）
// 25	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合農業試験場育成のデルフィニウム2品種（「レグルス」、「ポラリス」）の栽培が長野県でスタート（1月） ・ J Aはまゆうが輸出トライアルとして香港の花屋でスイートピーを販売（2月） ・ 延岡で開催されたTGC（東京ガールズコレクション）において宮崎の花をPR（3月） ・ 中部地域（宮崎市、国富町）でキイチゴの導入が始まり、11月から出荷開始 ・ 北海道で総合農業試験場育成のデルフィニウム2品種（「レグルス」、「ポラリス」）の作が開始される（6月） ・ 「みやざき花で彩る未来」推進協議会主催のグレードアップ研修会で、初の取組となる生販連携ワークショップを開催（11月） ・ 「鉢物品評会2013鉢花・蘭の部」において、宮崎市の桑畑新一氏のコチョウラン「フェアリーテイル」が品評会大賞を受賞（11月）
// 26	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の新規事業である国産花きイノベーション推進事業の公募が始まる（3月） ・ 社団法人園芸文化協会主催の新花コンテストで試験場育成品種のスイートピー「恋式部」が第1位を受賞（3月） ・ 第186回通常国会において、「花きの振興に関する法律」が議員立法により成立（H26.6.20） ・ 中部地域（宮崎市、国富町）に加え、西諸県地域を除く県内全域でキイチゴの栽培が開始される ・ 「鉢物品評会2014鉢花・蘭の部」において、宮崎市の桑畑新一氏のコチョウラン「アマビリス（ゲンシュ）」が品評会大賞を受賞（11月） ・ （有）綾園芸の草野修一氏が農林水産祭で内閣総理大臣賞を受賞（11月） ・ 「2014全国花き品評会洋らん部門」において、桑畑新一氏のコチョウラン「タイスコアンナ」が農林水産大臣賞を受賞 ・ 「花きの振興に関する法律」が施行（12月） ・ 「みやざき花で彩る未来」推進協議会が日本フラワー大賞2014のチャレンジ部門を受賞（12月） ・ （協）延岡生花市場経由によるJ A尾鈴及び門川町産スイートピーの香港向け輸出開始（12月）
// 27	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界的に著名なフラワーアーティスト ダニエル・オスト氏の展示会「世界一美しい花の芸術祭 宮崎」がシーガイアコンベンションセンター等で開催される（1～2月） ・ 「みやざき花の祭典2015」のサテライト会場が諸城市及び延岡市に設けられ、フラワーアレンジメント教室等を実施（2月） ・ 西諸県地域でもキイチゴ「ベビーハンズ」の栽培が開始され、県内全域での生産となる ・ 「花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針」が公表される（4月） ・ 第8回全国胡蝶蘭部門宮崎大会が宮崎市において開催される（10月）

年次	沿革
平成27	<ul style="list-style-type: none"> ・「みやざきコチョウラン」が花きで2番目のみやざきブランドに認証され、認定産地としてJA宮崎中央が認定される(10月) ・ジャパンフラワーセレクションで、(有)綾園芸のランタンキュラス「ラックス・ピュタロス」が、ガーデニング部門において日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2015(最優秀賞)を受賞(12月)
" 28	<ul style="list-style-type: none"> ・(協)延岡生花市場が韓国へスイートピーの輸出を開始(1月) ・国産花きイノベーション推進事業を活用して、ニューヨークで行われた「JAPAN FLOWER SHOW in NYC」にスイートピーを中心とした県産花きを出展し、関係者がPRを実施(2月) ・(有)スカイブルー・セト育成品種によるりんどうの県内試験栽培が東臼杵管内(諸塚村、椎葉村)及び西臼杵管内(高千穂町)の合計3か所で開始(5月) ・リレー出荷を目的とした秋田県のダリアオリジナル品種「NAMA HAGEシリーズ」の県内試験栽培を開始(7月) ・「みやざき花の祭典 SUMMER 2016」を宮崎市で開催し、夏季の花き展示やビクトリーブーケコンテスト等を実施(8月) ・スイートピーの生産安定対策の強化を図る目的で「スイートピー生産安定緊急プロジェクト会議」が設立される(8月) ・「重陽の節句」(9月9日)に合わせて、宮崎市中心部においてキク花束の配布を行い、県産キクの消費拡大に向けたPRを実施(9月) ・国内スイートピー産地4県(宮崎県、大分県、岡山県、愛知県)が主体として構成する「日本スイートピーの会」が発足(10月) ・北米花きバイヤーを招聘し、県内スイートピー及びランタンキュラス産地視察並びに輸出に関する意見交換会を開催(12月) ・1月21日を「スイートピーの日」記念日登録(12月)
" 29	<ul style="list-style-type: none"> ・「スイートピーの日」に合わせて、県内外の市場や小売店において、PR活動を実施(1月) ・国産花きイノベーション推進事業を活用して、北米及び欧州において県産花き輸出に関する現地調査を実施(1月及び2月) ・「九州輪ギクサミット宮崎大会」を宮崎市等で開催(2月) ・(株)澁谷農園との間で連携協定を締結(3月) ・「宮崎県花き振興計画」を策定(3月) ・県の組織改編により、農産園芸課花き担当が「花き・特産担当」となる(4月) ・総合農業試験場育成スイートピー品種「青式部」が、ジャパンフラワーセレクション2017-2018において、「フレグランス特別賞」を受賞(4月) ・「重陽の節句」に合わせて、県産キクを用いたアレンジメントを県知事に贈呈(9月) ・秋田県と本県との間で「NAMA HAGE ダリア」のリレー出荷を開始したことから、大田市場にて両県合同のPR活動を実施(11月)
" 30	<ul style="list-style-type: none"> ・香港において花市場調査を実施し、宮崎県から輸出しているスイートピーやランタンキュラス等の販売状況を調査(2月) ・JA宮崎中央洋ラン部会設立30周年大会が、宮崎観光ホテルにおいて開催(7月) ・「重陽の節句」に合わせて、長寿のお祝いとして、知事より県産キクを用いたアレンジメントを県内最高齢者に贈呈(9月) ・秋田県と本県との間で「NAMA HAGE ダリア」のリレー出荷を開始したことから、秋田及び宮崎県において現地視察研修を実施(11月) ・第56回技能五輪全国大会の「フラワー装飾」において、参加した県立農業大学校生が銅賞に入賞(11月) ・「ブルーフレグランス」が「フラワー・オブ・ザ・イヤー・OTA2018」新商品奨励賞を受賞(12月)

年次	沿革
平成31 令和元	<ul style="list-style-type: none"> ・九州生花商団体連合会大会と連携した「九州花フェア in 大分」へスイートピーやラナンキュラス、価格設定型花き品目を出展（1月） ・日本花き輸出協議会及びFAJと連携した、EU域内での県産花きの販路拡大にむけたプロモーションをフランスとドイツで実施（1～2月） ・北海道（JA北いしかり）で総合農業試験場育成デルフィニウム品種「ペガサス」の試作が開始（4月） ・「花き産地拡大に向けた推進プロジェクト」を開始（9月） ・「日本ダリア会」大輪ダリア切り花出荷20周年記念大会にて、NAMAHAGEダリアのリレー出荷について講演（9月） ・宮崎県花き生産者研修会が開催され、(株)大田花き 磯村社長、(株)ユー花園山田社長による基調講演を実施（10月） ・「みやざき花で彩る未来」推進協議会による新たな生産資源開発調査を国内外で実施（11月）
" 2	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、花きの需要が大きく減少、市場単価も大幅に低下し、緊急事態宣言解除まで非常に厳しい相場環境 ・花の消費拡大を図る「みやざき花いっぱいプロジェクト2020」を始動（3月） ・国庫「公共施設等における花き活用拡大支援事業」を活用し、空港や駅、自治体、ホテル等へ、県産コチョウランやフラワーオブジェを展示（7～3月） ・「2020全国洋らん品評会」において、宮崎市の中原常和氏のコチョウラン「ピンクスチール」が農林水産大臣賞を受賞（11月）
" 3	<ul style="list-style-type: none"> ・「スイートピーの日」に合わせ、全国14市場へスイートピーを展示しPR活動を実施（1月） ・機構改革により花き担当を廃止し、農産園芸課に施設園芸担当・露地園芸担当を設置（4月） ・東京2020オリンピック聖火リレー、本県での聖火到着会場（宮崎県庁）及び出発会場（こどものくに）に本県産花きを装飾しPR活動を実施（4月） ・「重陽の節句」にあわせて、本県産キクを用いたフラワーアレンジをキク生産者代表から知事へ贈呈するとともに、福祉保健部を通じて県内男女最高齢者へ贈呈（9月） ・宮崎県花き生産者研修会が開催され、(株)大田花き 宍戸純氏、(株)日比谷花壇 佐藤由太郎氏、総合農業試験場 村岡精二氏による基調講演等を実施（10月） ・キイチゴ「ベビーハンズ」の出荷量が年間100万本を達成（11月） ・スイートピー「ムジカクリーム」、「ムジカホワイト」を「ムジカシリーズ」の新品種として発表（12月）
" 4	<ul style="list-style-type: none"> ・「スイートピーの日」に合わせ、全国17市場へスイートピーを展示しPR活動を実施（1月） ・「宮崎県花き振興計画（第2期計画）」を策定（3月） ・「重陽の節句」にあわせて、本県産キクのアレンジを知事及び県内男女最高齢者へ贈呈（9月） ・台風14号の暴風雨により、施設の冠水や花木類の枝折れ等の被害が発生（9月） ・宮崎県花き生産者研修会が開催され、(株)大田花き 浅沼建夫氏による基調講演等を実施（10月） ・日南市の歌津芳秋氏が秋の褒章（黄綬褒章…業務に精励し衆民の模範である者に賜与）を受章（11月） ・キイチゴ「ベビーハンズ」の出荷量が年間100万本を2年連続達成（11月） ・九州花き振興協議会シンポジウムが本県にて開催（11月）
" 5	<ul style="list-style-type: none"> ・「スイートピーの日」に合わせ、宮崎空港にてスイートピーの花束配布などPR活動を実施（1月） ・「みやざき花の祭典2023」を3年ぶりにイオンモール宮崎にて開催。（2月）

年次	沿革
令和 5	<ul style="list-style-type: none"> ・「重陽の節句（9/9）」にあわせて、本県産キクを用いたフラワーアレンジをキク生産者代表から知事へ贈呈するとともに、福祉保健部を通じて県内男女最高齢者へ贈呈（9月） ・宮崎県花き生産者研修会が開催され、（株）大田花き花の生活研究所の内藤育子氏による基調講演を実施（10月） ・宮崎県人会世界大会の開催にあわせて、会場に本県産キクを用いたアレンジメントを展示（10月） ・ランキュラス県先行販売品種第2弾（モロッコ系統：ひなたモロッコシリーズ）、ラックス系統：ひむかラックスシリーズ）の名称決定（11月）
" 6	<ul style="list-style-type: none"> ・試験場育成のスイートピー「恋かすみ」、「藤かすみ」、「詩かすみ」、「さくやひめ」、「ムジカ式部」を新品種として知事定例記者会見にて発表（1月） ・「みやざき花で彩る」県産花き展示会をイオンモール宮崎にて開催（2月） ・「重陽の節句（9/9）」にあわせて、本県産キクを用いたフラワーアレンジをキク生産者代表から知事へ贈呈するとともに、福祉保健部を通じて県内男女最高齢者へ贈呈（9月）
" 7	<ul style="list-style-type: none"> ・「重陽の節句（9/9）」にあわせて、本県産キクを用いたフラワーアレンジをキク生産者代表から知事へ贈呈するとともに、福祉保健部を通じて県内男女最高齢者へ贈呈（9月） ・宮崎県花き生産者研修会が開催され、（株）なにわ花いちば 牛久保茂氏及び（株）ヌポー生花店 山崎年起氏の基調講演等を実施（10月） ・「みやざき花の祭典2026」をイオンモール宮崎にて開催（1、2月） ・「花き展示品評会」を6年ぶりに開催するとともに、「みやざき花の祭典2026」において展示会を実施（1、2月）

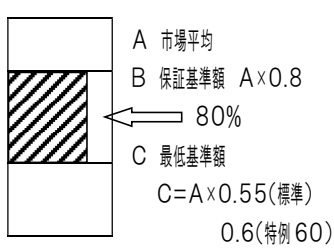
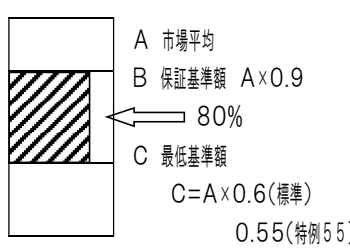
Ⅵ 資料

1 野菜価格安定対策（令和7年度）

（1）制度の仕組み

① 国の制度

制度の種類		指定野菜価格安定対策事業	特別補給交付金
価格補填の財源	国	60%	60%
	県	20%	20%
	市町村	—	—
	農協本店	—	—
	地区本部	—	—
生産者	20%	20%	
		※過去の交付率を基に定められた負担率造成を行う	
実施主体		独立行政法人 農畜産業振興機構	
産地指定の条件	面積要件	施設果菜類 8ha 以上（複合産地 6ha 以上） 露地果菜類 12ha 以上（複合産地 10ha 以上） 露地葉茎類 20ha 以上（複合産地 16ha 以上）	/
	共同販売量	2 / 3 以上	
対象野菜	（下線表示は本県対象）	<p>（指定野菜）</p> <p>キャベツ、<u>きゅうり</u>、<u>トマト</u>（ミニトマトを含む）、<u>なす</u>、だいこん、<u>ばれいしょ</u>、<u>たまねぎ</u>、にんじん、<u>ねぎ</u>、<u>はくさい</u>、<u>ピーマン</u>、<u>ほうれんそう</u>、<u>レタス</u>、<u>さといも</u></p> <p style="text-align: right;">（計 14 品目 本県対象品目 5 品目）</p> <p>* 令和 8 年度より「ブロッコリー」が指定野菜に追加</p>	
交付対象条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ JA みやざきへの委託生産者 ・ 一定規模面積作付生産者等 概ね 2.0ha 以上 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定野菜価格安定対策事業の参加者 ・ 供給計画の±10%未満での出荷を達成 ・ 業務区分（対象野菜、対象市場群、対象出荷期間ごと）に交付
補填率	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>産地区分Ⅰ</p> <p>A 市場平均 B 保証基準額 $A \times 0.9$ C 最低基準額 $C = A \times 0.6$ (標準) 0.55 (特例55)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>産地区分Ⅱ</p> <p>A B C</p> <p>80%</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>産地区分Ⅲ</p> <p>A B C</p> <p>70%</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>Ⅲ(70%) Ⅱ(80%) Ⅰ(90%)</p> <p>A 市場平均 B 保証基準額 C 最低基準額</p> <p>10%</p> <p>産地区分に関係なく 10% を上乗せ補てん</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>交付金等単価 = (保証基準額 - 平均販売価額) × 補てん率</p> </div>		

制度の種類		特定野菜等供給産地育成価格差補給事業	
		特定野菜供給産地育成価格差補給事業	指定野菜供給産地育成価格差補給事業
価格補填の財源	国	1 / 3 (1 / 2 [※])	1 / 2
	県	1 / 3 (1 / 4 [※])	1 / 4
	市町村	—	—
	農協本店	1 / 1 2	1 / 1 2
	地区本部	1 / 1 2	1 / 1 2
	生産者	1 / 6 (1 / 1 2 [※])	1 / 1 2
		※重要特定野菜の場合。	
実施主体		公益社団法人 宮崎県青果物協会	
産地指定の条件	面積要件	5 ha 以上	葉菜類・根菜類 10ha 以上 果菜類 5ha 以上
	共同販売量	2 / 3 以上	1 / 2 以上
	立地条件	/	
対象野菜	<p>(特定野菜)</p> <p>アスパラガス[※]、いちご、えだまめ、かぶ、かぼちゃ[※]、カリフラワー、かんしょ、グリーンピース、<u>ごぼう</u>、こまつな、さやいんげん、さやえんどう、しゅんぎく、しょうが、すいか、<u>スイートコーン</u>[※]、セルリー、そらまめ、ちんげんさい、生しいたけ、<u>にら</u>、にんにく、ふき、ブロッコリー[※]、みつば、メロン(温室を除く)、やまのいも、れんこん、<u>にがうり</u>、オクラ、らっきょう、わけぎ、ししとうがらし、みずな、みょうが</p> <p>(※重要特定野菜)</p> <p>(計 35 品目 本県対象品目：7 品目)</p>	<p>(指定野菜)</p> <p>キャベツ、<u>きゅうり</u>、トマト (ミニトマトを含む)、<u>なす</u>、だいこん、<u>ばれいしょ</u>、たまねぎ、<u>にんじん</u>、<u>ねぎ</u>、はくさい、<u>ピーマン</u>、<u>ほうれんそう</u>、レタス、さといも</p> <p>(計 14 品目 本県対象品目：5 品目)</p>	
交付対象条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ JA みやざきへの委託生産者 ・ 一定規模面積作付生産者等 概ね 1.5ha 以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ JA みやざきへの委託生産者 ・ 一定規模面積作付生産者等 概ね 2.0ha 以上 	
補填率	 <p>A 市場平均 B 保証基準額 $A \times 0.8$ C 最低基準額 $C = A \times 0.55$(標準) 0.6(特例 60)</p>	 <p>A 市場平均 B 保証基準額 $A \times 0.9$ C 最低基準額 $C = A \times 0.6$(標準) 0.55(特例 55)</p>	

制度の種類		契約野菜安定供給事業		契約野菜収入確保モデル事業
		指定野菜	特定野菜	指定野菜
価格 填 の 財 源	国	1 / 2	1 / 3	1 / 2
	県	1 / 4 (1 / 10*)	1 / 3	—
	市町村	—	—	—
	農協本店	—	—	—
	地区本部	—	—	—
	生産者	1 / 4 (4 / 10*)	1 / 3	1 / 2
		*6次産業化法の認定を受けた場合		
実施主体		独立行政法人 農畜産業振興機構	公益社団法人 宮崎県青果物協会	独立行政法人 農畜産業振興機構
産地 指 定 の 条 件	面積要件	指定野菜価格安定対策事業に準ずる。	特定野菜等供給産地育成価格差補給事業に準ずる。	—
	立地条件	/		
対 象 野 菜	指定野菜価格安定対策事業に取り組んでいる野菜で、一定期間継続の取引契約を対象。 数量確保タイプは、国の6次産業化法の認定（リレー出荷に係る契約）を受けた場合も対象。	特定野菜等供給産地育成価格差補給事業に取り組んでいる野菜で、一定期間継続の取引契約を対象。	(指定野菜) (計14品目)	
交 付 対 象 条 件	JAみやざき、一定規模面積以上の作付けを行っている農家、法人及び協業経営体 概ね2.0ha以上	JAみやざき、一定規模面積以上の作付けを行っている農家、法人及び協業経営体 特定野菜：概ね1.5ha以上 指定野菜：概ね2.0ha以上	1.出荷調整タイプ 事業実施主体 [出荷団体・生産者] 契約数量確保のための余剰作付けを行い、価格低落時に出荷調整した場合に収入の一部を補てん	
補 填 率	<p>①価格低落タイプ 市場価格連動契約における価格低落時の補てん</p> <p>②出荷調整タイプ 産地における出荷調整等に係る補てん</p> <p>③数量確保タイプ 定量供給契約に関わる補てん</p>		2.数量確保タイプ 事業実施主体 [中間事業者] 契約数量確保のため市場等から契約対象野菜を調達した場合に費用の一部を補てん	

② 県の制度

制度の種類		みやざき特産野菜価格安定対策事業		野菜産地経営安定強化支援事業
		一般産地育成事業	中山間産地育成事業	
価格補填の財源	県	1/3	1/2	1/3
	市町村	1/6	1/4	1/6 (0)
	農協本店	1/12	1/12	1/6
	地区本部	1/12	1/12	1/6
	生産者	1/3	1/12	1/6 (1/3)
		※過去の交付率を基に定められた負担率造成を行う		
実施主体		公益社団法人 宮崎県青果物協会		
産地指定の条件	面積要件	県の振興方針に沿った野菜で、国の制度の要件を満たさない産地、品目。 1 ha 以上(根菜類 3 ha 以上)	中山間地域において、国の制度要件を満たさない産地、品目。 1 ha 以上(根菜類 3 ha 以上)	指定野菜価格安定対策事業、特定野菜等供給産地育成価格差補給事業、みやざき特産野菜価格安定対策事業に準ずる。
	共同販売量	2/3 以上	1/2 以上	各種事業に準ずる。
	立地条件		特定農山村法、山村振興法、過疎法、半島振興法、又は離島振興法のいずれかによる指定を受け、かつ林野率がおおむね50%以上の地域。	生産コストの低減、高付加価値農産物の生産や契約取引の推進など、産地の総合的な経営安定対策の取組を行う産地。
対象野菜	県の振興対策等に基づき振興を図る野菜		指定野菜価格安定対策事業、特定野菜等供給産地育成価格差補給事業、みやざき特産野菜価格安定対策事業を実施している産地で生産される品目 ※指定野菜価格安定対策事業については、国の特別補給交付金に取組まない産地	
補填率	<p>A 市場平均 B 保証基準額 $A \times 0.9$ C 最低基準額 $A \times 0.6$ (標準)</p>		<p>既存の国や県の価格安定制度に補てん率を10%上乘せする。</p> <p>A 市場平均 B 保証基準額 C 最低基準額</p>	

(2) 指定野菜産地別概要 (8種別 23産地)

指定産地の種別	指定産地名	市町村	JAみやざき地区本部	産地の特徴
夏秋きゅうり (4産地)	宮崎	宮崎市 国富町 綾町	宮崎中央 綾町	【作型】普通(4月~8月)、露地抑制(7月~11月) 【品種】おおのぞみ、豊美2号、Vアーチ、ZRサマーレディ、勇翔、MTフェニックス、まりん、結実、実多 【特徴】○JA宮崎中央は平成23年10月から総合選果場にて一元出荷体制を行っている。 ○早期水稻の後作が多い産地である。
	高千穂	高千穂町 日之影町 五ヶ瀬町	高千穂	【作型】普通(4月~9月、6月~11月) 【品種】ビュースター、おおのぞみ、豊美2号 【特徴】○田口野菜出荷場 きゅうり選果場(1380㎡ 平成6年度 水田営農活性化条件整備事業)を活用。 ○九州地区主体の販売であり、契約取引をすすめるなど農家経営の安定を図る。 ○夏場冷涼な中山間地域の特性を活かし、主幹作物として新鮮なきゅうり生産に取り組んでいる。
	北諸県	都城市 三股町	都城	【作型】早熟(4月~8月)、普通(7月~11月) 【品種】おおのぞみ、豊美2号、グリーンスカイ、はやか、カレラ、結実 【特徴】○昭和51年に露地栽培が始まり、昭和59年以降雨よけハウスの導入等により産地拡大が図られた。 ○エコファーマー認証取得を推奨し、消費者ニーズに応じた安全安心なきゅうり生産に取り組んでいる。
	西諸県	小林市 えびの市 高原町	こばやし えびの市	【作型】普通(5月~11月) 【品種】Vアーチ、豊美1号、豊美2号、おおのぞみ、ニーナ 【特徴】○露地栽培が中心であるが、えびの市を中心に雨よけ栽培も行っている。 ○雨よけ栽培による品質向上及び収穫期間の延長を図っている。
冬春きゅうり (6産地)	宮崎	宮崎市 国富町 綾町	宮崎中央 綾町	【作型】促成(9月~6月)、半促成(11月~6月)、抑制(8~12月)、早熟(2~6月) 【品種】促成：輝世紀、千秀2号、エクセレント620、ニーナZ、勇翔、常翔、耐病光華、MTフェニックス、まいしん 半促成：輝世紀、千秀2号、ニーナ、はやか、勇翔、カレラ、MTフェニックス、まいしん 抑制：実多、カレラ、エクセレント620、輝世紀、千秀2号、まりん 早熟：はやか、耐病光華、MTフェニックス、エクセレント620、カレラ、実多 【特徴】○農業構造改善事業、野菜生産出荷近代化事業、稲作転換促進事業等により集出荷施設を整備。 ○JA宮崎中央は平成23年10月から総合選果場にて一元出荷体制を行っている。 ○本県園芸の発祥の地であり、技術水準も高い。
	西都	西都市	西都	【作型】抑制(8月~12月)、促成(9月~3月)、半促成(11月~6月)、早熟(1月~6月) 【品種】Vアーチ、エクセレント620、MTフェニックス、常翔661、兼備 【特徴】○宮の下きゅうり集出荷共選場(1600㎡ 平成元年度 水田農業確立条件整備事業)を主体に出荷。 ○温暖な気候と冬場の日照時間の豊かさを活用した作型である。
	串間	日南市 串間市	はまゆう	【作型】促成(9月~3月、9月~6月) 【品種】輝世紀、千秀2号、MTフェニックス、エクセレント620、ニーナZ 【特徴】○串間選果場(昭和45年度 農業構造改善事業)で集出荷を行っており、選果機械の整備も行っている。 (平成20年度強い農業づくり交付金) ○日南・南郷地区は主に摘心栽培、串間地区はほとんどつる下ろし栽培である。
	尾鈴	川南町 都農町	尾鈴	【作型】促成(9月~5月)、摘心・つる下ろし栽培 【品種】輝世紀、常翔661、フェニックス、S-278 【特徴】○JA尾鈴野菜集出荷場にて集出荷を行い、近畿を中心に、その他関東、九州に出荷している。 ○減農薬栽培へ取り組むなど、より一層の品質向上に努めている。

指定産地の種別	指定産地名	市町村	JAみやざき地区本部	産地の特徴
冬春きゅうり (6産地)	日向	日向市 門川町 美郷町	日向	<p>【作型】抑制(9月~2月)、促成(9月~6月)、半促成(1月~6月)</p> <p>【品種】677、常翔661、MTフェニックス</p> <p>【特徴】○東郷・南郷・北郷各選果場、門川選果場(1002㎡ 昭和55年度 野菜集団産地整備事業)、美々津選果場(1093㎡ 昭和47年度 第2次農業構造改善事業)にて集出荷している。</p> <p>○平成20年度より日向市内生産者は、減農薬栽培に取組み、JA尾鈴の選果場へ出荷し、選果・販売を行っている。</p> <p>○つる下ろし栽培による長期1作型の増加、作型の組合せとして「にがうり」導入が見られる。</p>
	北諸県	都城市 三股町	都城	<p>【作型】促成(11月~6月)</p> <p>【品種】S-30、瑞帆、MTフェニックス、常翔661、勇翔</p> <p>【特徴】○夏秋きゅうりと組み合わせた周年出荷体制をとっている。</p> <p>○きゅうり選果場を整備し、集出荷施設の改善も行っている。</p> <p>○エコファーマー認証取得を推奨し、消費者ニーズに応じた安全安心なきゅうり生産に取り組んでいる。</p>
夏秋トマト (1産地)	高千穂	高千穂町 日之影町 五ヶ瀬町	高千穂	<p>【作型】雨よけ(3月~11月)</p> <p>【品種】丸トマト：りんか409、ひなた ミニトマト：キャロルパッション、ベにすずめ</p> <p>【特徴】○田田野野菜出荷場 トマト選果場(14495㎡ 平成5年度 高品質生産流通合理化促進対策事業)を活用。</p> <p>○平成14年度に輸入急増農産物対応特別対策事業で非破壊糖度検査機・選果機の導入を図った。</p> <p>○夏場冷涼な中山間地域の特性を活かし、主幹作物として新鮮なトマト生産に取り組んでいる。</p> <p>○契約取引による農家経営安定に向けた取り組みを実施している。</p>
冬春トマト (4産地)	宮崎	宮崎市	宮崎中央	<p>【作型】促成(8月~6月)、半促成(12月~7月)</p> <p>【品種】丸トマト：みそら64、麗容、りんか409、803 ミニトマト：小鈴シリーズ、サンチェリーピュア、C-25</p> <p>【特徴】○ミニトマトは一元集出荷を実施、丸トマトは各支店毎に集出荷を実施している。</p> <p>○促成栽培が主体だが、佐土原町は、きゅうりの後作として半促成栽培も導入されている。</p>
	児湯	高鍋町 新富町 木城町	児湯	<p>【作型】促成(8月~6月)</p> <p>【品種】丸トマト：桃太郎ピース、桃太郎ホープ、ホープ、麗句 ミニトマト：CF小鈴、小鈴エル、トレモロ</p> <p>【特徴】○新富集送センター(1797㎡ 平成4年度 先進的農業生産総合推進対策事業)から、出荷している。</p> <p>○セル苗利用による作型の前進化や誘引法の改良による収量増が図られている。</p> <p>○現地研修会等により生産者の更なるレベルアップを図っている。</p> <p>○カラーソーター式トマト選果機(平成13年度 農業生産総合対策事業)</p>
	尾鈴	川南町 都農町	尾鈴	<p>【作型】促成(8月~6月)</p> <p>【品種】丸トマト：麗妃、ソプラノ、マイロック ミニトマト：小鈴エル、アイコ、サマー千果</p> <p>【特徴】○JA尾鈴野菜集出荷場にて集出荷を行っている。</p> <p>○マルハナバチ利用や減農薬・減化学栽培へ取り組むなど、より一層の品質向上に努めている。</p>
	日向	日向市 門川町 美郷町	日向	<p>【作型】促成(8月~6月)</p> <p>【品種】丸トマト：桃太郎ヨーク ミニトマト：キャロルパッション、サマー千果、サンチェリーピュア</p> <p>【特徴】○東郷・西郷各選果場、門川選果場(1002㎡ 昭和55年度 野菜集団産地整備事業)、美々津選果場(1093㎡ 昭和47年度 第2次農業構造改善事業)にて集出荷を行ってきたが、平成20年度に門川選果場で選果機等の整備を行い(農村漁村活性化プロジェクト支援交付金)管内全ての選果・選別等の一元化を図り、集出荷を行っている。</p> <p>○栽培面積の75%がミニトマトである。</p> <p>○農水省のガイドラインに基づく減農薬栽培(情熱みやざき農産物表示認証)を受けている。</p> <p>○減農薬栽培の生産者はすべてエコファーマーの認定を受けている。</p>
夏秋ピーマン (1産地)	西諸県	小林市 えびの市 高原町	こばやし えびの市	<p>【作型】雨よけ(1月~12月)</p> <p>【品種】京まつり、京ゆたか、京鈴</p> <p>【特徴】○集出荷場には予冷庫や選果機が導入され、体制整備がすすんでいる。</p> <p>○多様な作型により、冬春作とあわせ、ほぼ周年的に生産・出荷が可能となっている。</p>

指定産地の種別	指定産地名	市町村	JAみやざき地区本部	産地の特徴
冬春ピーマン (5産地)	宮崎	宮崎市 国富町	宮崎中央	【作型】促成(8月～6月) 【品種】京鈴、京ゆたか、宮崎グリーン、かがやき 【特徴】○平成23年10月から総合選果場にて一元出荷体制を行っている。 ○県下共同計算のもとに、品質の高位平準化を図っている。
	西都	西都市	西都	【作型】促成(8月～6月) 【品種】宮崎グリーン、京鈴 【特徴】○小袋、箱詰め自動化施設を活用し、第1集出荷場(1737㎡昭和57年度野菜生産出荷近代化事業)、第2集出荷場(1876㎡昭和48年度野菜生産出荷近代化事業)から、出荷。 ○温暖な気候と冬場の日照時間の豊かさを活用した産地であり、栽培技術水準も高い。
	児湯	高鍋町 新富町 木城町	児湯	【作型】促成(8月～6月) 【品種】京鈴、京まつり、宮崎グリーン 【特徴】○集送センター(3335㎡昭和46年度広域営農団地整備事業)、自動計量包装機(8台昭和49年度構造改善事業)、集送センター(増築1360㎡平成4年度先進的農業生産総合推進対策事業)、予冷库(差圧式・強制通風式4基平成4年度先進的農業生産総合推進対策事業)、保冷库(差圧式・強制通風式1基平成4年度先進的農業生産総合推進対策事業)を整備している。 ○昭和43年から栽培が始まった古くからの産地である。技術水準・収収も県内トップクラスである。
	南那珂	日南市 串間市	はまゆう	【作型】促成(8月～6月) 【品種】みやざきグリーン、京鈴 【特徴】○串間選果場(昭和45年度農業構造改善事業)、日南選果場(昭和38年度農業構造改善事業)から、出荷されている。 ○栽培者全員がエコファーマーの認定を受けるとともに併せてほとんどの生産者が、情熱みやざき農産物表示認証(減農薬栽培)を受け、消費者ニーズに応じた安全安心なピーマン生産に取り組んでいる。
	西諸県東部	小林市 高原町	こばやし	【作型】ハウス抑制(6月～12月) 【品種】京まつり、京ゆたか、京鈴 【特徴】○メロンの後作としての作型である。
秋冬さといも (1産地)	西諸県東部	小林市 高原町	こばやし	【作型】早生(1月～9月)、中晩生(4月～11月・・・3月) 【品種】石川早生丸、大和、女早生、赤芽大吉、六月紅、土垂 【特徴】○各種事業により集出荷施設を整備し活用している。 ○野菜の輪作体系の主要品目として作型・品種の組合せにより周年出荷体系が確立している。
冬春なす (1産地)	宮崎	旧宮崎市 旧清武町	宮崎中央	【作型】半促成(11月～7月) 【品種】筑陽、PC筑陽 【特徴】○各支店毎に集出荷を実施している。 ○きゅうりの後作として導入されている。

(3) 野菜指定産地の生産出荷実績

品目	産地名	令和4年				令和5年				令和6年			
		面積	10a当り収量	生産量	出荷量	面積	10a当り収量	生産量	出荷量	面積	10a当り収量	生産量	出荷量
夏秋きゅうり	宮崎	19	3,647	693	662	24	4,138	993	946	19	4,089	777	742
	西都	8	2,588	207	188	-	-	-	-	-	-	-	-
	高千穂	12	6,792	815	746	11	6,400	704	645	10	6,660	666	611
	北諸県	8	4,463	357	328	7	3,414	239	220	7	3,186	223	205
	西諸県	10	3,540	354	328	10	3,110	311	288	10	2,810	281	260
	計	57	4,256	2,426	2,252	52	4,321	2,247	2,099	46	4,233	1,947	1,818
冬春きゅうり	宮崎	337	12,816	43,190	41,064	328	13,201	43,300	41,176	322	12,739	41,020	39,020
	西都	57	7,316	4,170	3,542	40	6,850	2,740	2,332	37	6,730	2,490	2,120
	串間	18	14,800	2,664	2,527	18	13,561	2,441	2,318	18	14,856	2,674	2,539
	尾鈴	8	11,200	896	846	8	10,850	868	820	8	8,875	710	671
	日向	6	7,483	449	394	6	5,650	339	295	6	5,450	327	285
	北諸県	24	17,079	4,099	3,906	24	15,538	3,729	3,549	24	14,742	3,538	3,372
計	450	12,326	55,468	52,279	424	12,598	53,417	50,490	415	12,231	50,759	48,007	
さと秋冬 いも	西諸県東部	85	1,212	1,030	882	80	1,186	949	813	82	1,613	1,323	1,122
ト夏秋 マト	高千穂	16	5,825	932	878	15	5,147	772	728	15	5,127	769	724
冬春 トマト	宮崎	62	9,597	5,950	5,546	57	10,088	5,750	5,359	56	10,143	5,680	5,295
	児湯	14	10,036	1,405	1,289	12	8,267	992	908	11	8,282	911	835
	尾鈴	49	9,612	4,710	4,516	45	10,489	4,720	4,495	45	9,244	4,160	3,976
	日向	20	8,630	1,726	1,606	19	8,263	1,570	1,459	19	8,653	1,644	1,530
	計	145	9,511	13,791	12,957	133	9,798	13,032	12,221	131	9,462	12,395	11,636
な冬 す春	宮崎	18	6,389	1,150	1,086	22	6,636	1,460	1,358	24	7,792	1,870	1,735
ピー夏 マン	西諸県	14	4,836	677	614	14	4,479	627	570	12	4,583	550	502
冬春 ピーマン	宮崎	54	11,463	6,190	5,881	52	10,519	5,470	5,198	50	10,420	5,210	4,954
	西都	91	10,725	9,760	9,173	81	10,679	8,650	8,213	77	11,468	8,830	8,391
	児湯	34	13,206	4,490	4,259	35	11,637	4,073	3,865	36	11,444	4,120	3,912
	南那珂	20	12,800	2,560	2,432	19	13,316	2,530	2,408	19	11,795	2,241	2,131
	西諸県東部	9	11,822	1,064	1,011	8	12,263	981	932	8	9,738	779	740
	計	208	11,569	24,064	22,756	195	11,130	21,704	20,616	190	11,147	21,180	20,128

2 園芸共進会の受賞者一覧

(1) 令和7年度野菜共進会受賞者

① 個人の部

部	等級	品目	市町村名	氏名
個人	優等	ブロッコリー	小林市	有水 誠
	1等	きゅうり	都農町	黒木 洋輝
		きゅうり	都城市	山中 幸博
		いちご	都城市	内山 英一
		ピーマン	五ヶ瀬町	デラペニャ 智登世

② 法人・集団の部

部	等級	品目	市町村名	氏名
法人	優秀賞	レタス	門川町	ひむか野菜光房
集団	優良賞	なす	宮崎市	佐土原ナス研究会

(2) 令和7年度果樹共進会受賞者

① 経営部門

部	等級	品目	市町村名	氏名
個人	優等	マンゴー	日南市	阿部 徳一
	1等	マンゴー	宮崎市	黒木 俊貴

② 産地づくり部門

部	等級	品目	市町村名	氏名
集団	優等	マンゴー	小林市	JAみやざきこばやしマンゴー部会
個人	1等	きんかん	高千穂町	工藤 慎一郎
	2等	へべす	門川町	川崎 泰富

(3) 令和7年度花き共進会受賞者

① 経営部門

部	等級	品目	市町村名	氏名
個人	優等	シキミ	延岡市	小野 敬通
	1等	デルフィニウム	宮崎市	新村 安健

② 産地づくり部門

部	等級	品目	市町村名	氏名
個人	1等	ラナンキュラス	日之影町	今村 浩二三

3 輸入の状況

(1) 品目別輸入数量

① 野菜

単位：トン

	2016年 (28年)	2017年 (29年)	2018年 (30年)	2019年 (31/令和元年)	2020年 (2年)	2021年 (3年)	2022年 (4年)	2023年 (5年)	2024年 (6年)	2025年 (7年)
生鮮野菜 計	830,602	862,085	846,201	822,040	714,097	707,665	702,147	647,464	701,093	862,085
トマト	7,383	7,690	3,886	9,378	8,743	8,389	6,255	5,495	4,104	3,886
たまねぎ	279,021	291,054	304,230	280,126	219,961	234,585	280,478	241,097	268,665	304,230
シャロット	478	459	1,470	514	491	660	771	918	1,180	1,470
にんにく	20,597	20,917	25,336	22,319	22,832	24,483	24,049	23,796	24,238	25,336
リーキその他ねぎ属	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
ねぎ	55,519	60,076	67,405	62,326	52,769	44,429	45,664	57,235	59,451	67,405
リーキ、わけぎ等	3,310	3,157	2,191	2,934	2,730	2,547	2,297	2,314	2,123	2,191
カリフラワー	21	2	4	1	—	—	—	—	—	4
芽キャベツ	155	118	132	200	142	106	64	108	133	132
ブロッコリー	26,010	13,345	1,872	9,813	7,066	5,799	—	—	—	1,872
キャベツ等あぶらな属	26,017	40,887	88,511	37,773	37,995	15,585	10,655	12,309	23,838	88,511
結球レタス	14,203	12,170	6,043	9,154	7,941	6,033	5,000	4,908	4,410	6,043
その他レタス	601	776	64	19,272	73	79	1	13	22	64
チコリー	456	375	1,295	326	242	482	482	745	1,204	1,295
エンダイブ等	3,389	3,248	631	3,013	2,269	1,982	2,025	1,688	761	631
にんじん及びかぶ	92,431	87,950	108,105	82,922	84,449	74,726	69,729	89,121	92,342	108,105
ごぼう	49,046	48,486	42,159	44,575	40,504	47,019	40,900	40,492	41,315	42,159
その他根菜類	3,856	3,685	6,168	5,830	3,709	2,576	4,084	2,692	3,816	6,168
きゅうり及びガーキン	16	7	4	37	38	15	20	17	4	4
えんどう	910	697	455	957	870	850	482	445	421	455
ささげ、いんげん等	1,273	1,291	64	1,305	890	568	562	693	494	64
その他の豆(えだまめ等)	432	585	72	415	367	275	187	164	80	72
アーティチョーク	9	10	4	7	2	1	3	3	4	4
アスパラガス	10,802	10,082	5,142	9,811	9,309	9,037	7,055	5,747	5,725	5,142
なす	41	32	0	74	46	19	2	—	—	0
セルリー	7,844	7,084	2,978	5,193	5,117	4,487	3,061	2,934	2,960	2,978
ピーマン等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
ジャンボピーマン	40,488	43,608	18,853	42,592	36,804	32,959	28,763	25,027	19,679	18,853
その他とうがらし属等	459	813	252	413	675	746	404	265	221	252
ほうれんそう等	26	—	—	—	—	—	—	—	—	0
スイートコーン	14	14	0	16	2	32	49	89	5	0
かぼちゃ	116,592	96,058	66,157	96,030	91,410	92,100	83,868	54,939	70,574	66,157
さといも	5,224	3,992	2,276	4,329	3,598	3,871	2,835	1,501	2,196	2,276
ながいも等	1,209	1,201	624	1,168	980	1,065	927	998	1,544	624
しょうが	21,961	20,276	18,997	20,520	18,756	18,477	17,940	13,226	15,127	18,997
メロン	28,594	25,905	10,535	21,641	17,183	13,902	11,574	11,336	10,685	10,535
すいか	286	168	792	125	670	1,068	677	523	794	792
いちご	2,992	3,176	2,330	3,189	3,318	3,253	3,101	3,194	2,840	2,330
その他の生鮮野菜	8,937	52,691	57,165	23,742	32,147	55,459	48,181	43,433	40,139	57,165

	2017年 (29年)	2018年 (30年)	2019年 (31/令和元年)	2020年 (2年)	2021年 (3年)	2022年 (4年)	2023年 (5年)	2024年 (6年)	2025年 (7年)
冷凍野菜 計	1,025,877	850,663	1,112,322	1,057,685	1,099,276	1,172,939	1,141,465	1,191,818	1,250,272
えんどう	12,987	10,453	12,416	10,861	11,708	10,743	10,873	10,594	10,453
いんげん豆等	25,582	22,152	23,959	22,916	22,886	22,767	22,060	22,475	22,152
えだまめ	75,714	62,506	77,569	71,122	64,250	65,716	65,937	64,831	62,506
その他の豆	6,822	7,427	6,898	7,393	8,029	6,165	5,407	6,477	7,427
ほうれんそう等	45,496	60,426	49,287	48,053	49,207	49,132	51,614	57,069	60,426
スイートコーン	53,917	49,977	52,775	48,933	48,672	52,885	46,443	50,142	49,977
混合冷凍野菜	23,944	24,681	23,487	24,386	24,346	23,491	22,596	23,855	24,681
さといも	31,191	26,557	31,900	30,137	31,588	31,482	26,558	25,982	26,557
ながいも等	694	887	563	433	483	655	654	770	887
ごぼう	8,735	8,176	9,001	7,833	7,934	8,093	8,082	8,327	8,176
ブロッコリー	48,753	95,278	59,059	58,619	65,070	75,257	70,970	79,632	95,278
いちご	27,054	31,653	31,241	30,920	32,606	32,363	28,265	30,500	31,653
その他の冷凍野菜	664,987	450,491	734,168	696,079	732,498	794,190	782,006	811,165	450,491
塩蔵野菜 計	86,383	56,717	79,894	69,779	66,107	72,271	69,452	61,585	61,557
きゅうり及びガーキン	19,235	12,701	16,059	16,756	16,464	16,984	15,898	13,147	12,701
こなす	1,020	676	883	904	774	781	753	769	676
わらび	1,644	1,024	1,802	1,279	1,301	1,598	1,515	1,111	1,024
しょうが	18,312	11,271	15,378	11,684	10,510	15,359	14,404	11,000	11,271
その他の塩蔵野菜	37,472	31,045	38,033	32,646	30,683	37,549	36,882	30,187	31,045
乾燥野菜 計	46,248	46,996	46,108	41,592	43,876	41,827	40,936	41,648	46,996
たまねぎ	7,204	7,348	6,944	6,991	7,108	7,815	6,769	7,237	7,348
たけのこ	1,928	1,895	2,047	1,793	1,835	1,920	1,991	1,935	1,895
ぜんまい	71	26	71	52	32	42	36	31	26
だいこん	3,566	4,611	3,509	3,235	3,073	3,101	3,240	3,618	4,611
かんぴょう	1,083	645	1,104	890	852	844	900	821	645
ベリー	22	15	33	15	23	23	17	17	15
その他の乾燥野菜	32,374	32,455	32,400	28,616	30,952	28,083	27,983	27,989	32,455
酢調整野菜 計	35,624	30,413	32,558	30,019	31,879	34,495	30,452	31,255	30,413
きゅうり及びガーキン	4,306	4,980	4,096	4,078	4,593	5,079	4,367	4,654	4,980
しょうが	17,828	16,694	17,848	16,370	16,375	17,234	16,466	16,677	16,694
その他の酢調整野菜	13,490	8,738	10,613	9,571	10,911	12,182	9,619	9,924	8,738
トマト加工品 計	257,364	262,629	262,906	282,304	264,200	273,312	252,638	272,400	262,629
トマトピューレ等関割	38,276	7,640	37,541	38,131	35,282	35,377	13,380	8,686	7,640
ピューレ等関割以外	100,771	126,064	97,139	106,032	100,606	99,543	119,692	133,656	126,064
トマトケチャップ	6,124	7,581	7,333	6,418	6,399	8,715	6,569	7,525	7,581
トマトソース	123	31	19	38	46	28	37	32	31
トマトジュース	3,060	4,338	4,426	4,901	4,856	4,414	2,970	4,572	4,338
混合野菜ジュース	2,479	5,150	8,800	8,489	8,824	8,983	6,910	5,822	5,150
その他のトマト加工品	106,530	111,825	107,648	118,295	108,188	116,251	103,078	112,107	111,825

	2017年 (29年)	2018年 (30年)	2019年 (31年)	2020年 (元年)	2021年 (3年)	2022年 (4年)	2023年 (5年)	2024年 (6年)	2025年 (7年)
その他の調整野菜 計	417,228	361,228	403,958	393,409	367,561	397,334	366,185	362,466	361,228
均質調整野菜	—	—	—	—	—	—	0.5	—	—
サワークラウト	739	400	789	591	425	462	519	358	400
さやえんどう	1	16	1	1	2	3	7	12	16
ささげ、いんげん等	43	29	28	63	21	45	27	32	29
アスパラガス	791	353	847	943	733	583	529	419	353
スイートコーン	61,865	54,145	61,031	58,033	56,845	56,185	56,426	54,364	54,145
たけのこ	72,847	52,945	66,426	60,237	63,235	64,851	54,991	53,879	52,945
ヤングコーンコブ	3,603	2,191	3,193	2,445	2,398	2,506	3,115	2,047	2,191
マッシュルーム	6,760	4,831	5,598	5,454	5,412	5,933	5,673	5,217	4,831
しょうが(小売容器)	1,553	3,169	2,163	2,063	2,221	2,469	2,702	2,889	3,169
しょうが(その他)	25,975	21,914	25,507	24,220	22,333	25,681	20,723	20,071	21,914
ジャム	5,435	3,519	4,625	4,781	5,596	4,602	4,201	3,637	3,519
調整いちご	3,792	4,667	4,502	4,929	4,552	4,386	4,983	5,464	4,667
野菜スープ	2,808	1,924	3,454	3,579	3,349	3,616	2,588	2,334	1,924
にんじん・野菜ジュース	—	—	—	—	—	—	—	—	—
にんじんジュース	37,976	22,293	30,532	33,507	31,237	32,395	27,389	27,056	22,293
野菜ジュース	3,841	2,713	2,977	2,802	3,248	3,322	2,737	2,918	2,713
その他の調整野菜	189,199	186,118	192,272	189,761	165,955	190,295	179,567	181,770	186,118
野菜合計	2,752,129	2,874,393	2,776,898	2,604,932	2,618,754	2,710,799	2,563,758	2,675,854	2,874,393

② 果樹

	2017年 (29年)	2018年 (30年)	2019年 (31/令和元年)	2020年 (2年)	2021年 (3年)	2022年 (4年)	2023年 (5年)	2024年 (6年)	2025年 (7年)
生鮮果実 計	1,349,203	1,399,838	1,451,650	1,451,650	1,553,128	1,450,442	1,406,401	1,414,355	1,468,723
バナナ(生鮮、プランティンを含む)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
プランティン(生鮮)	513	491	700	700	1,036	1,850	923	985	1,097
バナナ(生鮮)	985,196	1,002,358	1,044,686	1,044,686	1,108,331	1,053,095	1,032,510	1,040,738	1,058,697
いちじく	4	4	4	4	3	3	3	6	3
パイナップル	156,962	158,993	153,242	153,242	180,482	176,435	164,143	157,311	167,633
アボカド	60,635	74,096	77,287	77,287	76,694	50,574	61,654	47,870	54,743
マンゴー	6,556	7,534	7,327	7,327	8,885	7,612	6,634	5,570	5,882
グアバ、マンゴスチン	68	57	106	106	62	79	139	253	206
ぶどう	31,319	37,095	46,716	46,716	36,672	33,546	28,884	26,643	33,060
パパイヤ	933	1,004	1,006	1,006	1,062	1,002	1,055	842	1,019
りんご	4,257	3,759	4,868	4,868	8,284	5,294	4,643	8,060	13,245
なし、マルメロ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
梨	—	—	—	—	—	0	—	—	—
マルメロ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
あんず	—	—	—	—	—	—	—	—	—
さくらんぼ	5,248	3,266	4,109	4,109	5,828	2,369	3,734	4,754	4,908
桃(含むネクタリン)	165	282	186	186	332	338	246	266	292
ブラム、スロー	—	—	—	—	169	231	200	208	156
ラズベリー、ブラックベリー、桑の実、ロザンベリー	611	606	577	577	515	467	423	438	408
ブラックカラント、ホワイトカラント、レッドカラント等	14	17	12	12	9	12	9	5	5
クランベリー、ビルベリー、その他のワキキウム属	1,795	1,832	1,992	1,992	2,238	1,771	1,830	1,895	2,047
キウイフルーツ	92,981	106,082	106,500	106,500	118,221	112,267	96,222	115,529	122,172
柿(生鮮)	7	14	24	24	14	2	1	—	1
ラブーン、ハシヨフルーツ、レイシ、ゴレンシ	221	299	212	212	786	549	547	432	521
ドリアン	137	250	362	362	577	500	454	430	651
その他生鮮果実	1,580	1,799	1,735	1,735	2,928	2,444	2,147	2,118	1,975

	2017年 (29年)	2018年 (30年)	2019年 (31/令和元年)	2020年 (2年)	2021年 (3年)	2022年 (4年)	2023年 (5年)	2024年 (6年)	2025年 (7年)
冷凍果実 計	45,026	45,973	49,387	49,387	52,947	54,401	60,583	62,971	79,223
ラズベリー、ブラックベリー等	2,712	2,847	2,716	2,716	3,168	3,199	3,005	3,118	3,590
パイナップル	2,634	2,496	2,446	2,446	2,732	3,145	3,577	4,635	4,488
パパイヤ、ポポー、アボカド等	9,671	9,609	10,496	10,496	10,207	11,357	13,252	13,643	17,777
ベリー	14,994	15,534	16,105	16,105	17,469	19,401	23,737	23,337	33,697
サワーチェリー	22	18	23	23	20	20	18	12	14
桃、なし	3,381	3,908	4,622	4,622	4,906	4,023	4,141	4,255	4,108
カムカム	50	57	54	54	80	80	23	—	23
その他冷凍果実、ナット	11,562	11,505	12,924	12,924	14,365	13,178	12,830	13,971	15,526
乾燥果実 計	49,108	47,147	42,745	42,745	43,385	42,796	37,683	37,992	35,924
バナナ（乾燥、プランティンを含む）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
プランティン（乾燥）	1	0.2	—	—	—	3	0	—	—
バナナ（乾燥）	438	521	442	442	234	258	342	309	268
いちじく	1,671	1,537	1,598	1,598	1,964	1,963	1,995	1,940	1,646
パイナップル	29	47	28	28	36	54	37	61	70
アボガド	—	—	—	—	—	—	—	—	—
グアバ、マンゴー、マンゴスチン	66	101	102	102	94	139	94	119	156
ぶどう	38,103	35,456	31,956	31,956	31,574	30,962	26,978	27,471	24,908
あんず	690	726	650	650	701	696	639	666	666
ブルーベリー	5,667	6,265	5,585	5,585	6,372	6,240	5,290	5,149	5,707
りんご	211	244	349	349	224	263	214	155	185
パパイヤ、ポポー、ドリアン等	9	10	12	12	24	22	21	26	56
干しがき	1,067	760	807	807	697	508	510	451	487
サントル	—	—	—	—	—	—	—	—	—
混合乾燥果実	80	28	54	54	16	42	22	23	17
その他乾燥果実	1,075	1,453	1,164	1,164	1,450	1,646	1,540	1,621	1,758
酢調整果実 計	247	373	302	302	233	227	246	264	223
パパイヤ、ポポー、アボカド等	244	365	299	299	225	218	235	251	200
マンゴー、マンゴスチン	3	8	3	3	9	9	11	13	22
塩蔵等果実 計	17,466	15,843	17,787	17,787	12,946	13,466	13,206	14,671	15,857
さくらんぼ	62	62	62	62	34	48	59	36	69
バナナ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
オレンジ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
グレープフルーツ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
レモン及びライム	—	—	—	—	—	—	—	—	—
パパイヤ、ポポー、アボカド等	12	15	8	8	4	5	5	5	10
くり	268	209	180	180	145	230	75	64	50
かんきつ類	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他一時保存処理果実、ナット	17,124	15,557	17,538	17,538	12,764	13,182	13,067	14,566	15,729

	2017年 (29年)	2018年 (30年)	2019年 (31/令和元年)	2020年 (2年)	2021年 (3年)	2022年 (4年)	2023年 (5年)	2024年 (6年)	2025年 (7年)
生鮮・乾燥果実 計	238,929	223,726	222,189	222,189	194,602	167,304	160,952	163,490	177,490
オレンジ	90,593	81,593	88,213	88,213	81,460	70,487	69,039	75,397	84,409
マンダリン等みかん類	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マンダリン、タンジェリン、うんしゅうみかん	9,247	7,799	7,245	7,245	12,301	6,166	5,094	6,390	12,374
クレメンタイン	664	476	514	514	61	0	92	69	69
ウィルキング等のみかん類及びその交雑種	—	—	—	—	—	—	—	—	—
レモン、ライム	—	—	—	—	—	—	—	—	—
レモン	50,801	52,579	54,287	54,287	42,519	43,805	43,328	43,169	41,474
ライム	2,299	2,343	2,209	2,209	1,625	1,842	1,997	2,035	2,029
グレープフルーツ	78,069	72,386	63,906	63,906	51,342	40,291	36,442	32,538	33,672
アボガド	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他のかんきつ類	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ライム	7	7	0.1	0.1	0.5	—	—	—	—
その他のかんきつ類	84	59	84	84	165	54	9	7	4
くり	7,165	6,484	5,730	5,730	5,128	4,658	4,950	3,885	3,458
その他調製果実 計	285,697	279,815	272,133	272,133	286,626	290,188	263,583	273,973	289,881
パイナップル調製品	34,401	32,521	31,978	31,978	33,541	30,500	27,225	29,066	26,505
くり(気密容器、加糖)	2,554	2,335	2,399	2,399	2,592	2,924	3,059	3,001	2,933
マロングラッセ	125	120	109	109	27	29	14	6	26
うんしゅうみかん	—	—	—	—	—	—	—	—	—
あんず調製品	1,638	1,182	1,221	1,221	857	946	762	758	629
かんきつ類の果実	62,361	63,379	60,827	60,827	66,124	64,414	58,229	58,439	58,074
なし調製品	5,894	6,194	5,499	5,499	5,847	5,672	4,670	5,104	5,018
均質調製果実(加熱)	1	—	0.2	0.2	—	3.0	8	14	19
さくらんぼ調製品	1,947	1,938	1,809	1,809	1,266	1,366	1,597	1,551	1,480
桃調製品	47,266	45,989	42,915	42,915	43,795	43,533	38,664	38,511	40,446
ジャム(加糖、かんきつ類)	6	18	11	11	6	4	2	4	5
ジャム、フルーツゼリー等(かんきつ類以外)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フルーツゼリー(かんきつ類以外)	90	33	7	7	0.4	3	14.3	2	1
フルーツゼリー、マーマレード(加糖、かんきつ類)	2,872	2,826	2,122	2,122	2,336	2,025	1,839	1,595	1,566
パームハート	90	59	99	99	55	72	74	76	73
フルーツピューレ、フルーツペースト(かんきつ類)	3	—	—	—	3	2	4	6	4
フルーツピューレ、フルーツペースト(かんきつ類以外)	8,213	10,005	7,351	7,351	9,951	11,148	9,257	6,902	8,130
ミックスフルーツ、フルーツサラダ、フルーツカクテル	11,958	11,694	11,763	11,763	8,095	8,814	9,516	9,588	9,505
クランベリー調製品	2,160	2,233	1,808	1,808	2,235	2,176	1,275	1,991	2,190
混合果実	3,477	2,532	4,495	4,495	6,771	8,345	8,763	9,628	10,057
梅	5,196	5,607	6,055	6,055	5,759	5,316	7,266	9,240	12,500
バナナ、アボカド(パルプ状)	25	37	52	52	14	66	56	56	48
ベリー、ブルー(パルプ状以外、加糖)	1,426	1,558	1,270	1,270	976	1,143	930	1,032	1,075
バナナ、アボカド、マンゴ、グアバ等	23,081	20,711	19,731	19,731	18,777	21,445	17,153	21,267	24,232
果実、ナッツピューレペースト(かんきつ類、フルーツ以外)	14	15	2	2	0.3	0	0.8	0.2	0.6
トリアン、ラングータン、パシヨフルーツ、レイシ等	183	286	208	208	513	266	314	350	373
ブルー(無糖)	1,111	1,219	1,093	1,093	1,220	1,223	906	891	979
マンゴー、グアバ、マンゴスチン	70	36	323	323	36	72	—	—	—
調製果実	61,900	59,804	61,615	61,615	69,394	72,837	66,760	69,582	78,998
野菜、果実、ナッツ、果皮その他	7,636	7,486	7,371	7,371	6,435	5,842	5,225	5,314	4,996

	2017年 (29年)	2018年 (30年)	2019年 (31/令和元年)	2020年 (2年)	2021年 (3年)	2022年 (4年)	2023年 (5年)	2024年 (6年)	2025年 (7年)
果実ジュース 計	256,486	288,924	269,698	269,698	224,206	248,597	243,180	233,949	204,906
冷凍オレンジジュース	36,167	43,964	39,946	39,946	25,132	22,750	48,552	49,640	35,908
オレンジジュース	36,559	57,269	33,067	33,067	17,588	33,006	19,686	12,406	5,809
グレープフルーツジュース	20,003	19,522	16,254	16,254	12,977	11,784	9,880	10,912	11,765
その他かんきつ類ジュース	5,152	6,045	5,966	5,966	4,465	6,583	6,133	8,943	8,645
レモンジュース	16,913	18,423	20,619	20,619	22,416	21,735	16,163	18,511	20,870
ライムジュース	544	412	474	474	665	519	352	472	587
パイナップルジュース	5,767	9,280	8,761	8,761	7,342	7,073	6,048	6,598	6,229
ぶどうジュース	43,213	44,698	46,810	46,810	44,013	49,740	48,589	39,323	35,186
りんごジュース	79,263	74,940	81,649	81,649	72,084	75,499	66,236	66,482	59,328
ブルーベリージュース	535	730	558	558	473	397	480	432	394
クランベリージュース	—	—	—	—	—	0	0	—	—
混合果汁	4,979	5,808	6,876	6,876	6,497	7,120	6,557	7,154	6,584
その他果汁	7,390	7,833	8,719	8,719	10,555	12,390	14,504	13,076	13,602
ナット等 計	196,296	201,057	200,819	200,819	212,301	206,695	194,588	196,947	199,263
ココヤシの実(乾燥、内果つきのもの)	638	387	445	445	1,214	1,094	1,097	1,194	1,362
ココヤシの実(生鮮)	74	26	29	29	686	438	760	725	554
ココヤシの実(生鮮、乾燥)	3,848	4,842	3,812	3,812	4,801	3,796	3,364	4,014	4,379
ブラジルナット(生鮮、乾燥)	38	31	35	35	40	63	53	61	20
カシューナット(生鮮、乾燥)	10,231	10,250	10,799	10,799	13,384	11,081	13,607	12,332	13,116
アーモンド(生鮮、乾燥)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ピターアーモンド(生鮮、乾燥)	—	0.1	—	—	—	0	—	—	—
スイートアーモンド(生鮮、乾燥)	33,191	35,981	36,222	36,222	42,570	42,205	40,620	37,367	40,585
ヘーゼルナット(生鮮、乾燥)	990	1,015	1,228	1,228	1,118	1,190	1,119	935	824
くるみ(生鮮、乾燥)	19,179	18,796	17,412	17,412	22,527	17,997	18,033	18,494	17,846
ピスタチオナット(生鮮、乾燥)	1,600	1,760	2,056	2,056	3,407	3,824	3,131	2,804	2,618
びんろう子(生鮮、乾燥)	6	8	5	5	7	5	6	10	5
マカダミアナット(生鮮、乾燥)	2,243	2,627	3,161	3,161	2,617	2,920	2,672	3,203	3,409
コーラナット	—	—	0.2	0.2	1	3.0	1	0.1	0.2
ペカン(生鮮、乾燥)	370	488	452	452	434	—	—	—	—
なつめやしの実(生鮮、乾燥)	1,434	1,469	1,299	1,299	2,512	2,304	2,346	2,858	2,760
その他ナット(生鮮、乾燥)	495	518	528	528	293	—	—	—	—
落花生(非加熱)	36,015	36,806	36,071	36,071	27,808	37,406	27,146	30,736	28,154
落花生(調製)	55,410	54,167	53,036	53,036	47,638	43,855	44,079	43,450	43,576
ナット調製品	21,212	22,957	24,095	24,095	29,207	27,299	24,745	25,558	26,506
マカダミアナット、ココヤシの実(生鮮、乾燥)等(調製)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ナット、ココヤシの実(バルブ状、無糖)	2	3	2	2	—	0	—	0	—
マカダミアナット(炒ったもの、無糖)	446	365	401	401	387	359	457	375	264
アーモンド(炒ったもの、無糖)	563	843	815	815	1,199	844	862	944	1,066
ペカン(炒ったもの、無糖)	7	7	8	8	5	39	6	7	20
ココヤシの実、ブラジルナット等(調製、無糖)	5,621	5,110	6,128	6,128	6,248	6,234	6,187	7,116	7,254
カシューナット(調製、加糖)	1,575	1,481	1,669	1,669	3,334	2,720	3,539	4,007	4,205
ぎんなん(調製、無糖)	1,109	1,120	1,110	1,110	863	1,017	760	756	741
マカダミアナット(炒っていないもの、無糖)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
果樹合計	2,438,458	2,502,697	2,526,709	2,526,709	2,580,376	2,474,115	2,380,421	2,398,611	2,471,489

③ 花き

	2017年 (29年)	2018年 (30年)	2019年 (31/令和元年)	2020年 (2年)	2021年 (3年)	2022年 (4年)	2023年 (5年)	2024年 (6年)	2025年 (7年)
球根等 計	240	224	220	199	212	289	265	244	215
球根等(休眠, ユリ属)	114	105	104	95	96	90	88	83	76
球根等(休眠, チューリップ)	127	119	117	104	116	116	103	93	77
植物、挿穂、菌糸等 計	321,538	323,318	318,547	316,782	311,430	301,385	287,180	282,288	274,365
野菜種子	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大根種子	1,309	1,183	1,126	1,078	892	1,024	898	826	907
その他の野菜種子	3,343	3,713	4,226	3,976	3,141	2,609	2,980	2,496	3,203
根なし挿穂、接ぎ穂	285,310	279,784	267,119	261,221	257,425	264,654	260,490	255,583	244,769
食用果実, ナット	69	70	81	22	22	42	39	34	61
しゃくなげ, つつじ属	0.4	5	10	2	—	—	7	—	3
ばら	196	158	121	102	127	118	121	78	60
その他, きのこ菌糸, 根有する挿穂, 接ぎ穂	23,538	30,878	38,259	42,933	41,221	24,438	14,489	15,879	17,966
きのこ菌糸	—	—	—	—	—	—	—	—	—
根有する挿穂及び接ぎ穂	7,772	7,528	7,605	7,449	8,601	8,500	8,157	7,392	7,396
切花、花芽 計	43,898	44,324	44,616	39,885	41,259	41,282	42,525	44,141	45,503
切花、花芽(生鮮)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
切花、花芽(生鮮, ラン科)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
切花、花芽(生鮮, キク属)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
切花、花芽(生鮮, ユリ属)	977	882	659	560	474	260	164	96	88
切花、花芽(生鮮, ばら)	2,514	2,171	2,050	1,408	1,412	1,350	1,466	1,521	1,520
切花、花芽(生鮮, カーネーション)	10,251	10,356	10,189	10,174	10,584	11,139	11,064	11,027	11,326
切花、花芽(生鮮, らん)	5,442	5,382	5,415	4,659	4,502	4,251	4,362	4,341	4,154
切花、花芽(生鮮, 菊)	21,314	21,532	22,579	20,064	21,348	21,653	23,196	25,103	26,253
切花、花芽(生鮮, その他)	3,017	3,377	3,211	2,695	2,453	2,239	1,925	1,812	1,956
切花、花芽(乾燥)	383	624	512	326	486	390	347	242	207
その他 計	14,962	14,877	14,669	13,610	13,799	13,762	13,257	12,683	11,868
こけ及び地衣(生鮮, 乾燥)	14,962	14,877	14,669	13,610	13,799	13,762	13,257	12,683	11,868
花き 合計	380,638	382,744	378,052	370,475	366,700	356,718	343,227	339,356	331,950

資料：財務省「貿易統計」(小計・合計は類別全体の数量を記載)

(2) 品目別輸入数量・金額(2025年)

① 野菜の部

(単位: kg、円、円/kg、%)

類別	品名	令和7年1月～12月			対前年比		
		数量	金額	単価	数量	金額	単価
野菜(生鮮・冷蔵)	ばれいしょ	35,664,000	4,353,795,000	122	91	105	116
	トマト	4,104,176	2,546,670,000	621	75	87	117
	たまねぎ	268,665,019	19,553,425,000	73	111	107	96
	シャロット	1,179,587	472,776,000	401	129	137	107
	にんにく	24,237,591	9,584,898,000	395	102	125	123
	ねぎ	59,451,380	10,536,650,000	177	104	134	129
	リーキ、わけぎ等	2,122,910	1,277,253,000	602	92	96	105
	カリフラワー	—	—	—	—	—	—
	芽キャベツ	132,741	92,734,000	699	123	120	97
	ブロッコリー	—	—	—	—	—	—
	キャベツ	22,566,265	1,283,717,000	57	192	256	133
	はくさい	1,270,575	81,828,000	64	224	263	117
	その他あぶらな属	669	239,000	357	49	12	25
	結球レタス	4,409,515	741,758,000	168	90	103	114
	その他レタス	22,157	5,524,000	249	176	179	102
	チコリー	1,204,418	698,258,000	580	162	156	96
	エンダイブ等	760,782	502,504,000	661	45	57	126
	にんじん	92,341,900	5,816,616,000	63	104	129	124
	ごぼう	41,314,865	4,356,400,000	105	102	150	147
	その他根菜類	3,815,673	523,689,000	137	142	129	91
	きゅうり及びびガーキン	4,490	4,146,000	923	26	33	125
	えんどう	420,634	338,561,000	805	95	89	94
	ささげ、いんげん等	494,136	263,677,000	534	71	73	102
	その他の豆	79,550	28,670,000	360	48	52	107
	アーティチョーク	4,152	10,874,000	2,619	129	129	101
	アスパラガス	5,725,097	5,402,511,000	944	100	102	102
	なす	—	—	—	—	—	—
	セルリー	2,960,119	580,509,000	196	101	96	95
	まつたけ	—	—	—	—	—	—
	しいたけ	—	—	—	—	—	—
	きのこ(まつたけ及びトリフ除く)	—	—	—	—	—	—
	トリフ	18,848	127,421,000	6,760	115	115	100
	ジャンボピーマン	19,679,089	11,143,365,000	566	79	97	123
	その他とうがらし属等	221,226	196,620,000	889	84	105	126
	ほうれんそう等	—	—	—	—	—	—
	スイートコーン	4,650	1,942,000	418	5	8	147
	かぼちゃ	70,574,140	8,611,799,000	122	128	52	40
	さといも	2,196,354	388,640,000	177	146	125	85
	しょうが	15,127,233	3,675,762,000	243	114	102	89
	メロン	10,684,754	2,856,572,000	267	94	103	109
	すいか	793,724	204,293,000	257	152	157	104
いちご	2,840,124	5,094,359,000	1,794	89	94	105	
その他の生鮮野菜	4,235,324	3,375,820,000	797	104	97	93	
計		701,092,838	106,151,367,000	151	108	101	94
冷凍野菜	ばれいしょ	423,658,500	113,158,613,000	267	102	106	104
	ほうれんそう等	57,069,148	12,366,305,000	217	111	113	102
	スイートコーン	50,141,999	14,244,751,000	284	108	113	104
	さといも	25,982,111	8,949,371,000	344	98	99	101
	ブロッコリー	79,631,514	22,937,019,000	288	112	116	104
計		1,191,817,826	340,039,736,000	285	104	109	104
塩蔵等野菜	きゅうり及びびガーキン	13,147,396	1,644,271,000	125	83	90	109
	れんこん	3,230,843	649,066,000	201	97	104	108
	しょうが	11,000,327	2,488,367,000	226	76	95	124
計		61,584,994	11,332,288,000	184	89	97	109
乾燥野菜	しいたけ	—	—	—	—	—	—
	たまねぎ	7,236,942	5,111,912,000	706	107	110	103
	だいこん	3,618,326	1,872,862,000	518	112	117	105
計		41,648,218	45,738,076,000	1,098	102	108	106
酢調製野菜	きゅうり及びびガーキン	4,654,217	1,204,460,000	259	107	115	108
	しょうが	16,676,744	5,215,732,000	313	101	112	110
計		31,255,278	9,936,547,000	318	104	108	104
トマト加工品	トマトピューレ等関割	8,686,191	2,011,512,000	232	65	75	115
	ピューレ等関割以外	133,656,151	40,800,741,000	305	112	126	113
	トマトケチャップ	7,525,034	1,762,057,000	234	115	134	117
計		272,399,534	73,770,475,000	271	108	120	111
その他調製野菜	スイートコーン	54,364,212	16,042,218,000	295	96	108	112
	たけのこ	53,878,596	18,325,046,000	340	98	101	104
計		54,364,212	16,042,218,000	295	96	108	112
加工品計(野菜全体一生鮮)		1,974,761,069	618,374,024,000	313	103	109	106
合計		2,675,853,907	724,525,391,000	271	104	108	103

※資料: 財務省「貿易統計」(小計、合計は類別全体の数量・金額を記載)

② 果樹の部

(単位：kg、円、円/kg、%)

類別	品名	令和7年1月～12月			対前年比		
		数量	金額	単価	数量	金額	単価
生鮮果実	ブランティン(生鮮)	1,096,506	183,334,000	167	111	111	100
	バナナ(生鮮)	1,058,697,221	151,921,796,000	143	102	103	102
	いちじく	3,467	4,668,000	1,346	57	46	80
	パイナップル	167,632,738	22,052,006,000	132	107	108	101
	アボカド	54,743,236	22,125,970,000	404	114	101	89
	マンゴー	5,881,767	4,006,558,000	681	106	101	96
	グアバ、マンゴスチン	206,288	191,850,000	930	81	77	94
	ぶどう	33,060,030	17,170,178,000	519	124	122	98
	パパイヤ	1,019,380	327,207,000	321	121	111	92
	りんご	13,244,886	4,554,939,000	344	164	172	105
	さくらんぼ	4,908,383	6,395,625,000	1,303	103	105	102
	桃(含むネクタリン)	291,775	293,178,000	1,005	110	99	90
	プラム、スロー	156,473	132,004,000	844	75	74	99
	ラズベリー、ブラックベリー、桑の実、ロカンベリー	408,027	1,342,657,000	3,291	93	96	103
	ブラックカラント、ホワイトカラント、レッドカラント等	4,997	14,977,000	2,997	92	110	120
	クランベリー、ビルベリー、その他のヴァキニウム属	2,046,971	3,904,132,000	1,907	108	103	95
	キウイフルーツ	122,172,453	62,008,136,000	508	106	104	98
	柿(生鮮)	952	1,062,000	1,116	0	0	0
	ランブタン、パシヨフルーツ、レイシ、コレシ	521,430	627,720,000	1,204	121	120	99
	ドリアン	651,095	720,995,000	1,107	151	122	81
その他生鮮果実	1,975,247	1,129,574,000	572	93	94	101	
計	1,468,723,322	299,108,566,000	204	104	105	101	
冷凍果実	ラズベリー、ブラックベリー等	3,590,312	2,739,851,000	763	115	123	107
	パイナップル	4,488,128	1,802,717,000	402	97	104	108
	パパイヤ、ポポー、アボカド	17,776,764	9,687,636,000	545	130	124	95
	ベリー	33,696,508	17,575,529,000	522	144	151	105
	サワーチェリー	14,151	5,386,000	381	118	140	118
	桃、なし	4,108,321	1,264,249,000	308	97	96	99
	カムカム	22,964	13,874,000	604	0	0	0
	その他冷凍果実、ナット	15,525,948	6,736,808,000	434	111	105	94
	計	79,223,096	39,826,050,000	503	126	128	102
	乾燥果実	バナナ(乾燥)	268,024	222,950,000	832	87	88
いちじく		1,645,754	2,142,295,000	1,302	85	93	109
ぶどう		24,907,580	14,046,620,000	564	91	101	111
ブルーベリー		5,707,437	4,545,002,000	796	111	109	98
干しがき		487,152	380,977,000	782	108	87	81
その他乾燥果実		1,758,442	2,320,287,000	1,320	108	104	96
計	35,923,549	25,309,953,000	705	95	102	107	
酢調整果実	パパイヤ、ポポー、アボカド	200,425	55,603,000	277	80	84	105
	マンゴー、マンゴスチン	22,277	8,065,000	362	175	182	104
計	222,702	63,668,000	286	84	90	107	
塩蔵等果実	パパイヤ、ポポー、アボカド	9,600	1,561,000	163	200	191	95
	くり	49,685	43,984,000	885	78	82	105
	その他一時保存処理果実、ナット	15,728,954	4,649,047,000	296	108	109	101
計	15,856,954	4,723,974,000	298	108	109	101	
生鮮・乾燥果実	マンダリン、タンジェリン、うんしゅうみかん	12,373,835	3,379,817,000	273	194	170	88
	レモン(生鮮、乾燥)	41,474,231	11,312,026,000	273	96	93	97
	グレープフルーツ(生鮮、乾燥)	33,671,600	6,363,356,000	189	103	111	107
	くり(生鮮、乾燥)	3,457,909	2,954,173,000	854	89	89	100
	計	177,489,572	43,566,400,000	245	109	102	94
その他調製果実	パイナップル調製品	26,505,222	6,753,284,000	255	91	102	112
	かんきつ類の果実	58,073,782	12,739,978,000	219	99	99	99
	桃調製品	40,445,780	9,064,128,000	224	105	97	93
	フルーツゼリー、マーマレード(加糖、かんきつ類)	1,566,249	798,457,000	510	98	95	97
	フルーツピューレ、フルーツペースト(かんきつ類以外)	8,129,633	2,293,944,000	282	118	110	94
	ミックスフルーツ、フルーツサラダ、フルーツカクテル	9,504,965	2,321,119,000	244	99	94	94
	梅	12,499,834	7,901,608,000	632	135	125	93
	バナナ、アボカド、マンゴ、グアバ等	24,232,485	8,889,034,000	367	114	100	88
	調製果実	78,998,100	31,242,712,000	395	114	119	105
	計	289,880,903	101,826,997,000	351	106	107	101
果実ジュース	冷凍オレンジジュース	35,908,360	30,447,011,000	848	72	85	117
	オレンジジュース	5,808,892	1,893,738,000	326	47	39	83
	レモンジュース(無糖、しよ糖10%以下)	20,870,424	8,255,879,000	396	113	110	98
	ぶどうジュース	35,185,536	13,903,670,000	395	89	86	96
	りんごジュース	59,328,172	18,049,640,000	304	89	94	106
	計	204,906,265	98,559,890,000	481	88	93	106
ナット等	カシューナット(生鮮、乾燥)	13,115,750	15,159,734,000	1,156	106	125	117
	スイートアーモンド(生鮮、乾燥)	40,584,961	40,216,039,000	991	109	134	123
	くるみ(生鮮、乾燥)	17,845,900	19,116,080,000	1,071	96	152	158
	落花生(非加熱)	28,154,000	7,993,299,000	284	92	84	92
	落花生(調製)	43,575,865	14,702,957,000	337	100	95	94
	ナット調製品	26,505,752	18,518,119,000	699	104	102	98
	計	199,262,990	143,225,437,000	719	101	118	116
	加工品計(果実全体一生鮮)	1,002,766,031	457,102,369,000	102	▲1	1	2
合計	2,471,489,353	756,210,935,000	306	103	106	103	

※資料：財務省「貿易統計」(小計、合計は類別全体の数量・金額を記載)

③ 花きの部

(単位：kg、円、円/kg、%)

類別	品名	令和7年1月～12月			対前年比		
		数量	金額	単価	数量	金額	単価
球根等	球根等(休眠, ユリ属のもの)	75,516	4,053,877,000	53,682	91	96	105
	球根等(休眠, チューリップ)	77,491	2,256,247,000	29,116	83	122	146
	球根等(休眠, その他)	57,892	1,285,399,000	22,203	90	99	111
	球根等(休眠)						
	球根等(休眠していないもの)	4,322	324,286,000	75,031	128	139	108
	計	215,221	7,919,809,000	36,798	88	104	118
植物、挿穂、菌糸等	野菜種子						
	大根種子	906,624	1,149,476,000	1,268	110	107	98
	その他の野菜種子	3,203,367	25,932,672,000	8,095	128	120	93
	根なし挿穂、接ぎ穂	244,768,751	1,810,146,000	7	96	95	100
	食用果実, ナット	61,025	69,186,000	1,134	179	98	55
	しゃくなげ, つつじ属	2,926	3,808,000	1,301	-	-	-
	ばら	59,619	45,695,000	766	76	89	116
	その他, きのご菌糸, 根有する挿穂, 接ぎ穂	17,966,139	1,767,236,000	98	113	115	102
	きのご菌糸						
	根有する挿穂及び接ぎ穂	7,396,241	10,292,884,000	1,392	100	97	97
	計	274,364,692	41,071,103,000	150	97	111	114
切花、花芽	切花、花芽(生鮮)						
	切花、花芽(生鮮, ラン科)						
	切花、花芽(生鮮, キク属)						
	切花、花芽(生鮮, ユリ属)	87,883	86,457,000	984	91	92	101
	切花、花芽(生鮮, ばら)	1,519,935	2,322,390,000	1,528	100	102	102
	切花、花芽(生鮮, カーネーション)	11,325,534	14,307,236,000	1,263	103	100	98
	切花、花芽(生鮮, らん)	4,153,766	8,183,331,000	1,970	96	96	101
	切花、花芽(生鮮, 菊)	26,252,873	19,574,802,000	746	105	107	103
	切花、花芽(生鮮, その他)	1,955,529	3,225,264,000	1,649	108	95	88
	切花、花芽(乾燥)	206,996	873,970,000	4,222	86	84	98
		計	45,502,516	48,573,450,000	1,067	103	102
その他	こけ及び地衣(生鮮, 乾燥)	11,867,931	8,417,833,000	709	94	95	101
	計	11,867,931	8,417,833,000	709	94	95	101
合計		331,950,360	105,982,195,000	319	98	105	107

※資料：財務省「貿易統計」（小計、合計は類別全体の数量・金額を記載）

4 野菜生産出荷施設の設置状況

(1) 野菜ハウス設置面積の推移

単位：ha、戸

年次	ガラス室・ハウス設置面積						付 帯 設 備			ガラス室・ ハウス経営 農家数	雨よけ 設置面積
	ガラス室 設置面積	ハウス設置面積					自動 かん水	加温 面積	養液 栽培		
		種類別内訳									
		竹幌	鉄骨	パイプ							
S39	162.8	0.3	162.5	152.5	10.0	-	11.4	0.2	-	2,657	-
41	308.4	0.2	308.2	242.3	65.9	-	107.5	36.6	-	3,477	-
43	353.9	0.2	353.9	27.0	174.0	152.9	162.4	168.8	-	3,126	-
45	543.2	0	543.2	32.3	251.0	259.9	330.7	394.6	0	3,928	-
47	926.6	0	926.6	26.8	281.5	618.3	589.0	600.6	0	6,050	-
49	1,048.1	2.5	1,045.6	7.1	279.5	758.9	809.8	751.2	0	5,393	-
51	1,117.5	4.5	1,113.0	1.4	337.3	774.3	812.4	823.3	7.6	5,488	-
53	1,200.7	5.6	1,195.1	6.6	366.4	822.1	924.5	935.9	1.3	5,832	-
55	1,308.0	5.3	1,302.7	0	396.1	906.6	948.6	1,011.8	0.2	5,976	-
57	1,323.4	8.4	1,315.0	0	319.5	995.5	1,165.0	955.7	0.6	5,359	7.9
59	1,335.1	8.1	1,327.0	0	484.3	842.7	909.1	957.9	1.9	5,704	55.3
61	1,375.7	7.5	1,368.2	0	543.3	824.9	1,027.0	1,005.2	2.6	5,650	68.3
63	1,420.7	6.6	1,414.1	0	484.1	930.0	1,119.9	1,081.5	3.5	5,829	84.2
H2	1,523.1	4.8	1,518.3	0	482.7	1,035.6	1,134.8	1,205.5	3.1	5,901	98.4
4	1,501.3	4.6	1,496.7	0	71.7	1,425.0	1,086.5	1,211.6	3.9	5,533	115.0
6	1,491.7	4.5	1,487.2	0	189.1	1,298.1	1,032.0	1,269.2	6.8	5,811	106.3
8	1,456.2	4.3	1,451.9	0	23.3	1,428.6	818.6	1,286.0	10.0	5,575	126.5
10	1,439.9	4.2	1,435.7	0	16.2	1,419.5	642.5	1,228.4	10.4	5,595	149.9
12	1,435.2	4.7	1,430.5	0	9.5	1,421.0	564.2	1,234.4	17.8	5,401	143.2
14	1,431.6	4.7	1,426.9	0	7.5	1,419.4	518.4	1,215.1	20.6	5,493	101.3
16	1,434.5	4.9	1,429.6	0	7.8	1,421.8	512.2	1,221.5	15.8	5,230	120.2
18	1,362.9	3.9	1,359.0	0	6.0	1,353.0	-	1,163.9	21.9	5,160	105.4
20	1,260.0	5.8	1,254.2	0	7.5	1,246.7	181.5	1,062.4	17.4	4,748	103.6
24	1,236.8	6.5	1,230.6	0	7.8	1,222.8	141.7	1,052.7	18.2	4,724	67.9
26	1,382.1	5.5	1,376.6	0	5.0	1,371.6	-	1,092.1	11.7	4,968	58.9
28	1,250.5	4.5	1,246.0	0	107.0	1,139.0	-	1,057.1	16.5	4,504	95.3
30	1,135.9	5.7	1,121.1	0	79.0	1,033.1	-	961.9	17.3	3,867	85.7
R2	1,234.8	4.1	1,230.7	0	117.7	1,113.0	-	942.8	23.3	4,347	32.1
3	1,109.6	-	-	-	-	-	-	1,109.6	-	-	-
4	1,265.2	4.5	1,260.7	0	183.1	1,082.1	-	1,097.8	19.6	4,607	-
5	1,261.6	-	-	-	-	-	-	1,011.8	-	-	-
6	1,190.1	4.0	1,186.1	0	175.0	1,015.1	-	892.4	16.6	4,329	-

資料：農林水産省「園芸用施設及び農業用廃プラスチックに関する調査」および「園芸用施設
の設置等の状況」※平成22年は未調査

調査対象期間：年次年6月から翌年7月

※H26以降は年次年11月から翌年10月【表の編集方法】

※R3以降は調査項目が見直され、雨よけ施設の調査が廃止となった他、加温設備のみ、毎年調
査に変更となっている。

(2) 予冷施設の設置状況

設置年度	設置場所	設置主体	規模(m ²)	予冷方式	主な対象品目	利用期間	備考
H元	都 城 市	都 城 農 協	69.0 (2室)	差 圧	きゅうり	3~10	中郷集荷場
	椎 葉 村	日 向 農 協	28.2	〃	だいこん	7~10	258 トン
	門 川 町	日 向 農 協	25.0	〃	きゅうり、トマト、スイートコーン	1-8,11-12	
	門 川 町	日 向 農 協	25.0	強 制 通 風	きゅうり、トマト、スイートコーン	1-8,11-12	
2	西 都 市	西 都 農 協	100.0 21.2 (2室)	強 制 通 風 真 空	にら にら	周年	第1出荷場
3	高千穂町	高千穂町農協	16.5	強 制 通 風	ほうれんそう	6~11	三名
	国 富 町	国 富 町 農 協	312.0 (2室)	〃	スイートコーン	4~6	
4	田 野 町	田 野 町 農 協	40.0	強 制 通 風	にんじん	4~6	中郷集荷場
	綾 町	綾 町 農 協	108.8 (2室)	差 圧	きゅうり	周年	
	都 城 市	都 城 農 協	116.0	強 制 通 風	きゅうり	周年 4~6	
	新 富 町	児 湯 農 協	132.0 (4室)	差 圧	ピーマン		
新 富 町	児 湯 農 協	132.3 (4室)	強 制 通 風	ピーマン	10~11		
5	田 野 町	田 野 農 協	40.0	強 制 通 風	にんじん	4~6	
	佐土原町	佐土原町農協	374.1 (1室)	〃	きゅうり	10~7	
	佐土原町	佐土原町農協	741.4 (2室)	〃	切干大根	12~10	
	えびの市	えびの市農協	69.0	〃	ピーマン	4~12	
	高千穂町	高千穂町農協	112.0	〃	トマト	6~12	
西 都 市	西 都 農 協	99.9	〃	きゅうり	10~6		
6	野 尻 町	小林地区農協	60.0	強 制 通 風	ピーマン、ごぼう、きゅうり	5~12	美々津 152 トン
	日 向 市	日 向 農 協	105.0 (2室)	〃	切干大根	12~11	
	高千穂町	高千穂地区 児 湯 農 協	106.1 49.5	〃	きゅうり ごぼう	5~11 4~7	
7	国 富 町	国 富 町 農 協	67	差 圧	にら	4~3	
	国 富 町	国 富 町 農 協	46	強 制 通 風	にら	4~3	
	高千穂町	高千穂町農協	106	〃	きゅうり	7~9	
8	えびの市	えびの市農協	144	強 制 通 風	ピーマン、さといも、アスパラガス ミニトマト、ごぼう	4~3	
	高千穂町	高千穂町農協	111	〃	きゅうり、トマト、 だいこん、キャベツ	7~9	
	高千穂町	高千穂町農協	25	〃	ほうれんそう	6~11	
9	都 城 市	都 城 農 協	1,500	強 制 通 風	きゅうり、ごぼう、さといも	4~3	
10	宮 崎 市	経 済 連	300	〃	きゅうり、ピーマン、 さといも、かぼちゃ	4~3	広域集配送 センター
14	小 林 市	営 農 集 団	63	強 制 通 風	ほうれんそう	9~6	
15	野 尻 町	営 農 集 団	2基 90	真 空 強 制 通 風	にんじん、キャベツ	12~6	
18	串 間 市	はまゆう農協	181.5	強 制 通 風	きゅうり、ピーマン、 水田ごぼう、食用かんしょ	4~11	
19	高 鍋 町	児 湯 農 協	100	真 空	キャベツ	4~6	
20	川 南 町	尾 鈴 農 協	117	真 空	スイートコーン、にら等	周年	

設置年度	設置場所	設置主体	規模(m ²)	予冷方式	主な対象品目	利用期間	備考
23	田野町	宮崎中央農協	7 336	真空 強制通風	キャベツピーマン	3~6 1~12	
24	新富町	児湯農協	89	強制通風	トマト、にがうり スイートコーン	4~9	
	川南町	尾鈴農協	194	強制通風	キャベツ、はくさい	11~6	
25	えびの市	農業生産法人	100	強制通風	ほうれんそう	12~5	繰越
26	日向市	日向農協	187	強制通風	干切りだいこん	1~12	
27	宮崎市	宮崎中央農協	168	一体空冷	ミニトマト、ゴーヤ スイートコーン 等	1~12	
29	小林市	農業生産法人	198	強制通風	ほうれんそう	12~5	
R1	川南町	農業生産法人	874	強制通風	はくさい	12~6	
R2	小林市	こばやし農協 農業生産法人	242 132		ほうれんそう ほうれんそう、にんじん、 だいこん等		繰越 繰越

(3)種苗供給施設の設置状況

設置年度	設置場所	名称	施設の概要	主な対象品目
S63	佐土原町	(社)宮崎県バイオ テクノロジー種苗 増殖センター	ガラスハウス 1,579 m ² 硬質プラスチックハウス 945 m ² パイプ網室 4,032 m ² 培養室(クリーンベンチ)	かんしょ、いちご、 にがうり、らっきょう、 かぼちゃ
H5	高鍋町	(株)ジェイエイ・ アグリシード	硬質プラスチックハウス は種プラント、発芽室、 接木ロボット、接木養生室	きゅうり、トマト、 ピーマン、メロン、 なす、十字花科野菜
8	小林市	アグリサポート センター (JAこばやし)	硬質プラスチックハウス は種プラント、発芽室、 接木ロボット、接木養生室	メロン、ピーマン きゅうり、ミニトマト、 ししとう、レタス
10	清武町	南宮崎育苗センター (JA宮崎中央)	硬質プラスチックハウス は種プラント、発芽室、 接木ロボット、接木養生室	きゅうり、トマト、 なす、ピーマン
16	高鍋町	(株)ジェイエイ・ アグリシード	硬質プラスチックハウス 苗ピット	トマト、ミニトマト、 なす、きゅうり
16	野尻町	野尻町育苗センター (JAこばやし)	硬質プラスチックハウス 育苗ベンチ	ピーマン
18	高鍋町	(株)ジェイエイ・ アグリシード	苗ピット	トマト、ミニトマト、 きゅうり
21	綾町	綾町育苗センター	中期展張ハウス 接木ロボット、接木養生室	きゅうり
24	宮崎市	南宮崎育苗センター (JA宮崎中央)	接木養生室	きゅうり、トマト、 ピーマン、にがうり、 なす
27	宮崎市	国富町育苗センター (JA宮崎中央)	硬質プラスチックハウス は種プラント一式	水稻、きゅうり

5 宮崎県総合農業試験場の育成品種・登録状況(園芸品目)

種 類	品 種 名	育 成 年 度	来 歴 ・ 特 性	登 録 状 況
かぼちゃ	宮崎早生1号	昭和38	「F-1」×「G-2」 腰高 菊座形	—
	宮崎抑制1号	昭和53	宮育2621	—
	宮崎早生2号	昭和55	「26223」×「G-22」 腰高 菊座形 肉色黄色	—
	宮崎抑制2号	昭和55	「26223」×「212」 腰高 菊座形 果肉は粘質	—
イチゴ	極早生ひむか	昭和62	「とよのか×秋香」 食味 早生性	—
	キングベリー	昭和62	(とよのか×宝交早生)×(アイベリー×しずたから) うどんこ病強 大果	—
	みやざき なつはるか	平成18	「01-23-4」×「スイートチャーミー」 四季成り性 円錐～長円錐形 鮮赤色 多収 良食味	登録:H22.3.8 (第19203号)
	こいはるか	平成27	「07-26-3」×「サンチーゴ」 炭そ病強 良食味	登録:H31.2.14 (第27264号)
にがうり	宮崎緑	昭和57	「佐土原13」×「宮崎青長2-9」 緑色 長形 円筒形	登録:S60.1.23 (第720号) 失効:H7.1.22
	宮崎こいみどり	平成3	「2221」×「7211」 濃緑色 円筒形 こぶ状突起は丸型	—
	佐土原3号	平成13	「TGL」×「041-2」 濃緑色 紡錘型 こぶ状突起は丸型	—
	宮崎N1号 宮崎N2号 宮崎N3号 宮崎N4号	平成16	宮崎N1号 紡錘型、鮮緑色、多収 宮崎N2号 果実は小型(ミニ野菜)、多収 宮崎N3号 紡錘型、白色、抗酸化能が高い 宮崎N4号 果実にイボ状突起がない、良食味	登録:H19.12.18 (第15885号) (第15886号) (第15887号) (第15888号) 失効:H25.12.17
	宮崎つやみどり	平成20	「TB」×「SB」 濃緑 肥大良	登録:H22.6.28 (第19588号)
ピーマン	ひむかみどり1号	平成11	「TMV-P-17」×「KN-16」 果皮色濃い、果形の揃いがよい	—
	Pプロ15-65	平成30	「KK9」×「FA10」 カラーピーマン(赤)、辛みを有する。	登録:R4.2.7 (第28907号)
	Pプロ15-635	平成30	「SG3」×「FW6」 カラーピーマン(黄)、 加工・業務用適性有	登録:R4.2.7 (第28908号)
とうがらし (ピーマン 台木)	みやざき台木1号	平成19	疫病抵抗性、青枯病抵抗性、PMMoV 抵抗性を有し、特に 疫病に対して強い。	登録:H21.11.16 (第18567号) 失効:H27.11.15
	みやざき台木2号	平成19	疫病抵抗性、青枯病抵抗性、PMMoV 抵抗性を有し、特に 青枯病に対して強い。	登録:H21.11.16 (第18568号) 失効:H28.11.29
	みやざき台木3号 【とうがらし農林 台5号】	平成21	青枯病・疫病に対して、非常に強い抵抗性を有する。 また、PMMoV-P12に対して抵抗性(L3)を有する。	登録:H23.12.6 (第21221号)
	みやざき L1台木1号	平成19	青枯病抵抗性を有する。また、TMV、ToMV、 TMGMV に対して抵抗性(L1)を有する。	登録:H27.2.4 (第23813号)
	みやざき台木5号	平成28	青枯病・疫病・PMMoV に対して、抵抗性を有する。	登録:R3.8.16 (第28590号)
	台ひなた (試交31号) (出願公表済)	令和3	青枯病、サツマイモネコブセンチュウA系統・B系統、PMMoV (P12) に対して抵抗性を有する L ³ 台木品種	登録:R4.1.17 公表:R4.7.4 登録:-
オクラ	宮崎五角	昭和56	五角形で整形 果皮色濃い いぼ莢少い	登録:S60.1.23 (第719号) 失効:H5.1.22
かんきつ	なんぶう 南風	昭和63	「清見」×「フェアチャイルド」 耐寒性温州みかん程度、果実200g、球形、 小ヘソ有り、種有り、成熟期1月上中旬、 糖度12%、クエン酸1%	登録:H2.11.20 (第2454号) 失効:H20.11.19
きんかん	宮崎王丸	平成20	2倍体ニンポウキンカン×4倍体ニンポウキンカン 大玉、甘味比高い、食味良好	登録:H23.7.11 (第20868号)
	宮崎夢丸	平成20	4倍体ニンポウキンカン × 2倍体ニンポウキンカン 種子無し、高糖・低酸、熟期が早い、 食味良好	登録:H22.11.15 (第19999号)

種類	品種名	育成年度	来歴・特性	登録状況
デルフィニウム	シリウス	平成8	「S.W.」×「G.N.89-2-」 花色：淡紫 八重咲 早生	登録:H13.3.13 (第8748号) 失効:H25.3.12
	レグルス	平成10	「S.W.」×「L.P.93-1-16-2」 白花系統×紫花系統 花色：淡紫 八重咲 極早生、草姿コンパクト	登録:H14.9.4 (第10493号) 失効:H29.9.5
	アルト	平成11	「S.W.」×「A.S.89-1-15-5」 白花系統×紫花系統 花色：鮮青味紫 重咲き 中生	登録:H17.2.7 (第12741号) 失効:H25.2.6
	ベガ	平成11	「A.S.89-1-15-5」×「L.P.93-1-16-2」 紫花系統×紫花系統 花色：ピンク 八重咲 中生	登録:H18.2.27 (第13651号) 失効:H29.2.28
	ポラリス	平成13	「S.W.」×「ブルースプリングス」 白花系統×白花系統 花色：緑白色 八重咲き 早生	登録:H18.2.27 (第13652号) 失効:H29.2.28
	アリエス	平成14	「S.W.」×「グリーンインスペクション」 白花系統×紫花系統 花色：白に薄紫覆輪 八重咲き 中生	登録:H18.2.27 (第13653号) 失効:H29.2.28
	リゲル	平成18	「ギネバー」×「ライラックピンク」 薄紫系統×薄ピンク系統 花色：浅紫 半八重咲き 極早生	登録:H20.10.16 (第17076号) 失効:H28.10.18
	カペラ	平成19	「ギネバー」×「ブルースプリングス」 薄紫系統×白花系統 花色：淡紫 八重咲き 早生	登録:H21.12.14 (第18648号) 失効:H28.12.15
	アルマイル	平成20	「スノーホワイト」×「ベガS6」 白系統×ピンク系統 花色：鮮赤味紫	登録:H22.11.15 (第19997号) 失効:H28.11.16
	デネブ	平成23	「ブルースプリングス」×自然交雑実生 白色系統×白色系統 花色：白	登録:H26.1.26 (第22931号) 失効:H29.1.24
	ブルーオリオン	平成28	青色選抜系統×交雑種青色選抜系統 花色：青	—
	ベガサス	平成28	「レグルス」後代白色選抜系統×白色選抜系統 花色：白	—
	ライラ	令和2	薄紫ピンク選抜系統LP×赤紫選抜系統 花色：薄紫ピンク	—
	プロキオン	令和2	「レグルス」後代白色選抜系統×「リゲル」後代ラベンダー選抜系統 花色：ラベンダー	—
トルコギキョウ	ひなたのびんく	平成24	「エクローサグリーン」の後代(子房親)× 「ロココラベンダー」の後代(花粉親) 花色：紫ピンク、早生、花形：八重咲き	—
スターチス	スターライトパープル	平成13	メリクロン苗「ソピア」より選抜 鮮紫色 早生 切花品質良	登録:H18.2.27 (第13804号) 失効:H25.2.26
スイートピー	シルキーピーチ	平成8	「ミセスダグラスマッカーサー」×「イースターパレード」 花色：淡黄ピンク 冬咲き系	—
	シルキーチェリー	平成8	「ミセスダグラスマッカーサー」×「イースターパレード」 花色：淡紫ピンク 春咲き系	—
	宮崎サニーピーチ	平成11	「バンドエイド」×「イースターパレード」 花色：淡黄ピンク 春咲き系	登録:H17.3.14 (第12873号) 失効:H29.3.15
	あいぞめ逢初	平成14	「イースターパレード」×「パーシスロアー」 花色：鮮紫 春咲き系	登録:H18.2.27 (第13788号) 失効:H25.2.26
	うたひめ歌姫	平成14	「ロイヤルネイビーブルー」×「ダイアナ」 花色：鮮赤紫色 冬咲き系	登録:H18.3.24 (第14201号) 失効:H29.3.25
	まいひめ舞姫	平成14	(「アニバーサリー」×「スーパーローズ」)×「スーパーローズ」 花色：鮮赤紫色 春咲き系	登録:H18.2.27 (第13789号)
	しきぶ式部	平成16	「アーリーサーモンピンク」×「ミセスダグラスマッカーサー」 花色：旗弁が暗紫色、翼弁明紫の複色 春咲き系	登録:H19.8.7 (第15595号)
	まいふじ舞藤	平成17	「イレインページ」×「セレスキ」 花色：浅紫色 春咲き系	登録:H20.3.18 (第16860号) 失効:H25.3.17
	あやひめ彩姫	平成17	(「ステラ」×「アプリコットブライト」)×「ステラ」 花色：淡紫ピンク色 春咲き系	登録:H20.3.18 (第16861号) 失効:H29.3.22

種 類	品 種 名	育 成 年 度	来 歴 ・ 特 性	登 録 状 況
スイートピー	さくらがわ 桜川	平成17	(「アニーサリー」×「スーパーローズ」) × 「スーパーローズ」 花色：淡紫ピンク色 春咲き系	登録:H20. 3.18 (第16862号) 失効:H29. 3.22
	みみ 美々	平成18	「ステラ」 × 「アーリーサーモンピンク」 花色：鮮ピンク色 春咲き系	登録:H20. 6. 3 (第16977号)
	ムジカローズ	平成19	「スーパースヌーピー(ピンク)」 × 「ロゼ」 花色：鮮紫ピンク 春咲き系	登録:H22. 3.17 (第19404号)
	ムジカパープル	平成19	「セレモニーラベンダー」 × 「ロゼ」 花色：鮮赤味紫 冬咲き系	登録:H22. 3.17 (第19405号)
	べにしきぶ 紅式部	平成20	「式部」に出現した突然変異を固定 花色：暗灰色、濃紫ピンクの複色	登録:H22.11.15 (第20024号)
	ムジカクリームゾン	平成22	「ロゼ」 × 「スーパースヌーピー」 花色：濃赤、春咲き性	登録:H24. 4. 4 (第21765号)
	ムジカラベンダー	平成22	「ロゼ」 × 「セレモニーラベンダー」 花色：明紫、春咲き性	登録:H24. 4. 4 (第21766号)
	ムジカスカーレット	平成24	「ロゼ」 × 「スーパースヌーピー(赤)」 花色:旗弁が明紫赤、翼弁が鮮紫ピンク 春咲き性	登録:H26. 9.24 (第23690号)
	こいしきぶ 恋式部	平成25	「式部」に出現した突然変異を固定 花色：鮮紫ピンク、黄色の複色	登録:H28. 3.22 (第24966号)
	あおしきぶ 青式部	平成27	「式部」 × 「スーパーミッドブルー」 花色:旗弁が濃赤味紫、翼弁が浅青紫、 春咲き性、日持ち性に優れる	登録:H31. 1.23 (第27164号)
	みやびのかなで	平成28	「式部」 × 「スーパーミッドブルー」 花色:旗弁が暗赤褐色、翼弁が暗赤紫色、 春咲き性、日持ち性に優れる	登録:R2.8.14 (第28070号)
	ましろまる 真白麻呂	令和元	「ステラ」 × 「スーパーミッドブルー」 花色：旗弁が緑白、翼弁が緑白、 春咲き性、日持ち性に優れる	登録:R6. 2.13 (第30067号) :
	ムジカクリーム	令和2	「ステラ」 × 「エンゼルキッス」 花色：淡いクリーム色 春咲き性	出願:R3.7.7 公表:R3.11.29 登録:R6. 3.21
	ムジカホワイト	令和2	「ムジカラベンダー」に出現した 突然変異を固定 花色：純白、春咲き性	—
	こい 恋かすみ	令和4	(「クリスティーナ」 × 「ロゼ」) × 「式部」 花色：旗弁、翼弁ともに白地に濃いピンク色の刷毛 目状の斑紋を有する。春咲き性	—
	ふじ 藤かすみ	令和4	(「クリスティーナ」 × 「ロゼ」) × 「式部」 花色：旗弁、翼弁ともに白地に藤色の刷毛目状の斑 紋を有する。春咲き性	—
	うた 詩かすみ	令和4	(「クリスティーナ」 × 「ロゼ」) × 「式部」 花色：旗弁が白地に濃い紫色、翼弁は白地にやや薄 い紫色の複色の刷毛目状の斑紋を有する。春咲き性	—
	さくやひめ (出願公表済)	令和4	「宮崎サニーピーチ」 × 「桜川」 花色：旗弁、翼弁ともにピーチ色 春咲き性、難落蕾性	出願:R5. 3. 14 公表:R5. 7. 19 登録:
	ムジカ式部 (出願公表済)	令和4	「恋式部」 × 「ムジカラベンダー」 花色：旗弁が濃赤紫色、翼弁が明紫色 春咲き性、巻きひげ無し、	出願:R5. 3. 14 公表:R5. 7. 19 登録:

種類	品種名	育成年度	来歴・特性	登録状況
ラナンキュラス	ガーネット	平成18	無名の系統交配個体群から優良個体選抜 花色：鮮橙赤色	登録:H20. 6. 3 (第 17022号)
	ラズベリル	平成18	登録品種「ローロ」へガンマー線照射 無名の系統交配個体群から優良個体選抜 花色：鮮紫ピンク	登録:H21. 7.31 (第 18357号)
	ローズクォーツ	平成20	無名の系統交配個体群から優良個体選抜 花色：淡い紫ピンク	登録:H23. 3.18 (第 20724号)
カーネーション	ローロレッド	平成17	登録品種「ローロ」へガンマー線照射し 発現した花色変異個体群から優良個体選抜 花色：紅	登録:H22. 3. 2 (第 19121号)
	ローロピンク	平成17	登録品種「ローロ」へガンマー線照射し 発現した花色変異個体群から優良個体選抜 花色：鮮紫ピンク色	登録:H22. 3. 2 (第 19122号)

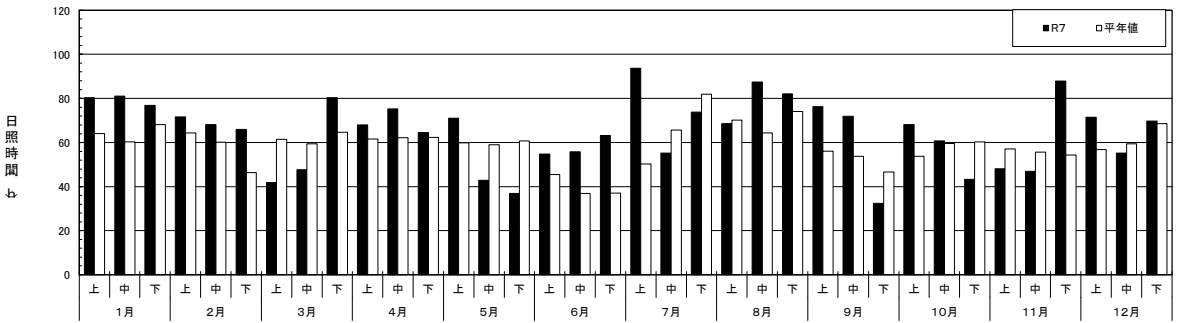
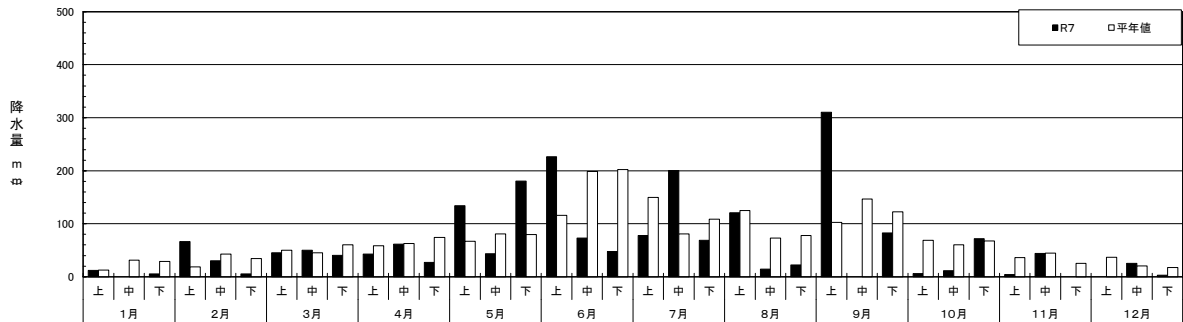
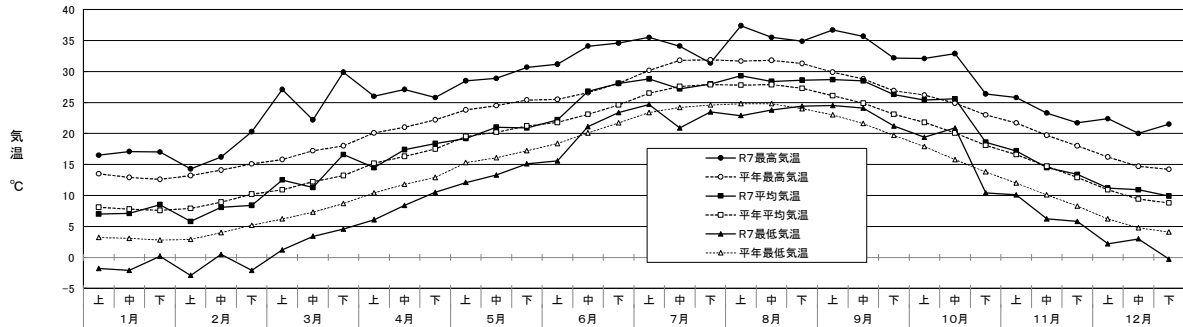
注：育成年度欄は、農試における育成完了年度

【 】は農林認定品種の登録番号。

6 気象概況（宮崎市）

（1）旬別の気象の推移（令和7年1月～令和7年12月）

平年値 1991年～2020年



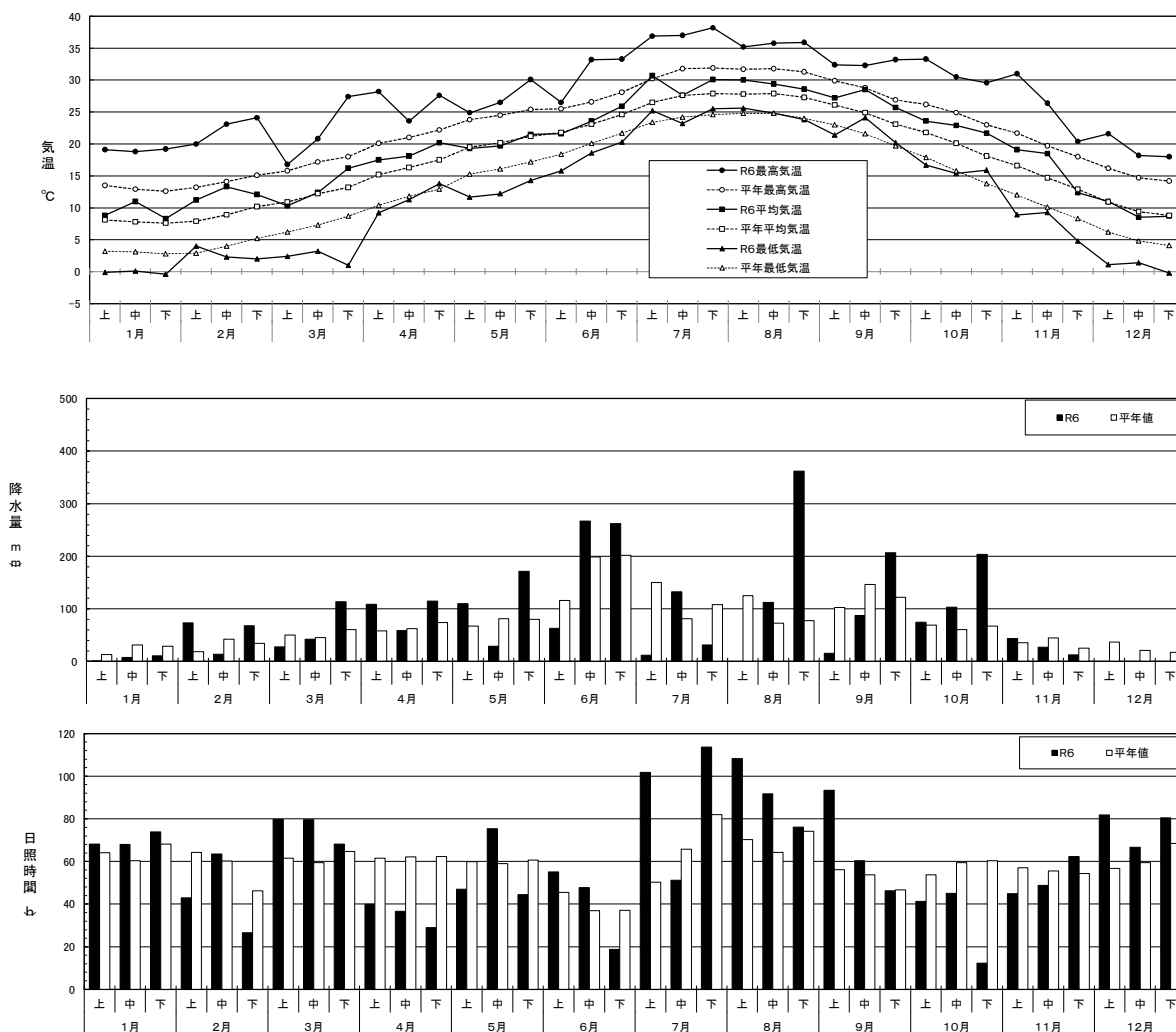
令和7年 気象年表（宮崎地方气象台）

月	気 温 (°C)					相対湿度 (%)		風 速 (m/s)			降 水 量 (mm)			日 照 時 間 (h)
	平 均	最 高		最 低		平 均	最 小	平 均	最 大		月	最 大		
		平 均	極	平 均	極				風 速	風 向		日	一 時 間	
1	7.6	13.6	17.1	2.3	-2.1	63.0	26.0	3.5	10.3	西北西	17.0	12.0	5.5	238.4
2	7.3	12.8	20.3	2.8	-2.9	59.0	20.0	4.1	13.0	西北西	102.0	66.0	14.5	205.7
3	13.6	18.5	29.9	9.0	1.2	70.0	17.0	3.6	12.4	北西	136.0	37.0	17.0	169.9
4	16.8	21.5	27.1	12.3	6.1	72.0	15.0	3.3	12.0	西	131.5	31.0	11.0	207.7
5	20.4	24.6	30.7	16.6	12.1	78.0	16.0	3.1	11.9	西	358.0	82.5	33.0	150.8
6	25.7	29.7	34.6	22.3	15.6	79.0	20.0	2.9	10.2	西南西	346.5	90.5	24.0	173.6
7	28.0	31.6	35.5	25.1	20.9	82.0	42.0	3.5	11.8	西	346.5	69.0	28.0	222.7
8	28.8	32.9	37.4	25.3	22.9	79.0	45.0	2.9	9.4	西	157.0	58.5	47.0	238.2
9	27.8	31.9	36.7	24.8	21.2	80.0	45.0	2.9	9.1	北北東	392.5	268.0	50.0	180.6
10	23.0	27.1	32.9	19.7	10.4	79.0	35.0	2.6	7.2	北東	89.5	38.0	5.0	172.2
11	15.0	20.5	25.8	10.4	5.8	73.0	34.0	3.1	9.1	西北西	48.0	35.0	5.0	183.0
12	10.6	16.8	22.4	5.3	-0.3	72.0	28.0	3.0	10.6	西北西	28.0	16.5	5.0	196.5

※ 数値)：準正常値。品質に軽微な問題があるか、または統計値を求める対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている場合。

(2) 旬別の気象の推移 (令和6年1月～令和6年12月)

平年値 1991年～2020年



令和6年 気象年表 (宮崎地方気象台)

月	気 温 (°C)					相 対 湿 度 (%)		風 速 (m/s)			降 水 量 (mm)			日 照 時 間 (h)
	平 均	最 高		最 低		平 均	最 小	平 均	最 大		月	最 大		
		平 均	極	平 均	極				風 速	風 向		日	一 時 間	
1	9.3	15.3	19.2	4.0	-0.4	67.0	20.0	3.4	18.2	西北西	19.0	8.0	2.5	209.9
2	12.2	16.5	24.1	8.1	2.0	76.0	28.0	2.8	20.8	西	154.5	38.0	14.0	133.1
3	13.1	18.2	27.4	8.1	1.0	67.0	17.0	3.4	25.8	西	184.0	80.0	28.0	227.6
4	18.6	22.3	28.2	15.3	9.2	84.0	22.0	2.6	20.7	西南西	282.0	39.5	19.5	105.4
5	20.2	24.4	30.1	16.1	11.7	77.0	17.0	3.0	21.0	西	310.5	81.5	19.5	166.9
6	23.7	27.5	33.3	20.5	15.8	83.0	44.0	2.8	17.6	西	592.0	144.0	25.0	121.7
7	29.5	33.9	38.2	25.8	23.2	75.0	42.0	3.4	16.6	西南西	175.0	49.0	24.5	266.7
8	29.3	33.4	35.9	25.8	23.8	78.0	45.0	3.5	27.6	南南東	474.0	214.0	72.5	276.1
9	27.1	31.0	33.2	23.8	20.2	83.0	49.0	3.1	14.3	南西	310.0	118.0	58.5	199.9
10	22.7	26.6	33.3	19.8	15.4	85.0	39.0	2.5	15.1	東	381.5	95.5	42.0	98.6
11	16.7	21.5	31.0	12.8	4.8	78.0	34.0	2.7	22.2	西南西	83.0	34.5	9.0	155.9
12	9.3	15.4	21.6	4.1	-0.2	63.0	25.0	3.3	16.5	西北西	0.0	0.0	0.0	228.9

※ 数値): 準正常値。品質に軽微な問題があるか、または統計値を求める対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている場合。

(3) 月別平年値

月	所名 要素	宮崎			延岡			都城			油津		
		気温 (°C)	降水量 (mm)	日照 (h)	気温 (°C)	降水量 (mm)	日照 (h)	気温 (°C)	降水量 (mm)	日照 (h)	気温 (°C)	降水量 (mm)	日照 (h)
1		7.8	72.7	192.6	6.8	59.4	191.2	6.1	66.1	167.2	8.9	83.9	169.3
2		8.9	95.8	170.8	7.9	77.8	174.9	7.7	106.2	155.2	10.0	132.5	151.5
3		12.1	155.7	185.6	11.1	145.5	187.2	11.0	163.3	169.4	12.9	193.2	161.1
4		16.4	194.5	186.0	15.5	186.5	192.7	15.6	184.3	173.9	16.9	236.7	166.7
5		20.3	227.6	179.7	19.5	250.6	185.1	19.8	207.8	169.2	20.6	247.6	167.3
6		23.2	516.3	119.4	22.5	423.5	124.7	22.7	559.7	103.1	23.4	564.7	109.3
7		27.3	339.3	198.0	26.3	276.5	186.1	26.7	447.0	168.2	27.2	310.4	188.8
8		27.6	275.5	208.6	27.0	265.9	198.1	27.0	320.9	183.6	27.8	230.8	202.4
9		24.7	370.9	156.5	24.1	368.2	156.5	24.2	314.2	149.1	25.3	307.1	154.9
10		20.0	196.7	173.6	19.2	209.5	177.4	19.1	131.6	172.4	20.9	227.8	161.0
11		14.7	105.7	167.0	13.8	105.0	167.6	13.5	94.0	158.5	15.9	137.0	154.0
12		9.7	74.9	183.9	8.6	66.3	187.3	8.1	74.6	164.8	10.9	92.1	165.1
計		17.7	2,625.5	2,121.7	16.9	2,435.6	2,130.0	16.8	2,694.2	1,934.5	18.4	2,763.8	1,951.4

※地上気象観測月別平年値使用（資料期間：1991～2020）

(4) 宮崎の気象平年値及び極値統計年表

平年値 1991年～2020年
極 値 1886年～2025年

項目	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年	
		海面気圧hPa		1020.5	1019.7	1017.4	1014.7	1011.6	1008.3	1008.4	1008.7	1011.3	1016.1	1019.8	1021.2
気温 (°C)	月平均	7.8	8.9	12.1	16.4	20.3	23.2	27.3	27.6	24.7	20	14.7	9.7	17.7	
	最高平均	13	14.1	17	21.1	24.6	26.7	31.3	31.6	28.5	24.7	19.8	15	22.3	
	最低平均	3	4	7.4	11.7	16.3	20.1	24.1	24.5	21.4	15.8	10.1	5	13.6	
	極 値	最高	25.1	25.4	29.9	31.7	34.3	36.2	38.2	38.0	36.9	33.3	31	25.6	38.0
		起日	昭25 28	昭 5 22	令 7 26	平 17 29	平 19 27	昭 9 28	令 6 30	平 25 1	昭 22 9	令 6 1	令 6 2	令 5 15	平 25 8.1
		最低	-7.5	-6.6	-4.1	-1.5	3.1	9.2	16.0	16.4	9.7	2.6	-2.7	-7.2	-7.5
起日	明 37 26	昭 4 11	大 14 3	大 5 6	明 27 2	昭 元 3	大 2 1	大 4 30	昭 40 30	昭 17 25	明 41 28	大 6 28	明 37 1.26		
湿度 (%)	月平均	66	67	68	70	74	82	78	80	80	76	74	69	74	
	極 値	最小	12	10	9	6	9	15	33	25	20	17	15	15	6
起日	平 18 24	昭 16 26	平 20 6	平 14 4	平 19 9	平 29 5	平 17 26	平 21 24	平 21 16	昭 59 23	平 22 29	平 11 22	平 14 4.4		
風速 (m/s)	月平均	3.6	3.3	3.5	3.4	3.1	2.9	3.2	3.3	3	2.9	2.8	3.3	3.2	
	極 値	最大 風向	20.7 W	20.8 W	25.8 W	20.7 WSW	24.9 WSW	25.2 SSE	22.7 SE	29.5 WSW	39.2 SSE	27.6 SE	22.2 WSW	19.9 W	39.2 SSE
起日	昭 30 20	令 6 5	令 6 26	令 6 3	昭 28 29	昭 24 20	昭 56 31	昭 20 27	昭 20 17	大 元 2	令 6 2	昭 32 13	昭 20 9.17		
降水量 (mm)	月間量	72.7	95.8	155.7	194.5	227.6	516.3	339.3	275.5	370.9	196.7	105.7	74.9	2625.5	
	極 値	日量	149.0	148.3	232.5	170.1	188.3	285.6	301.9	387.3	490.2	587.2	232.9	143.1	587.2
		起日	昭 55 28	明 32 22	大 3 2	昭 16 13	明 26 20	昭 21 17	昭 18 23	昭 41 14	明 19 24	昭 14 16	大 5 8	明 27 9	昭 14 10.16
		1時間量	53.5	35.5	38.5	49.5	61.0	91.6	79.0	70.0	139.5	134.0	47.5	69.0	139.5
起日	昭 55 28	昭 31 27	昭 54 29	昭 58 1	令 元 20	昭 17 23	平 8 3	平 5 9	平 7 30	昭 14 16	平 21 13	平 3 16	平 7 9.30		
日照時間 (h)	192.6	170.8	185.6	186	179.7	119.4	198	208.6	156.5	173.6	167	183.9	2,121.7		

※統計期間 湿度の極値：1950年以降 1時間降水量の極値：1925年以降



宮崎県農業・水産業ナビ

ひなたMAFiN

Miyazaki Agriculture and Fisheries Navigation

マフィン



宮崎の園芸 2026
(2026. 3. 31作成)

(編集・発行) 宮崎県農政水産部農産園芸課

〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号
TEL:0985-26-7137
FAX:0985-26-7338